

國の四倍に達せり。これ海外に本國に六十倍せる宏大なる殖民地を有するに由る。

我が國との關係は、和蘭よりも白耳義に多く、日白貿易、年凡そ一千九百萬圓にして鐵材、板ガラス等は我が國に盛に輸出せられ、我が國よりは、漁油、亞鉛、鑛石炭、米等を輸入す。

日和貿易

日本よりは、陶器、柳行季等僅に十萬圓

和蘭よりは、フランネル、人造バター、藥品等

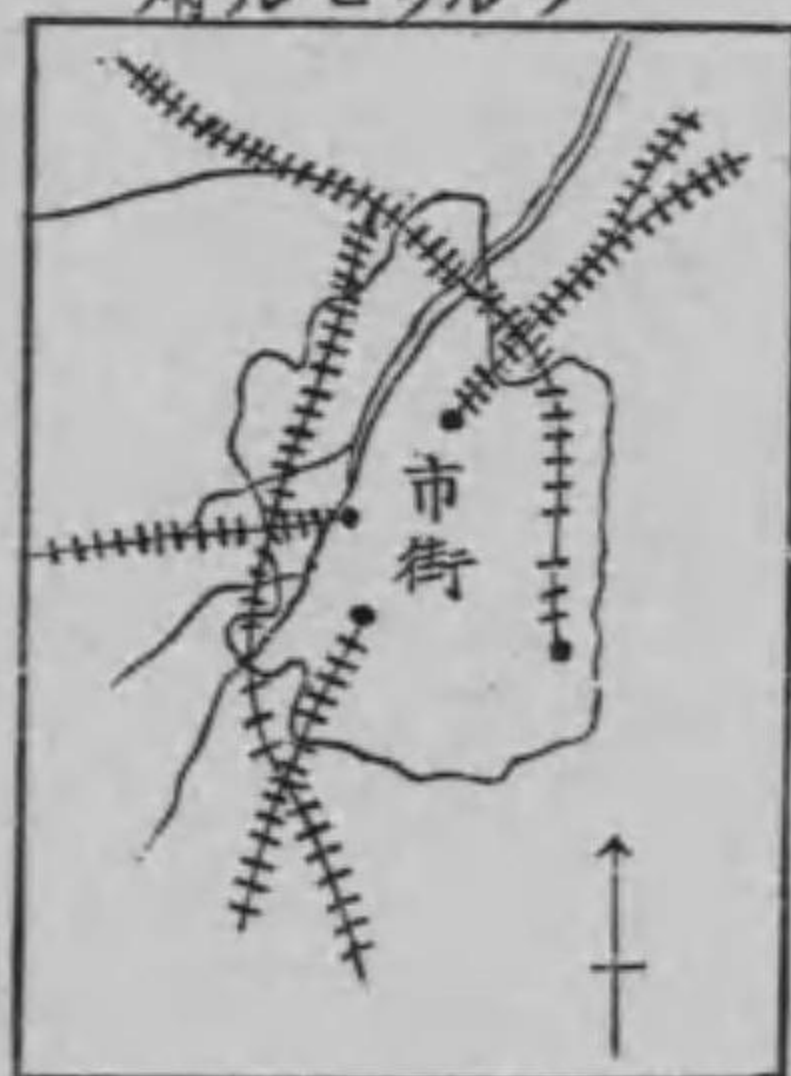
これまた十萬圓、

四、都邑

○ブルツセルは白耳義の首府にして、國の中央に位し、シエルト河に臨み、市民は皆世界各國に對する事業の資本家として有名なり。市街華麗にして、小巴里の稱あり。人口六十六萬、南方凡は四里の所に、ワテルローの古戰場あり。

圖七十百第

府ルセツルブ



圖八十百第

スルベニア



○アンベルスは、ブルツセルの北方シエルト河の下流河口より遡ること二十五里の所にあり。この國重要な都にして、外國貿易の一大中心地なり。歐洲に於けるリパブールの稱あり。我が國、郵船會社、歐洲航路の終點にして、門司より二ヶ月を要す。日白貿易の大部はこの地に於て取引せらる。

○アンベルスは、ブルツセルの北方シエルト河の下流河口より遡ること二十五里の所にあり。この國重要な都にして、外國貿易の一大中心地なり。歐洲に於けるリパブールの稱あり。我が國、郵船會社、歐洲航路の終點にして、門司より二ヶ月を要す。日白貿易の大部はこの地に於て取引せらる。

○アンベルスは、和蘭の首府にして、西部海岸地方の略々中央にあり。人口二十五萬、常設萬國仲裁々判所なる地として名高し。我が國の公使館あり。
○アムステルダムは、人口凡そ五十六萬餘、この國第一の都にして、石剛石細工を以て世界に知らる。

○ロツテルダムは、ライン河の下流に臨み、人口三十九萬餘、この國第二の都にして、著名の貿易港なり。

五、沿革

和蘭、白耳義はネーデルラントと稱し、元西班牙に屬せしが、其の後分離して、互に相分合すること屢々なりしが、今より約八十年前、西曆千八百三十九年、遂に分離して、各々獨立王國となり、以て今日に及べり。

和蘭は大いに航海の業を勵み、東洋の貿易一時其の掌中に歸せしことあり。我が國にも今より三百餘年前より來航し、長崎に於て通商を許され西洋文化の輸入に裨益せしところ尠なからず。其の後漸く衰へたりと雖も、馬來群島等に廣き領地を有し、其面積本國に六十倍す。白耳義の地は古來屢々大戦役の衝に當り、近世に至りて、列強の保證により永世局外中立國となれり。近年に至りて亞弗利加洲に廣き領地を有するに至れり。和蘭の領地面積十三萬方里。

第百九十圖



白耳義の領地面積、十五萬二千方里。

○千九百八年白耳義は亞弗利加に於けるコンゴ獨立國を併合せり

六、注意事項

- 1、この二國が、斯く小國なるに拘はらず、種々の方面に發達せる理由を推究せしむることに注意すべし。
- 2、地勢については、和蘭の低地なるに注意せしめ、自然の障害を防壓して、所謂碧海を變じて桑田となしたること、及び水運の便頗るよく開けたるを知らしめ、白耳義については、人智の應用盛に、鐵道の如き面積に比して類稀なる發達をなせることに注意せしむべし。
- 3、沿革については、和蘭と我が國とは歴史上の關係深きことに注意せしめ、我が國領國の際西洋文明の唯一の紹介者たりしことを知らしむべし。
- 4、和蘭語の我が國語となりし重なるものをあぐれば左の如し。
コップ(洋盃)、サーベル(洋刀)、ドンタク(日曜日)、ブリキ(鐵板)等
- 5、第二時の終りに全體を一括して復習すべし。

第九節 英吉利

第一、要旨

英吉利の位置、面積、人口、地勢、産業、都邑、沿革の概要を授け以て國勢の如何を察せしめ併せて本邦との密接なる關係あることを知らしむるを以て要旨とす。

第二、區分 凡二時間

第一時、位置、面積、人口、地勢、氣候(附加産業)

第二時、都邑、沿革

第三、教辦物 英國地勢圖、鐵、石炭產出圖、倫敦市街圖

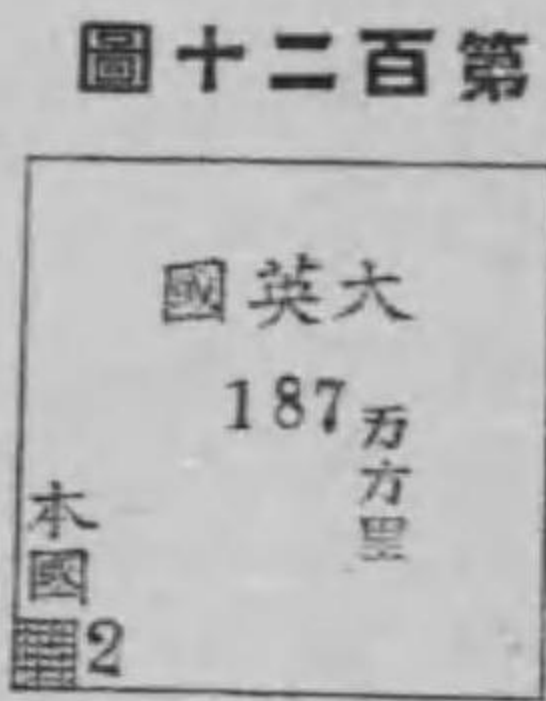
第四、教授材料

一、位置

歐羅巴洲の西部大西洋中にありて歐大陸に近く又遠く亞米利加洲に相對し商業交通上便利の地位を占む

二、面積

大ブリテン(一四〇〇〇〇方里)アイランドの二大島と數多の島嶼(九百餘)とより成



れる島國にして面積は凡そ二萬方里我が國の二分の一に及ばざれども其の領地を合すれば實に世界陸地の凡そ五分の一を占め世界の陸面積凡そ八百七十五萬方里太陽の没する處なしといふ。

三、人口

凡そ四千五百萬にして我が國に及ばざれども一方里の人口二千二百二十人に達し密度我に優ること凡そ六百人なり若し全領土の人口を合算する時は其の數凡そ四億に及び世界人口(世界人口十六億餘)の四分の一に當る。

四、地勢

英國は一般に山地多けれども土地高からず本國第一の最高山ベンネビスと雖高さ一千三百四十三米に過ぎず(ベンネビスはスコットランドの北部にあり東南部は廣き平野ありてテームス河、ハンパー河、トレント河、セパン河この間を流る、海岸は頗る出入に富み海岸線の長さ約六百里河口概して深く良港多し。

五、氣候

溫暖なる墨西哥灣流近海を流れ、西南の風此の上を吹き來り先づこの國に當るを

以て、國の位置、高緯度、に位すれども、(ロンドン北緯五十一度半)氣候概ね溫和にして雨量に富み殊にアイルランドは歐洲第一の雨量地なり。

○倫敦の氣候一ヶ年の平均攝氏の十一度我が長野縣位冬季は平均四度にして我が中國地方位夏季は平均十四度にして我が

圖勢地 圖一十二百第



が北海道位なり、これを東京と比較すれば冬は我が東京の三月初旬の温度に當り夏は初夏の温度に等しいふ、濃霧多く濕氣に富むはこの國氣候の一大缺點なれども亦産業上大いに益するこ

とあり。

六、産業

各種の産業總て發達し、中にも殊に盛なるは工業なり、これ英吉利は殖民地多く隨て原料の供給製作品の販路廣きと工業原料たる石炭、鐵の産額に富み且つ其の産

圖二十二百第



地接近するの利あるによる、(産額産地上圖參照)而して其の工業中綿糸業、器械織物業、製鐵業等特に盛なり、

英國は濕氣に富むにより綿糸織物は國內到る所盛なるも就中綿糸織物業の中心地はマンチェスターにして其の附近は煙突林立爲に煤烟地を覆ひ黑郷(ブラツタカントリー)の名あり

- 綿糸は一年八億圓
- 毛糸は一年二億圓
- 麻糸は一年六千萬圓

製鐵業の盛なるはミッドルスパラー、グラスゴー、造船業はニユカッスル及びグラスゴーを其の最とす、殊に造船業は世界第一にして有名なるアームストロン

グ會社は海軍の武器製造を以て有名前者にあり。

商業は工業と相俟ちて其の盛なること世界無比にして、輸出入の年總額百二十億圓我が國の約十二倍(我が國約十億圓)に達し、商船の噸數また世界第一にして約千九百萬噸に及び、實に全世界商船噸數の二分の一を占め、到る所に航路を開き、津々浦々、英國商船旗の翻翻たるを見る。

圖三十二百第
旗船商國英



商船噸數比較

英國	一八七〇萬噸
米國	六九三萬噸
獨國	四二〇萬噸

諾威 二〇〇萬噸

佛國 一九〇萬噸

日本 一四〇萬噸

伊國 一三〇萬噸

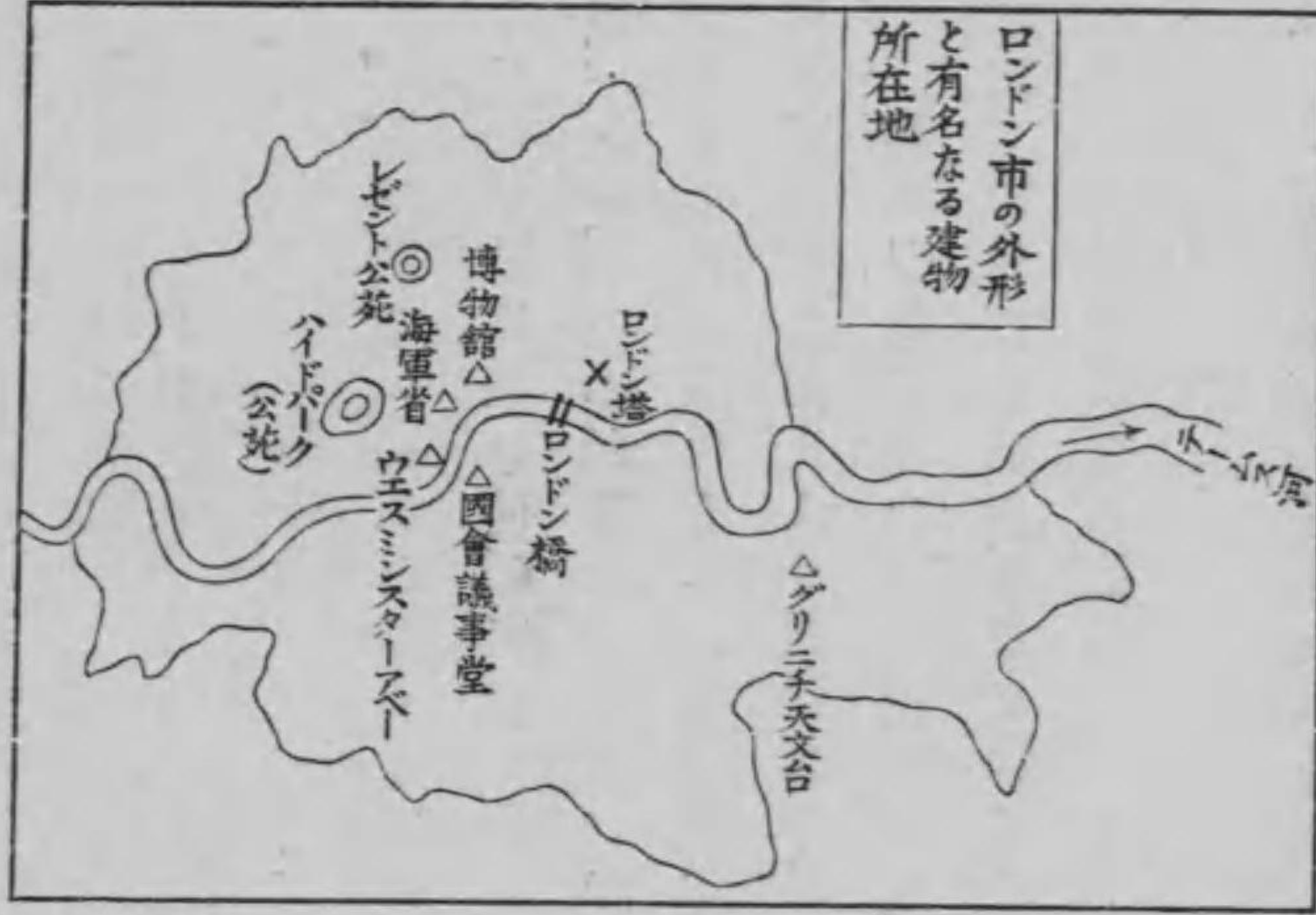
輸出入品の重なるものを擧ぐれば、輸出品は綿織物、毛織物、綿糸、鐵材、鐵製石炭、等にして、其の輸出先は印度、獨逸、佛蘭西、濠洲、我が國を重なるものとす、輸入品は米、肉類、バタ綿、羊毛、木材、等にして重に米國、佛國、獨國、印度等より仰ぐ。我が國との取引は近年殊に盛大となり、其の額年一億五千萬圓(我國よりの輸出二千七百八萬圓、此國よりの輸入八千八百二十三萬圓)に達し、我が國輸入品の供給者中第一なり。英日貿易品目を示せば次の如し。

輸出	鐵材、鐵塊、鐵板、葉鐵、鐵製品、綿織物(カナキン類、更紗)、毛織物(ラシヤ)、羊毛等
輸入	羽二重、銅、米、真田、絹、ハンケチ等

七、都邑

○ 倫敦。テムス河の下流に跨り、世界商業交通上の大中心にして、人口約四百八

圖 四 十 二 百 第



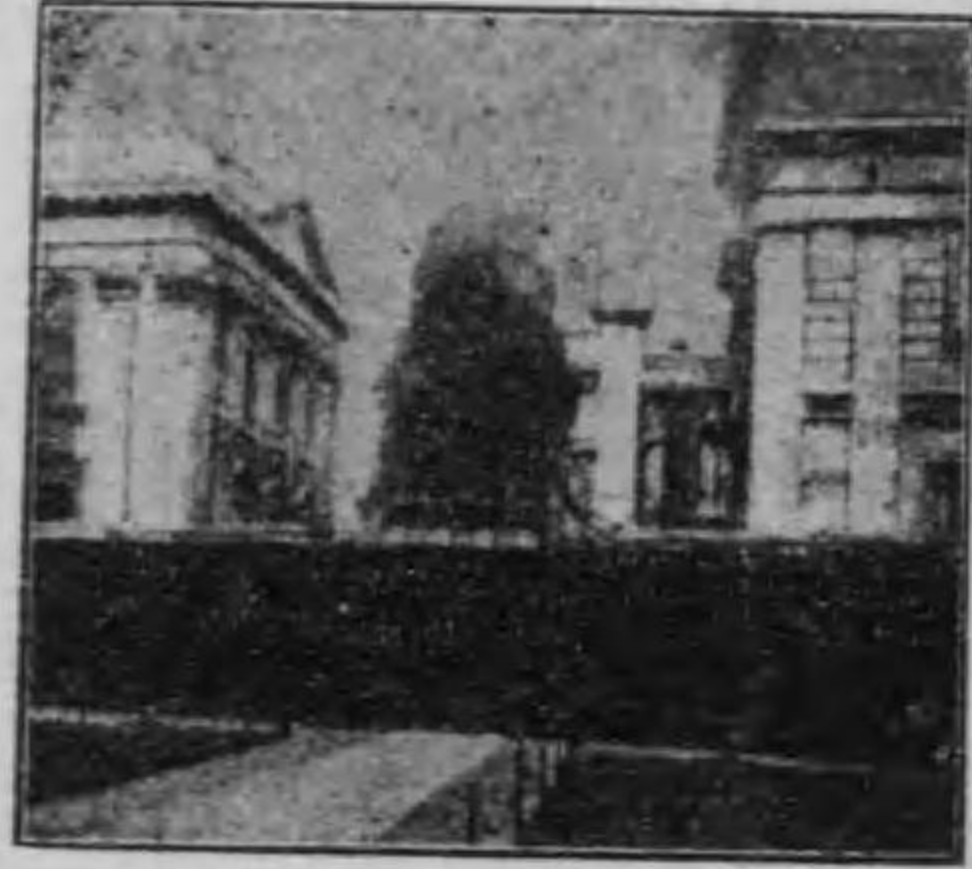
ロンドンの外形
と有名なる建物
所在地

十萬、接續市街を合すれば七百四十萬を
超え英國人口の殆六分一はこゝに集中
す、人口の増加毎年十萬人に餘り世界第
一の大都會なり。市内の名高き建築物
には、ロンドン塔、博物館、國會議事堂、ウエ
スミンスター寺院などあり、上圖に示せ
り。教科書挿畫の倫敦橋上を往來する
ものは、一日平均五十萬に及ぶといふ、以
て其市街の殷盛なること推して知るべ
し、我が横濱より地中海をへて、凡そ六十
日の航程なれども、西、比、利、亞、鐵、道、を、利、用
せば、十六七日(最大急行十三日)にて、達す
るを得べく、大、平、洋、北、米、合、衆、國、を、經、由、す
れば、廿日にて、到るを得べし。

○倫敦橋

テムズ河に跨り、今より八十年前十ヶ年の年月を費して架したるも

圖 五 十 二 百 第
學大ヂツリブンケ



○ケンブリヂ 倫敦

の東北方十三里に

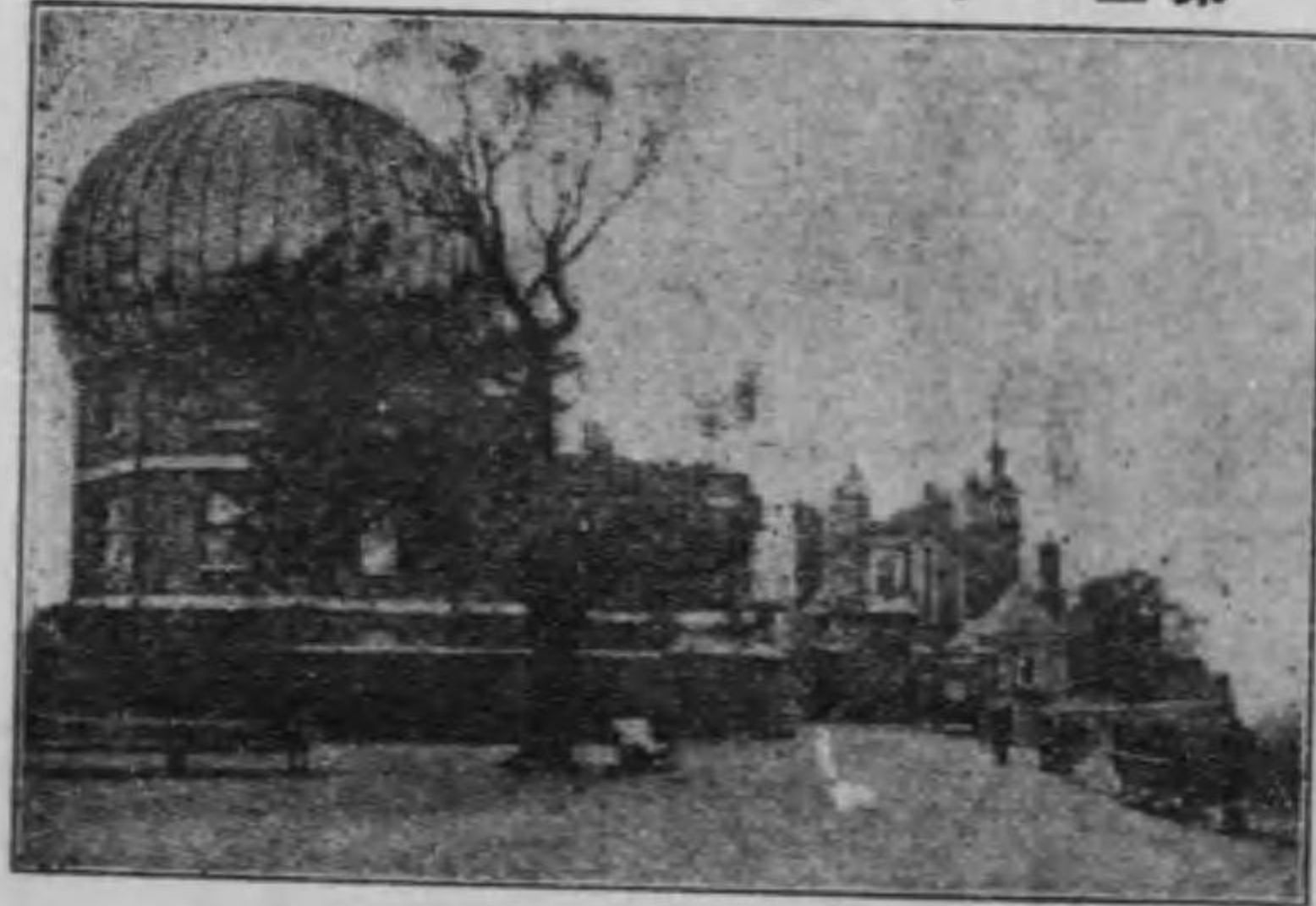
あり人口四萬五千、第十二世紀西曆一二二九年の
創立にかゝる有名なる大學あり。

○オックスフォード、倫敦の北方約七十里にあり
西曆一千二百四九年の創立にかゝる有名なる大
學あり。

○グリニチは倫敦橋の東南二里に位し、有名なる天

圖 六 十 二 百 第

臺天文チニリゲ



文臺ありて此の地を過ぐる子午線を本初子午線とす我が中央標準時との時差は正に九時間にして我が國の正午は彼の午前三時なり。

○ボーツマスは倫敦の西南三十五里にあり英國屈指の良港にして又本國第一の軍港英吉利海峽艦隊の根據地人口二十一萬餘なり。

○カーチフはボーツマスの西北に當れる有名なる石炭輸出港にして輸出年額一千五百萬噸價額一億圓に上り英國第一にしてカチフ炭として有名なり。

○リバプールはイングランド西海岸に於ける中部にありて倫敦に次ぐ貿易港にして北米との貿易倫敦を凌過し綿の輸入と綿

布の輸出とを以て著れマンチエスターとの間には有名なる運河を以て水路の連絡をなす人口七十五萬餘あり。

○マンチエスターはリバプールの東方十四里のところであり運河及鐵道によりて相通ず綿花

をリバプールに仰ぎ綿絲綿布製造の中心地たり人口凡七十萬を有す。

第二百七十七圖
パリブール港



○バーミンガムはイングランドの殆ど中心倫敦の西北百三十哩のところであり鐵工業の盛なるを以て表はれ鐵金銀銅などの金工盛なる世界第一と稱せらる人口五十七萬餘あり

○グラスゴーはスコットランドの西岸にあり英國第二の都會にして人口八十五萬を有す造船業の盛なること本國第一にして年々建造せる船舶の凡三分の二はこの地の製造にかゝる。

○エヂンバラは北部教育の一大中心地にして學術の盛なるを以て名高く出版印刷業の盛なること英國第一なり。有名なるエヂンバラ大學あり市街は風景に富み繞らすに丘陵を以てす人口三十五萬。

八、沿革

この國は今より三百餘年前西曆千五百八十八年(西班牙の無敵艦隊と稱せる海軍を破りてより漸く勢力を得遂に和蘭に代りて海上の權力を握るに至れりかくて世界到る所に領地を開き又大いに力を海軍に用ひ今や其の領地の廣き海軍の強大なる軍艦百九十萬噸世界第二貿易の旺盛なる何れも列國の遠く及ばざる所な

り、近年東部亞細亞及印度の平和を確保せんが爲めに明治三十五年防守同盟同冊九年攻守同盟我が國と攻守同盟を締結するに至れり。

九、注意事項

- 1、右の教材教授中特に産業の發達と國勢との關係を注意して授くべし。
- 2、倫敦の市街については國定尋常小學讀本第十二卷第十六課歐羅巴の三大都と連絡して授くべし。
- 3、尙英國民の氣風が國勢現時の旺盛を來たしたることに原因することを告げ高等小學讀本卷二第二課に連絡すべし。
- 4、西歐の英國は東洋の我が國と地理上相似せる點を指摘せしめ且つ相互優劣の點を比較發見せしむべし。
- 5、第二時間目の最後に於て英國全體につき左の設問をなし復習概括をなすべし。
 - イ、英國の面積及人口の概要、
 - ロ、英國の地勢及産業の發達と其の重要産物、
 - ハ、英國と我が國との貿易の狀況及關係、

ニ、英國の世界列強に對して優れる點をあげよ、
ホ、英國の略圖を描き既習の都邑を記入せよ。

第十節 西班牙、葡萄牙

第一、要旨

西班牙、葡萄牙の位置、地勢、産業、都邑、沿革の概要を授けその國勢を知らしむ、

第二、區分 凡一時間

第三、教辨物

ジブラルタル海峽附近の廓大圖、コルク、オリブの標本若は繪畫、西班牙、葡萄牙の地勢圖等、

第四、教授材料

一、位置

西班牙、葡萄牙の二國は歐羅巴の西南に突出せる一大半島にして對岸亞弗利加と共に地中海の西口を扼す。

二、地勢

イベリヤ半島には北方にピレネー山脈、南方にシエラネバタ山脈ありて其の間に

數條の山脈西より東に並行して一大高原をなす、數條の河はこの山脈と平行して縦谷平原をなせども、土地概して高く、西班牙の首府マドリドの如きは平原地にある

圖 八 十 二 百 第 圖 勢 地



も尙海拔四千尺のところにあり以てその一般を知るべし。(上圖参照)

圖 九 十 二 百 第 收 採 の ク ル コ



三、産業

産業は農業を主とし、産物の重なるものは、麥類、コムク、葡萄、オリブ等にして、麥類は主として半島の中央部並に地中海岸の地に産す、コムクは地中海沿岸の山地及中央高原地に多く繁茂せる、コムク櫛の皮より採取するものにして(第百三十圖参照)樹の大なるは高さ十五間位、皮の厚は一寸六分

圖 十 三 百 第 樹 の プ ー リ オ



圖 一 十 三 百 第 實 の プ ー リ オ



乃至六寸餘に達し、木栓、義足、夏帽子の裏等に使用せられ本半島産のものは品質良好を以て著る葡萄は各河岸及海岸地方に多く、本半島の主要産物にして、その栽培

地積は二十萬町歩に及びこれより醸造する葡萄酒は年額千七百萬石に達す、オリブは多く地中海に産し、木犀科植物にして高さ四間に達し、果實は楕圓體にして長さ一寸、綠色をなし、大樹よりは一ヶ年十石乃至二十五石を採取するといふ、コルクと共に本半島の重要輸出品の一なり。

○オリブを漬物にするには生熟にて採取し油(オリブ油)を搾るものは充分熟したる後に採取す、オリブ油は食用及藥用主に軟膏下劑用(石鹼製造)に使用す。

四、都邑

○マドリードは西班牙の首府にして國の中央に位し、交通の要路に當り人口五十萬餘の都會なれども、氣候不順にして頗る健康に適せず、諺に「三ヶ月は氷屋九ヶ月は熔爐中にあるが如し」と云ふ以てその概要を知るべし、我が公使館はこの地に置かれ葡萄牙を兼管す、地中海沿岸のバルセロナは本國唯一の開港場にしてコルク及オリブの輸出を以て名高し、人口五十六萬餘あり。

○リスボンは大西洋岸に位し葡萄牙の首府にしてタホ河の上流九哩のところにあリ(第百三十三圖を見る)、人口三十六萬、軍港を兼ねたる著名の貿易港にして、葡

萄酒を多く輸出す、氣候良好健康に適し、且つ風光明媚なるを以て歐洲人の療養地として名有り。

第百三十三圖



○ジブラルタルはジブラルタル海峡に臨み、英領にして長さ約一里半、幅十二町、面積二方里の半島の西岸にある都邑なり、人口二萬八千、軍事上重要な所なるを以て堅固なる砲臺を設け、守備兵五千を駐屯せしめ、地中海の西口を扼す。(百三十四圖參考)

○ジブラルタル半島は西班牙王位繼承戰役の結

果西曆一千七百四年英領となる。教科書の挿畫は下圖の矢の方向より見たるものにして、丘陵の險峻なる方は東にして傾斜の緩かなる方は西なり、本港は自由港と軍港を兼ね英國大西洋艦隊の根據地なり。

第百三十三圖 近附ルタルラブリ



五、沿革

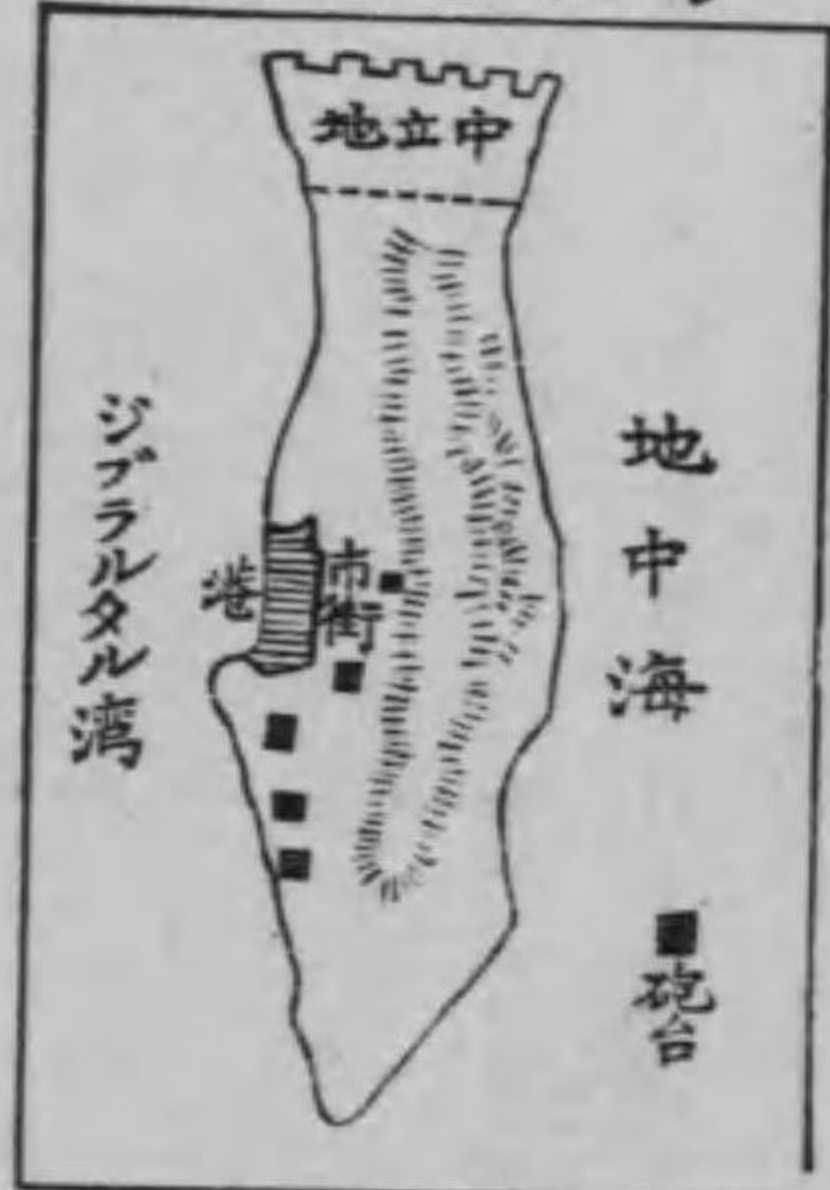
西班牙及び葡萄牙は夙に航海業の發達せし國にして、今より四百年前には亞米利

加及び東印度諸島等に廣き領地を有し、其の國人は當時既に我が國にも來航し、通商の道を開き、キリスト教及び鐵砲を傳へ、西洋の文物を輸入せり、

○鐵砲の傳來(天文十二年葡萄牙人大隅の種子島に於て傳ふ。

第三百四十四圖

ジブラルタル半島



○キリスト教は(天文十八年)西班牙人フランシスザビエル傳ふ。

○西班牙葡萄牙語の我が國語となりしものを見て我國と往昔深き關係ありしを知るべし。

1、西班牙語より轉訛せるもの

- カステラ カツバ メリヤス ビロード シヤボン(石鹼)等
- 2、葡萄牙語より轉訛せるもの

- カルタ サラサ タバコ(煙草) ラシヤ(羅紗) バン ボタン コンベート等

然るに第十七世紀に及び和蘭英吉利の漸く海外に發展するに従ひて國勢次第に衰へ、其の領地は或は奪はれ、或は獨立するものありて其の大部分を失ふに至り、今や世界二等國の伍班に降れる有様なり。

六、注意事項

- 1、二國が夙に航海術の發達したることに注意すべし。
- 2、ジブラルタルが重要な地點なることを明瞭に教授すべし。

第十一節 伊太利

第一、要旨

伊太利の位置、面積、人口、地勢、産業、都邑、沿革等の大要を設け、本國の西洋文明に深き關係あることを説き、且つ現時の状態を知らしむ。

第二、區分 凡二時間

- 第一時 位置、面積、人口、地勢、産業
- 第二時 都邑、マルタ、沿革

第三、 教養物

伊太利地勢圖、ネーブルス市街とベスピヤス火山附近圖、ローマ市街圖等、

第四、 教授材料

一、 位置、面積、人口

伊太利は地中海に突出せる長靴形をなせる一大半島にして、長さ凡そ二百九十里、幅は北部の廣きところにて百四十里、中部は三十三里、乃至五十八里、南部の狭きところは僅に八里に過ぎず、シシリヤ、サルヂニヤ等の島嶼を併せて面積凡そ一萬八千方里我が國本州より稍々大なり、人口は三千四百萬、一方里につき一千八百三十人にして密度世界第四位にあり。

二、 地勢

アルプ山脈より南に向つて分れたるアペニン山脈は半島の脊梁をなし、更に延びてシシリヤ島に表はれ分水嶺をなす、伊太利火山脈之に沿ふて走りベスピヤス、エトナ、ストロンボリ(島)等の名高き火山あり、到るところ山地多げれども北部なるアルプ山脈とアペニン山脈との間にはロンバルヂの平野ありてポー河これを流れ

て下流に低濕の三角洲を作り、アドリヤ海に入る、其の他著名なる河には半島の西部にタイパー河あり。

氣候は一般に溫暖にして、晴明の天氣多きと、中部湖畔の風明媚なるによりて、歐洲の樂園と稱せられ、名所舊跡多きを以て、遊客甚だ多しといふ。

三、 産業

國中の産業最盛なる所はミラノを中心とせるロンバルヂ平原にして、殊に養蠶業を

第三百五十五圖



最とし生絲の産出甚だ多く、年額凡そ六千萬圓に達し、支那及日本に次ぎ歐洲第一なり、次に盛なるは農業にして、葡萄は耕作地の六分を占め、就中タイパー河畔に多く、年産額佛蘭西につぐ、オリーブは半島の中部以南、殊に西海岸に多く産し、世界第一なり、隨て葡萄酒及びオリーブ油盛に醸造せられ、葡萄酒の如きは他國の葡萄酒醸造の爲にこの國の南部地方より輸出する葡萄酒及びその搾汁を除くも尙毎年

平均二萬五千餘石に及ぶといふ。鐵產物中、硫黃は火山地方殊にシシリ島のエトナ火山に多く、歐洲唯一の産出地として目せらる、其の採掘量鐵産總額の五分の二を占むといふ、

大理石はアベニン山脈の北部地方より産出し良質なるを以て建築用材及彫刻用

として重要せらる、此國は商業殷盛なりと云ふを得ざれども外國貿易高二十億圓に達せり

日伊貿易、輸出千八百萬圓

輸入六十六萬圓

○伊太利人は概ねラテン族にして、性質淡白、親切、優美、愛嬌に富み、音樂美術に長じ、繪畫彫刻等世界の模範となるもの尠少なからず。

街市マロー

輸出千八百萬圓
輸入六十六萬圓

圖六十三百第



四、都邑

術に長じ、繪畫彫刻等世界の模範となるもの尠少なからず。

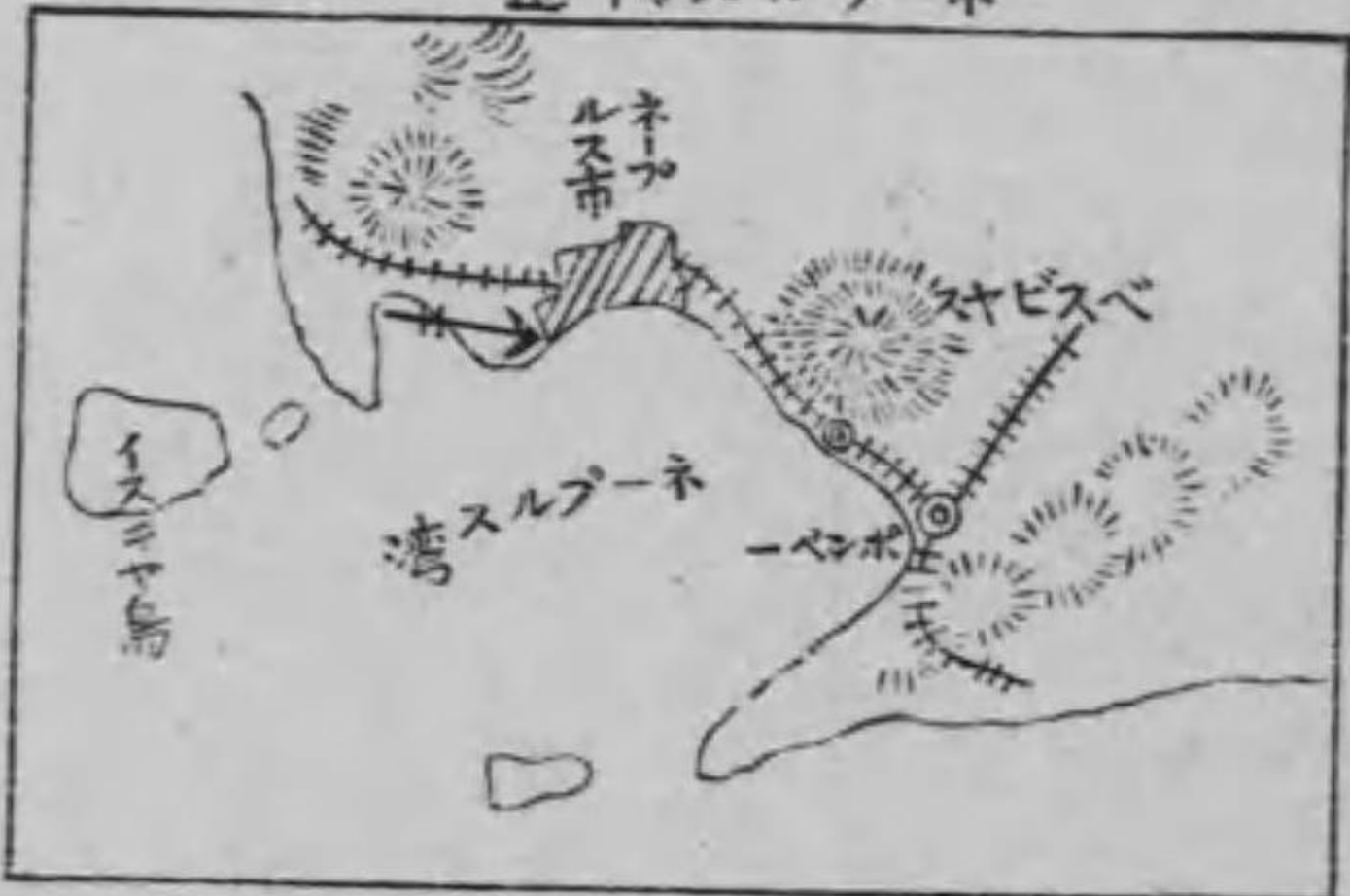
○羅馬は伊太利の首府にして國の中央に位しタイバー河口八里のところにある、昔の羅馬帝國の首府(西洋紀元前七百五十三年の建設にして宏大なるセントペテロ大寺(舊教の大本山)バチカノ宮殿(ローマ法皇の住所)などの建築物其の他歴

史上の遺物多く人口五十七萬餘を有す。

○ネーブルスは羅馬の東南にありて、ネーブルス灣に臨み、上圖の如く東南にベスピヤス火山を望む、人口七十二萬本國第一の都會なり、教科書挿畫はネーブルス市街よりベスピヤス火山を望みたる圖にしてその風景の清絶なるを示して遺憾なし、ベスピヤス火山は今より一千八百三十四年前、突然大噴火をなして、附近のポンベイ市及ヘルキュラネーム市を埋没せしを以て名高く、其の後數回噴火し、今以て教科書挿畫に示す如く噴煙濛々たり、ルソー曾つて曰く、若し漫遊の客にして時機を選ぶ自由

圖七十三百第

近 附スルプーネ



あらば夏はネーブルスに遊び冬はベテルブルグに遊ぶべし」と又伊太利の俚諺に「ナポリ(ネーブルス)を見ずして死することなかれ」と以てその風光の如何を知るを得べし。

○ゼノアは地中海岸のゼノア灣に臨み、當國第一の貿易港にして、本國全貿易額の六分の一はこゝにて取引す伊太利のリバプールの稱あり彼の有名なるコロンプスはこの地に生る、人口廿七萬餘我が國の名譽領事館を置かる、
○ベニスは嘗て盛大を極めし港にしてアドリヤ海の北岸百二十餘の島上にあり、市街恰も水上にあるが如く市中の交通は専ら小舟に依る、世界奇街の一と稱せられ人口十六萬商業盛なり有名なるマルコポーロの生地なり。

圖 八十三百 第



は、全國第一にして、綿布業もまた、名高し、人口約六十萬餘伊太利第三の都會なり

○ミラノはロンバルヂ平原の中心に位し、サンゴタルド、シンブロンの大陸道を通じて中部歐羅巴に到る要點を占め、陸上貿易甚だ盛にして、絹織物業

圖 九十三百 第



市 ス ニ エ グ

市中に伊太利統一の偉勳者カブールの記念碑あり、人をして轉た追慕の念に堪えざらしむ、

○マルタはシシリ島の南にあり、面積我が國岐島位にして人口廿一萬餘、英吉利に屬し地中海の心臟に當るを以て軍事上の要地として著はる、英國は地中海艦隊の根據地をこゝに置きジブラタル、キプロスと相呼應して重要な地となす、首府パレッタは人口凡六萬餘、軍港商港をかぬ。

五、沿革

伊太利の地は西曆紀元前七百五十三年、タイバ
ー河畔に起りたるローマ市を以て始源となせる
古代羅馬大帝國の本國にして、文化夙に開け
る。現今の伊太利は今より凡五十餘年

前(西曆一千八百六十一年)ザルヂニヤ王、ピクトルエマヌエル二世の建國に係り、爾來國勢を振張し、世界八大強國の一として數へらるゝ立憲王國なり、千九百十二年(明治四十五年)伊土戦争の結果、瑞西國ウーシーに於て締結せられし伊土平和條約により、亞弗利加のトリポリを獲得せしは人の知る所なり。

六、注意事項

- 1、伊太利の地位の優良なる點に注意せしむべし。
- 2、伊太利古代歴史に重大なる關係を有すること、殊にローマ市は歴史的都府及宗教的都府たることを注意して授くべし。
- 3、伊太利が從來農業國なりしが近時工業鬱然として勃興したることに注意すべし、今此に一例を舉げんに、フロレンスの「オフイシナ、ガリレオ」會社は陸海軍用器の科學的研究をなす殆ど唯一の會社にして、日本人が首尾よく露西亞を壓服したるは間接直接に此科學的工場に負ふ所大なるべし、一八八五年に日本は之會社に着眼し、官吏を派遣し同工場に於て製作せらるゝ機械を研究し視察せしめたり、而して其の人々は同工場に工夫として滿六ヶ年滞在し、實際的研究を爲せ

り、日本が旅順包圍の際二〇三高地を占領するには實に多數の生命を犠牲とせしが、其唯一の目的は此フロレンスにて製作せられし視距器を同高地の頂上に据付けんと欲するに外ならざりき、我軍をして極めて正確に露艦を撃沈せしめたる此器械は、實に伊人の研究に因るものにして、彼旅順が陥落したるときに猶未だ二百三高地の頂きに其儘据ゑられ居たるを戰時通信員によりて報せられたり。

- 4、第二時間目の最後に次の發問をなして伊太利に對して其の觀念を確實ならしむべし、

- イ、伊太利の位置面積人口について其の概要を話せ、
- ロ、伊太利の地勢並に産業との關係についてその概要を述べよ、
- ハ、伊太利の都邑沿革と古代歴史との關係について、
- ニ、伊太利の略圖を描くこと。

第十二節 バルカン半島

第一、要旨

バルカン半島の位置、地勢、區分、都邑、沿革の大要を授け、且つ該半島が歐洲に於て文化の發達せざることを及歐洲外交問題の中心地たることを知らしむ。

第二、區分 凡二時間

第一時、位置、地勢、區分

第二時、都邑、沿革

第三、教辨物

バルカン半島の地勢圖、同區劃圖、コンスタンチノーブル附近圖等

第四、教授材料

一、位置

バルカン半島は歐羅巴洲に於ける南部三大半島中最も東方に位する半島にして、ダルダネル(幅一哩)ボスポロス(長さ約七里幅四町乃至廿八町)の兩海峡を挟みて東南小亞細亞半島に對し、更に突出して希臘半島をなし、黒海と多島海、多島海とアドリア海とを分つ。

二、地勢

第四百四十四圖
バルカン半島地勢圖



地勢一般に錯雜を極め内地は山脈相連互して(バルカン山脈、ピンドス山脈、ダナル、アルプ山脈)山地甚だ多けれども北部にはダニユーブ河流域の稍々廣き平野ありて半島中主要の農産地をなす、海岸は半島岬角に富み殊に希臘海岸は其の最たり、東南部海中には大小の島嶼散布して所謂多島海をなす。

ダニユーブ河は埃地利、洪牙利より流れ來り、半島に入りてルーマニヤ、ブルガリヤの境を東流し、後ブルート河を併せ大三角洲を作りて黒海に注ぐ。此河は河口より鐵門までは各國共通の航路にして、ガラツに之を監理する國際委員ありて税金を徵收す、即ち國際河なり。

○農産物の重なるものは穀物、生絲、葡萄、無花果、煙草等にして、就中煙草は土耳其煙

草として歐洲に名高し、

三、區分

此の半島は地勢前述の如く複雑なるを以て自ら數多の(六ヶ國の)邦國に分る即ち左の如し、

圖一十四百第
圖分區島半ンカルバ



全土耳其面積二十萬方里、人口三千四百萬人。

1 歐羅巴土耳其 立憲帝國

面積一萬一千方里、人口六百十萬、首府コ
ンスタンチノーブル、

2 希臘 立憲王國

面積四千二百方里、人口二百六十萬
首府アテネ、

3 モンテネグロ 立憲王國

面積六百万方里、人口二十五萬、
首府チエチニエ、

4 セルビヤ 立憲王國

面積三千百万方里、人口二百九十萬、
首府ベルグラード、

5 ルーマニヤ 立憲王國

面積八千五百万方里、人口六百八十萬、
首府ブカレスト、

6 ブルガリヤ 立憲王國

面積六千三百万方里、人口四百二十萬、
首府ソフィヤ、

右の中土耳其は中部の地を占め、希臘は希臘半島の大部と附近の島嶼とより成る、
(區分圖參照)而して希臘は半島に於ける我が國唯一の條約國なり、

四、都邑

○コンスタンチノーブルは土耳其の首府にしてボスポロス海峡に臨み金角灣を抱き、對岸亞細亞のスクタリと共に一市街をなし、人口百二十萬、南部歐羅巴第一の都會、黒海出入の關門たり、本市は各國各地の諸人種相集り、其の容貌、服裝等極めて雑多にして、往來の行客を點檢すれば、白人あり、黄人あり、黒人あり、千様萬態なる一場の人類共進會を見るが如し、更に市中各所に多くの尖塔を見るは回

教寺院の附屬物にして共に君府の特色なり、

圖二十四百第



○尖塔(ミナレット)は毎日一定の
 時間にマホメット教の僧侶信
 者がこの下に集り、メッカに向
 ひ跪座叩頭して禮拜祈禱する
 所なり。

○アテネは希臘の首府にしてアッ
 チカ半島の西側に位し、人口十七
 萬餘この地往昔は單に希臘樞要
 の地たるのみならず歐羅巴洲に於ける文藝の要地にして文學美術に於て實に
 世界に冠たりき、有名なる古代の遺蹟アクロポリスの丘は府の南隅にあり、パ
 ラノンの神殿は大いに頽廢して、殘存せる大理石の柱は觀光の客をして感慨の
 情に堪へざらしむ、今は大學(半島第一)博物館などの壯麗なる建築物あり。

○チエチニエはモンテネグロの首府にして人口僅に四千許あり。

○ベルグラードはセルビアの首府なり、人口約八萬、商業盛にして、且つ軍事上重
 要の位置に當るを以て屢々戦亂の巷となりしことあり。

○ブカレストはルーマニアの首府にして國の中央に位し、人口二十九萬餘、市街
 甚だ美麗にして「半島のバリー」の稱あり。

○ソフィヤはブルガリアの首府なるが人口凡八萬三千、商業上の一要都にして
 君府より塊地利洪牙利に通ずる鐵路要驛に當る。

五、沿革

土耳其は小亞細亞の地に起り、西曆千四百五十三年、君府を陥れて東羅馬帝國に代
 り、一時頗る繁盛を極め、歐羅巴、亞細亞、亞弗利加の三大洲に跨れる一大帝國の建設
 者たりしが、第十七世紀に至りて國勢漸く衰へ、洪牙利の地は塊地利の爲に蠶食せ
 られ、黒海の北部は露國に奪はれ、バルカン半島内には希臘、次いでルーマニア、モン
 テネグロ、セルビア、ブルガリアなどの國獨立し、明治四十三年に於てボスニヤ、ヘル
 ゼゴビナの二州は塊國領となり、亞弗利加に於ては埃及に於ける統治の實權を英
 國に讓與し、明治四十五年には伊太利の爲にトリポリを占領せられ、其結果最近バ

バルカン半島諸國と戰爭を開きて失敗し(明治四十五年より大正二年に跨り)多くの地を割讓し、國土日々に縮まり、歐洲土耳其と稱せらるゝ部分も既に他の有に歸し、今は僅に往年の六分の一に過ぎず實に老大國の末路愍然たり。

希臘は地理的關係の良好なるより本洲中最も早く開けたる地にして、今より三千年前高度の文明に達し、後西曆紀元一世紀頃これを羅馬に讓り、今日歐洲文明の根元地をなす、今の希臘は西曆一千八百二十一年、土耳其の虐政に反抗して起り、一千八百二十九年に至りて漸く獨立の承認を得たる王國なり、如斯バルカン半島には幾多の小邦分立し、人種、宗教、風俗、習慣を異にするを以て、内憂多くして、何れも國勢振はず、殊に露國は、ビクター大帝以來の國是として、絶えず南下し、勢力を半島内に扶殖せんとするを以て、屢々歐洲國際問題を惹起し、西歐外交家の腦汁を搾り、所謂外交界の噴火山を以て目せらる。

六、注意事項

- 1、バルカン半島は地勢上より數多の小邦國に分立する理由に注意して授くべし。
- 2、バルカン半島が過去に於ては文明の母となり、現時に於ては歐洲文化の最後。

あることを對照比較して知らしむべし。

- 3、希臘文明を知らしむるについては努めて繪畫寫眞等を利用して可及的具體的に説明すべし。

- 4、土耳其は回教國なること及政教混合の國なることを教授の餘力あらば授くべし。
- 5、半島が歐洲外交上の中心地たることに注意し且つ、現時の伊土戰爭及びバルカン半島事件を知らしめ、尙土耳其が他の諸國に蠶食せられんとする狀況に説き及ぶべし。

- 6、本教材教授の最後に於て次の條項を問答してその觀念を一括し收得を確實ならしむべし。

バルカン半島の位置及地勢は如何に、

バルカン半島には何々の國があるか且つ地勢と小邦に分立せることの關係を知らしむ、

バルカン半島の重なる都會は何々、

希臘古代の文明と歐洲現時の文明との關係について、

バルカン半島は外交界の所謂噴火山といふは何故か且つ現時の狀況如何。

第十三節 歐羅巴洲總括

第一、要旨

歐羅巴洲の總復習をなし更に左の括論に達せしめ其の特徴を把持せしめ教授の徹底を期するにあり。

第二、區分 凡一時間

第三、教辨物 世界全國、歐羅巴洲地圖

第四、教授材料

1、歐羅巴洲は諸大洲中濠太刺利に次いで小にして、亞細亞の五分の一に當りユーラシヤ大陸の一半島に過ぎず。然れども、現時の狀態よりする時は、世界文明の策源地たるの觀あり。

2、地勢について見るに亞細亞の如く壯大なる山脈高原なく、南北亞米利加に比すべき、長江大河なし。然れども、其の河流は分布宜しきを得、何れも水運の便ある

に至りては、彼に優ること萬々なり。又亞弗利加の如く、宏大なる沙漠なく、しかも地形は大體より見れば單調なるが如くなれども、細かに觀察すれば、頗る複雑を極め、爲に幾多の小國を現出せり。海岸線の發達に至りては、最も顯著にして、良港灣に富み、その位置世界陸地の殆中央にありて、商業上の至便なると共に、其の發達の源因をなせり。

3、氣候は、概して緯度の高低によれる變化少なく、反つて經度の異なるによりて、差異を生ぜし觀あり。これ墨西哥灣流の影響と海岸よりの距離の差に基因するものと考ふるを得べし。要するに本洲の氣候は概して亞細亞に比して溫和なりといふを得べく、人類の活動に適す。

4、地味の豊沃は氣候の良好と相俟つて産業の發達を促し、殊に鐵、石炭の有要礦物の埋藏豊富なるは、他洲に比類なき工業の發達に資せり。一般に其の地面は、最もよく人類に利用せらるゝの觀あり。加ふるに人種天稟の活動と學理の應用とは一層の發達を來し、他洲に原料品を仰ぎて、これを精製品として他國に輸出す。従つて茲に外國貿易の旺盛を見るに至れるなり。

5、住民は六大洲中、密度最も大にして、其の人種は亞細亞に次いで多様なり、而して世界に於ける文明の程度最も高き地位に進めり。蓋彼等の天性、獨立進取の氣象に富み、發明心の旺盛と實業殖産に努めし結果なるべく、今や世界の主人公たるの觀あり。

6、白哲人天性の武器と努力の結果は、六大洲中最も完備せる交通機關を有するに至らしめ、鐵道、水運の便より、郵便電信に至るまで、遺憾なく發達せしめ、歐羅巴をして、殆ど全部都會たるの狀況に至らしめたる觀あり。

7、地球上國をなすもの五十有餘、この中本州に在るもの二十有餘に達す。これを小にしてはタポララの如く、面積一方里、人口五百人を以て國家を形成するあり。これを大にしては、世界五分の一の陸地を獲得し、人口四億、世界の四分の一を有する英國の如きあり。而して其の二十有餘の中、六ヶ國は國勢強大にして所謂歐羅巴洲の六大強國と稱せられ、他は此等の勢力の平衡によりて、獨立を維持するもの多く、中には白耳義、瑞西の如く國際上珍しき一現象として見るべき、永世局外中立國を生じ、其の關係頗る複雑なり。

○タポララ國は、サルヂニヤより七哩半東北方にある一小島にして、人口最小の共和國なり。次に小なる國としては、佛蘭西、白耳義、獨逸の間に介在せる、モレスネットをあぐべく、其の廣さ三十五町步、然れども人口は三千人あり。モナコの如きも是等について小國なる國なり。
○永世局外中立國、瑞西、白耳義、ルクセンブルグ。

第四章 亞弗利加洲

第一節 亞弗利加洲總論

第一、要旨

亞弗利加洲の位置、面積、地勢、氣候、產物、住民、交通、沿革等の大要を授け、以て本洲の他洲に異なる點を知らしめ、往古の暗黒大陸が、漸次開拓せられ、つゝある現狀を審にするにあり。

第二、區分 凡そ二時間

第一時 位置、面積、地勢、氣候

第二時 產物、住民、交通、沿革

第三、教辨物

地球儀、地勢圖、地勢断面圖、セントヘレナの圖、植物帶圖、サハラ沙漠の圖、バオバブ樹圖、人種分布圖、コンゴ河と鐵道、其他

圖三十四百第 圖の形地



し、其の面積凡そ二百萬方里にして亞細亞の四分の三に當り、世界第二の大陸なり。

第四、教授材料

一、位置、面積

亞弗利加洲は東半球の西南部に在りて(地球儀使用)大西洋と印度洋との間に位し、北は地中海を隔て、歐羅巴に對し、東北はスエズ運河によりて僅に亞細亞と分たる(亞細亞の部参照)地形は北部は廣く、四邊形をなし、南部は南に尖れる、三角形をなし、其の面積凡そ二百萬方里にして亞細亞の四分の三に當り、世界第二の大陸なり。

二、地勢

地勢一般に高原をなし、其の平均の高さは凡そ二千尺にして、地球全陸面の平均の高さと殆ど相等し、故に本洲は、各大陸中亞細亞に次ぎて、高度大なり。

圖四十四百第 圖勢地

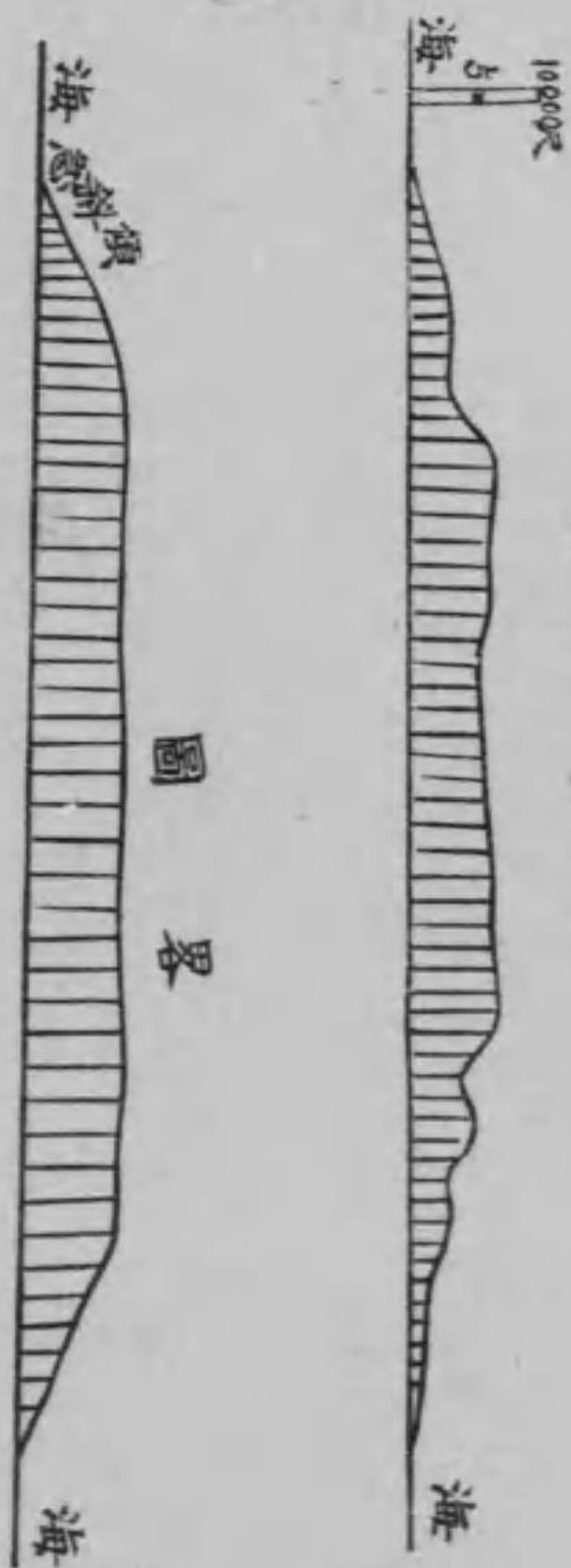


山脈は海岸に沿ひて相連り、其のうち北方に於てはアトラス山脈、南方に於てはドラケンベルク山脈、東方に於ては本洲の最高山キリマンジャロ(一萬九千六百八十尺)を始めとして、ケニアなどの火山を有する山脈ありて南北に走り、西方また海岸

に近く山脈あり。故に断面圖を示せば第百四十五圖の如くなるなり。湖は東部山中に大湖多く、中につきビクトリア湖、タンガイカ湖、ヌヤサ湖等は、大にして、内地にはチャード湖ありて内地河の終點となる。

○ビクトリヤ湖、凡そ四千尺の高度にありて廣き四千四百十六方里、北米スベリオル

圖五十四 東西新橫西東



湖に次ぎ世界第二の淡水湖なり、ナイル河の水源をなす。○タンガイカ湖、凡そ二千八百尺の高度にあり、面積二千三百方里、我が九洲位、湖水はコンゴ河に注ぐ。

○ヌヤサ湖、凡そ高度千六百尺のところにあリ、面積二千方里、湖水はサンベジ河に排出す。

河は北流して地中海に入るものに、ナイル河あり、本流を白ナイルといひ、源をビクトリヤ湖に發し、アビシニヤ高臺に發源する青ナイルを合せ、埃及に入り有名なる

三角洲をなして海に注ぐ、長さ一千四百里、世界第二の長流なれども、水流急にして中流以下は無雨の地を通過し、水量大河の割合に乏しく、従つて舟楫の便多からず。されど其の流域面積十八萬方里に及ぶ、雨季には河水の増溢によりて沃土を沿岸に残留し、埃及農産の豊源は蓋しこれに負ふところ大なり。西流して大西洋に注ぐものに、コンゴ、ニジエルの二大河あり、コンゴ河は源をタンガイカ湖の南方に發し、多雨なる熱帯地方を流れ、數多の支流を合せて海に注ぐ、長さ一千百六十里、本洲第二の長流なれども、流域は凡そ二十三萬方里に及び、世界第二位にあり、南米アマゾン河に次ぐニジエル河は本洲第三の長流にして九百六十里の長さあり。南部に於て大河と稱すべきは、オレンジ河、サンベジ河にして、一は大西洋に、一は印度洋に注ぐ。

以上の河は長さに於て何れも大河と稱するを得れども、下流に急湍瀑布多きを以て運輸の便を助くること大ならず、蓋し沿岸に併走せる低地は、内部に向ひて段階的に高くなり、遂に平均二千尺の高原となり、低地と高原との境大抵海岸近くにあり、るを以て、内部より流出する河水は、こゝに至りて瀧となり、瀬となるが、故なり、(断面圖参照)

即ちナイル河に於ては六ヶ所の急流あり、コンゴ河には三十二ヶ所の急流瀑布あり、ニジエる河には二ヶ所の大急流あり、サンベジ河には世界に於て有名なるピクトリヤ大瀑布あり、其他オレンジ河にも急湍瀑布(オーグルピース)多く、他の河にも亦同様なり。

海岸は、出入甚だ少なく、各大陸の最下位にあり、今之を各大洲中の首位なる歐羅巴と比すれば、面積に於ては三倍大なる本洲が、海岸線に於ては、歐羅巴の九千五百里に對し、約六千五百里に過ぎず(海岸線の割合は亞細亞の部参照)。

島嶼に至りても甚だ乏しく、印度洋のマダガスカル島の外、西北にカナリー群島、セントヘレナの孤島あるに過ぎず。

○カナリー群島はカナリヤ島の原産池にして、我が國にもこの島より移禽せるもの多し。

○セントヘレナは、大西洋中五百里の沖合にあり、面積八万里、英國に屬し海軍の貯炭所あり、千古の英雄ナポレオン大帝が終焉の地と

圖六十四百第



セントヘレナに於けるボナレオン家の住居

して世に知られ、本島内のロングウッドは、眼目の場所にして、實に西曆千八百二十一年なりき。

○マダガスカル島は世界第四の大島にして、佛蘭西領なり(亞細亞の島の比較圖参照)、東側は貿易風を受けて雨量に富み、森林繁茂して良林を出す、殊にゴムの産多し、金の産額も少なからず。住民は

西岸には亞弗利加人種、東岸には海岸島嶼人多し。本島は元印度洋に横はりしリムリヤ大陸の遺跡島にして、亞弗利加と連絡せしものにあらず、従つて動植物の種類一輩對水を隔てし、本州と大いに異なり、反つて印度系統に屬するもの多しといふ。首府はタナナリボといひ、人口

圖七十四百第 帶物植



凡そ十萬島の中央東部にあり。

三、氣候、産物

本洲は赤道の南北に亘りて大部分熱帯に在るが故に、一般に氣候甚だ暑く、殊に大

陸性を帯ぶることは本洲の特徴とす、これ地勢の然らしむるところなり。赤道地方にては降雨季二回ありて、雨量甚だ多く爲に大河もこゝに發し、大森林もこの地に生ぜり、この大森林地より、南又は北に至るに従ひて雨量順適の耕地あり、それより南北するに従ひて雨量減少し、樹木少なくなりて草地をなせり、草地を經て更に南北に至れば、無雨の地となり、此處に沙漠を見るに至る、南にありてはカラハリ沙漠、北部に於ては世界有名のサハラの大沙漠、これなり、概ね荒地をなせども稀に泉水湧き出で、植物の繁茂せるところあり、これをオアシス(泉地)といふ。

圖八十四百第
漠沙ラワサ



隊商は駱駝に乗りて此の所をたどり、貿易に従事し、沙漠を横断して本洲内地の物を地中海方面に輸送す。

圖九十四百第
地泉と漠砂のラハサ



○サハラ沙漠、サハラは亞刺比亞語にて沙地の意義にして、面積凡そ六十萬方里に亘る一大荒沙地なり、圖に示せるが如く土地概ね砂礫より成り、所々に沙丘の蜿々たるあり。高度は二千米乃至五千米に達する一大高原なり。この沙漠は一年中十ヶ月は乾燥し、晝夜温度の差甚だ著しく、即ち晝間は攝氏四十度以上、に上り、夜間は氷點以下に降る。

○泉地は樹木あり泉水あるを以て、隊商の休憩所となり、或は土地の村落となる等、恰も大洋中の島嶼の如し。

南北兩端の埃及モロッコ、アルゼリヤ、南亞弗利加連邦等は、氣候溫和に土地肥沃に

して、農業、牧畜行はる、殊に綿は英獨領東部亞弗利加、獨領カメルン、ナイゼリヤ、埃及に多く、世界未來の供給地たるべきは殆ど疑を容れざるところ、南阿の梅、梨、林檎等の果物はまた將來歐米の市場を賑すに足るべし、又歐羅巴人は今後亞弗利加に玉蜀黍の供給を仰がんことを希望する状態なり。

牧畜については南阿の駝鳥を最とし、各地に駝鳥の飼養盛なり。

礦物は未だ充分に探検探掘せられざれども、南部地方には、金及び金剛石の産地として著名なる所ありて、共に其の産額世界第一なり。

又本洲には動物の巨大なるもの、猛悪なるもの多く、其の著しきものを象、獅子、犀、河馬、ジラフ、駝鳥、鱷等とす。

教科書挿畫のジラフ、麒麟は、鹿に似て全身に褐色の斑紋あり、高さ二丈に達し、獸類中最も高きものにして、高き植物を食するに適す、皮にて包まるゝ角を有す。

河馬は好んで河に住む、肥大の動物にして、長さ一丈高さ六七尺に達す、河中にありて舟を覆すことあり。

犀は河馬に似て、肥大なる巨獸にして、鼻の上に二本の角あり、全身は銃丸も貫き

難き厚皮を被る、角は薬用、皮は靴底に用ひ肉は食用とす。

○駝鳥は首を擡ぐれば高さ六尺餘に達する最大の鳥にして、羽毛は褐色又黒色を呈す、翼と尾とは純白にして甚だ美麗なり、歐人はこれを婦人の帽子の飾とす、脚は極めて強健にして疾走に適し、馳驅する時は騎馬も及ばずといふ。從而翼は

第一百五十圖

バオバブ樹

飛翔の用をなさず。

植物にはバオバブ、旅人木等の珍樹を始とし、熱帯植物に富む、殊に中部の大森林地は南米のアマゾン河の流域と共に、大樹、巨木繁茂せり。

○バオバブは、樹木中の象と稱せられ上圖の如く、高さ廿間を超えるもの稀なれ共、太さ百尺に餘るものあり、猿のパンの樹と稱せられ果實は食用とし、葉は薬劑となす。



○旅人木は椰子の一種にして、葉は扇状をなし、葉柄の幹に附着せるところに穴を

穿てば清涼なる水を得べし、故に沙漠中を旅行する人はこの木によりて渴を癒すといふ。

四、住民

本洲の住民は歐羅巴人種に屬するものと、亞弗利加人種に屬するものとありて、總數凡そ一億二千四百萬に及ぶ。歐羅巴人種に屬するものは、從來主として北部の地に住せしが、近世に至りて歐羅巴より本洲の南部其他海岸の要地に移住せしもの亦尠なからず、亞弗利加人種に屬するものは大別して三種となす其一なるは、ネグロ族は、サハラ以南の中部地方に住し、其二なるは、バンツ族は、其南方に、其三なるは、小ネグロ族(ブツシマン、ホツテント)

圖一十五百第
圖布分種人



ット等)は最南方に住す、(分、布圖參照)而して此等は何れも多く未開の状態にあり。○教科書挿畫の人種は、黑人(即ちネグロ)の風俗を寫せるものにして、遊牧民なるを以て水草を逐ふて、移轉する狀なり、家族が家具を頭上に載せて運べるは婦人にして、他に家の屋根を搬ぶもの、弓矢を携へて進むもの、柱を背にして進むは眷族なるべく牛を驅りつゝ、鎗を以て家族を保護せるは家長なり。

亞弗利加人種

- 1、ネグロ(即黑人)族
 - 1、ブツシマン
 - 2、ホツテントット
 - 3、アツカ等
- 2、小ネグロ族
 - 1、バンツ
 - 2、スビヤ等
- 3、準ネグロ族

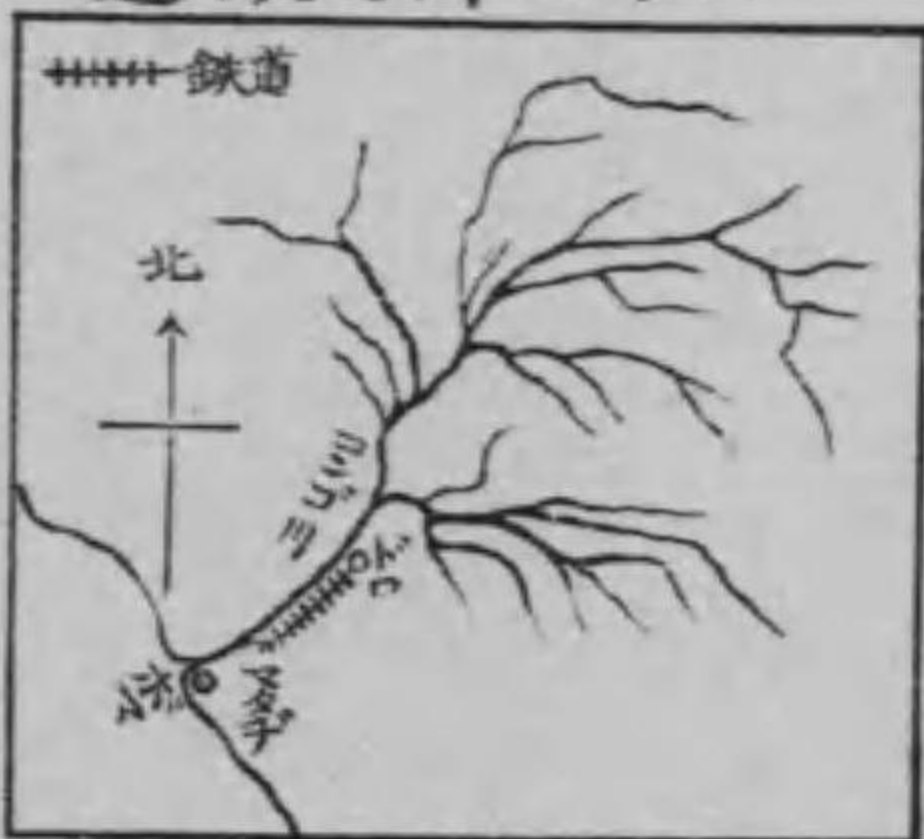
アツカ人は世界に於ける矮小人種の一にして平均四尺一寸なり。

五、交通

本洲は開拓未だ普からず、故に一般の交通不便にして、内地の陸上交通は北亞弗利

加に於ては駱駝を使用し、南亞弗利加に於ては牛の脊による。水路の交通は本洲の諸河河口に近き所に何れも急湍瀑布あるを以てその利用充分ならず、然れども今は鐵道を以てその急流の部分をつとめつゝあり、例へばコンゴ河に於て、上流數百里の間は舟航自由にして、たゞ下流に瀑流あるが故に、河口のボマより約三十五里を遡りマタヂに至り、これよりスタレール、ドロマまで急流なるを以てその間百里の間鐵道を設け、ドロマより汽船にて上流まで通じ得るようになれり、是に於て、この川の利用せらるゝ部は支流共に合せて延長二千里に及ぶ、其他サンベジ河に於てもこの種の利用あり。

圖二百五第 道鉄と川ゴコン



鐵道は北部と南部とに既に開設せられたるところあり、而してこの兩部を聯絡せんとする縦貫鐵道も英國人によつて計畫せられ、今將に工事中にして、其の延長六千八百七十哩のうち四分の三を完成せりといふ。

圖三百五第 道鐵加利弗亞



○縦貫鐵道 北方、アレキサンドリヤ……カルクーム……センチル迄既成、南方、ケープタウン……キンバレー……ブラワヨ……プロクンヒルに至る

○目下佛蘭西はアルゼリヤよりサハラ沙漠を横斷してチンブクツに至り、更にチヤード湖まで鐵道敷設の計劃あり、若しこれが完成の曉には、大西洋沿岸及印度洋岸より地中海沿岸まで鐵道力を利用するこるを得、上圖參照されば、本洲の西岸は佛によりて開拓せられ、東部は英によりて開發せられ、つゝある現状なりといふを得べし。

海運も亦南北の兩部に開け、殊にスエズ地峽には運河を開鑿してより以來、東西兩洋間の交通に大なる便利を與ふるに至れり、而して海運の中心地は北に於てはア

レキサンドリヤ、南に於てはケープタウンなり、諸船はこれより沿岸各地に交通をなす。

六、沿岸

本洲の地中海沿岸地方、即ち埃及地方は、太古既に文明の域に達し、早くより歐羅巴人に知られたる所なり、最近の調査研究によれば、その文明は、凡そ六千二百年の昔と推定せらる、然れども南にサハラ大沙漠あるを以て、其の文明も遂に南に傳播するを得ず、沙漠以南の内部は曾つてこれを探検せし者なく、彼の亞刺比亞人が北亞弗利加を占領して一時勇を振ひし時、駱駝を利用してサハラを南に横切りたれども、大森林に遭遇して遂に南進すること能はざりき、従つて此邊の地理は久しく不明なりき、然るに今より約五百年前、葡萄牙人來りて西海岸を探検し、香料、黄金、象牙、ゴム等の珍品貴重材料を發見せしが、彼等も未だ沿岸地に上陸せしのみにて内地に深入することを敢へて試みざりき。其の後バスコダガマが喜望峯を廻航して、印度洋航路を開きしより、葡萄牙、和蘭、英吉利等の船舶今のデーブル灣、ケープタウンに入り、船を修繕し更に沿海の地を開きしより、大いに歐羅巴人の注目す

第五百四十四圖 歐洲列國勢力範圍圖



るところとなり、爾來探検家屢々到りて、内部の地理漸く明なるに及び、鐵道を敷設して内地と交通し、開拓の歩を進め、英吉利、佛蘭西、獨逸、白耳義、伊太利、葡萄牙、西班牙の諸國は、競ひて本洲の各地を分領するに至れり、是に於て今より二十五年前まで

は、暗黒大陸の名を得し、本大洲も昔日の亞弗利加に、あらずして、其の蒙を脱せし有様は實に目醒しく、本洲に對する世人の夢幻の境界を脱して、正に歐米と異なるところなき實相を現出し來んとする状態なり。これ本洲の大部が歐羅巴諸國の殖民地と化したる結果なり。

故に獨立國の名を有するものは、僅に一二の弱國あるのみ。蓋しその弱國とは、リベリヤ、アビシニヤ等を指す、其他は歐洲各國の勢力範圍に歸せる狀況は前圖を見

て知るべし。

○探検家リビンクストンは、英國スコットランドの基督教宣教師にして、千八百四十八年より亞弗利加に入る。ザンベジ河流域の地を探検す、從來闇黒たりし亞弗利加内部の状況はじめて明瞭となれり、氏の目的は基督教布教が主にして、探検は従なりしなり、されど地理上大に益する報告をなしたり、千八百六十六年以來四年間氏の音信全く絶えたるより、合衆國紐育のヘラルド新聞社よりスタンリーを派遣して其の踪跡を探らしめたり。

○スタンリー氏は、英人にして米人に養はれ、頗る冒險心に富み、ヘラルド新聞の依頼を受け、千八百七十一年印度洋岸より上陸し、ザンベジ河に沿ひて内地に進入し、翌年タンガイカ湖畔ウヂジに於てリビンクストンと會合し、其の音信を齎して歸國せり、この際コンゴ河上流の地理を明にせり、其の後氏は紐育ヘラルド、倫敦のデーリーテレグラフ新聞社通信員として、一千八百七十四年再び探検に従事し、タンガイカ湖附近よりコンゴ河の流域に達して、千八百七十年其の河口に達したり、其の後千八百七十年、白耳義王の依頼を受けてコンゴ河の流域を視察

し、後年コンゴ獨立國の基礎を開けり。亞弗利加の内地は實にこの二氏の探検によりて蒙を開けりといふべし。
この外英國人、カメルン大尉は、千八百七十二年にリビンクストン搜索の爲に、亞弗利加内地に入り、タンガイカ湖より、西方に進み、葡萄牙領亞弗利加に出で大陸を東西に横断せり。

第二節 各國誌

第一、要旨

本洲に於ける各國誌の概要を授けて其の状況を知らしむ。

第二、區分 凡そ二時間

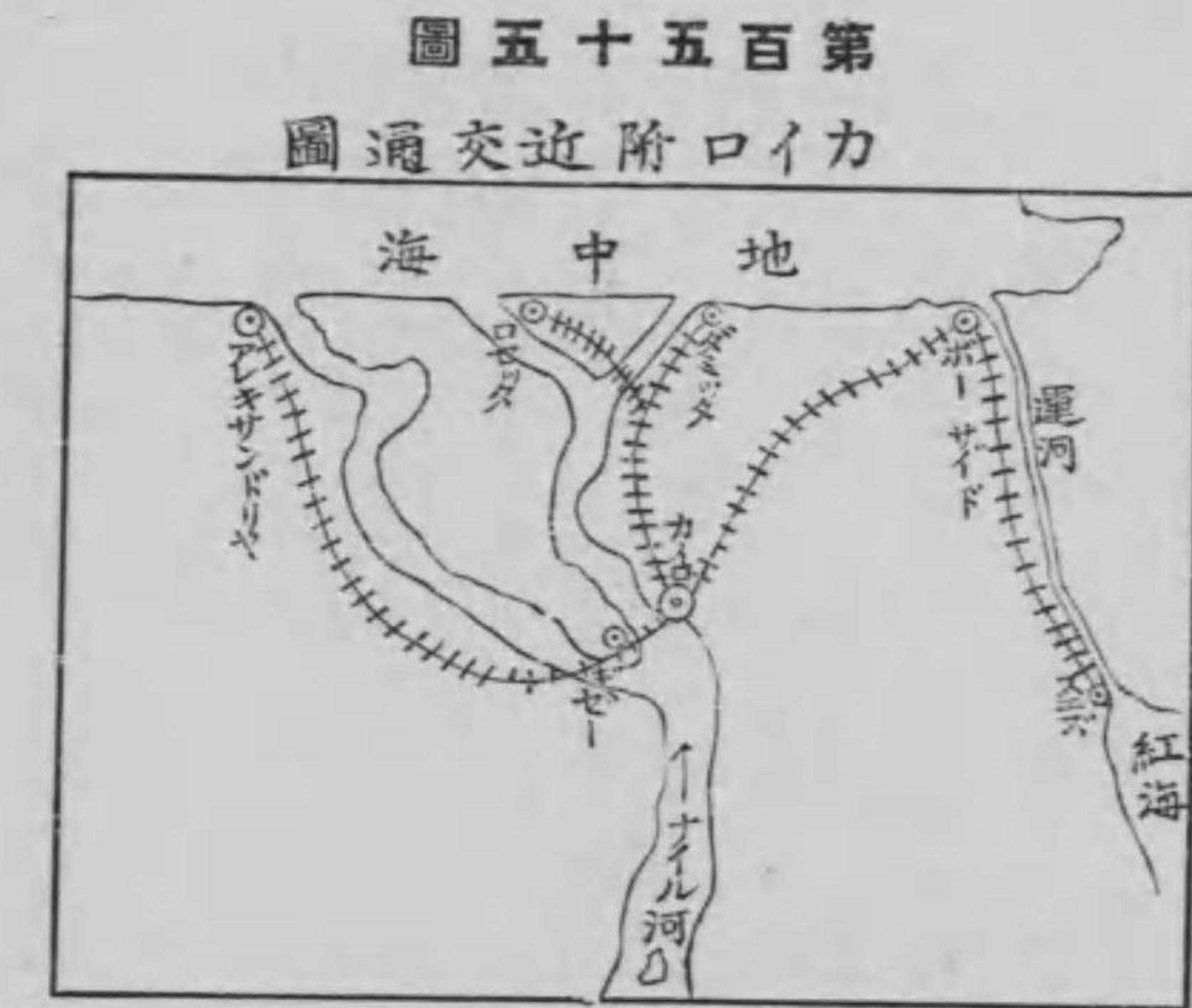
第三、教辨物

本洲區分圖、ピラミット登りの圖、スエズ運河の圖、金剛石採掘の圖、金産額比較圖、象牙運搬の圖、南阿聯邦の鑛産圖、其他

第四、教授材料

一、エジプト

エジプトは、ナイル河の下流地方にあり、面積六萬七千方里、名義上、土耳其の領地なれども、其の實權は、英吉利に屬す、國內を流る、ナイル河はこの國の生命ともいふ



第五百五十五圖
カイロ附近交通圖

べく毎年夏季七月より十一月に至る間に、定期氾濫をなして、河畔の低地に肥えたる土を残し、其の氣候の炎熱なると相俟ちて、肥料を用ひずして多く穀物、綿などを産す、殊に綿は世界第四位にあり、質良好にして我が國にも輸出せらる。

○首府カイロは、ナイル河の下流、河口より一百哩の上流右岸にあり、人口六十五萬餘、本洲第一の都會にして、鐵道四方に通じ、近傍の古代文明の遺跡探訪の客多く集る。

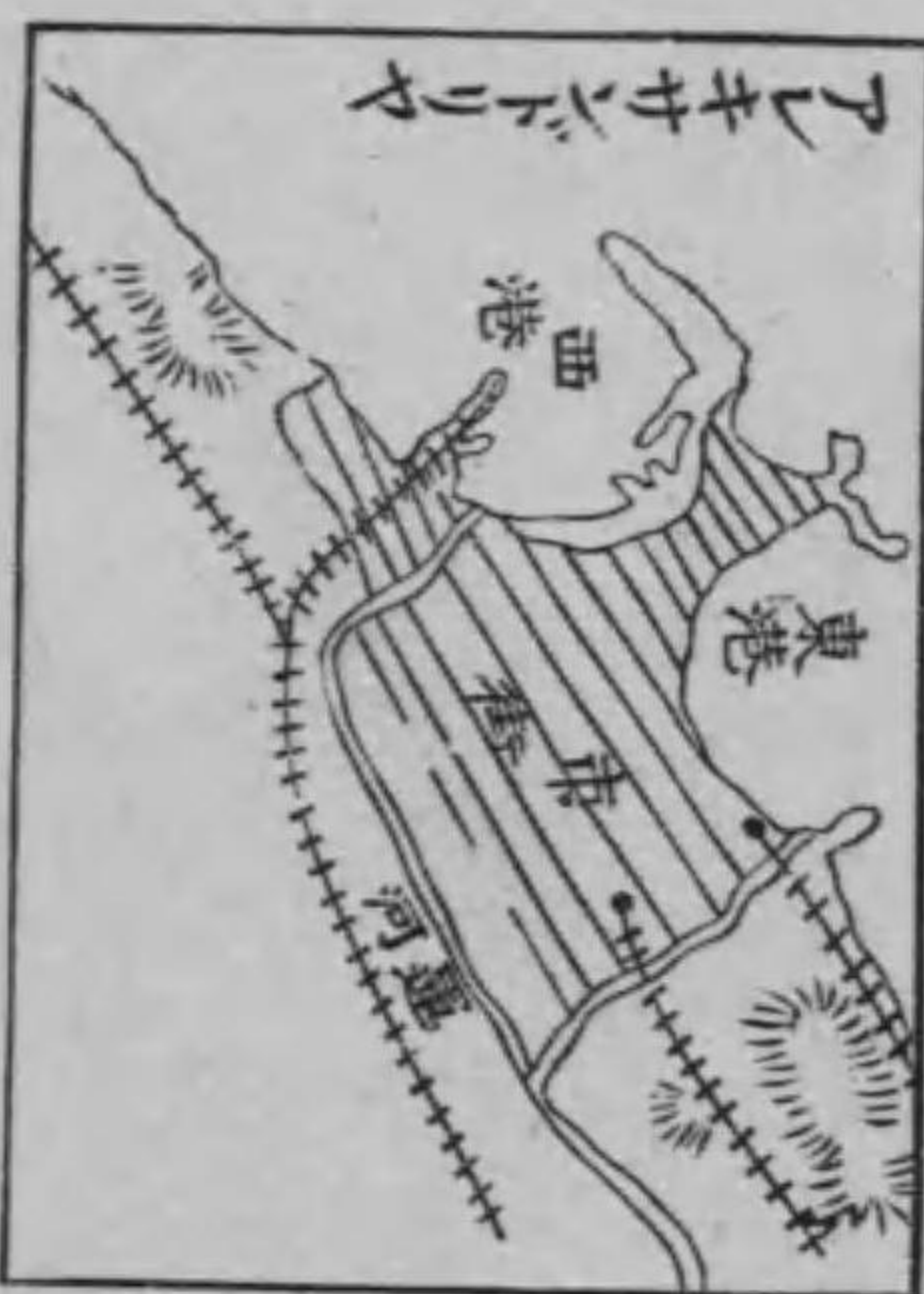
○古代文明の遺物たるピラミッド、スフィンクスはナイル河岸に聳立し、就中ギゼーには、數個のピラミッド、スフィンクスありて、其の中心たり、彼の大ピラミッドは國王の墳墓、クフ王凡そ二千八百年前にして、高さ四百八十一呎、底面積一萬五千八百五十坪餘の宏大なるものにして、十萬の工夫を二十年間使役し、巨石無量二百三十萬以上を推積して竣工したるものなり、圖に示せるはその石を攀ち登る狀況なり。



第五百五十六圖
ピラミッド登り

石象にして、前足の外は一個の花崗岩より刻み出されたるものなり、長さ百八十八呎、高さ六十六呎、面部巾十三呎餘、口の長さ八呎五吋を有す、半ば砂に埋没す、尙側の駱駝と比較して其の大きさを想像すべし。

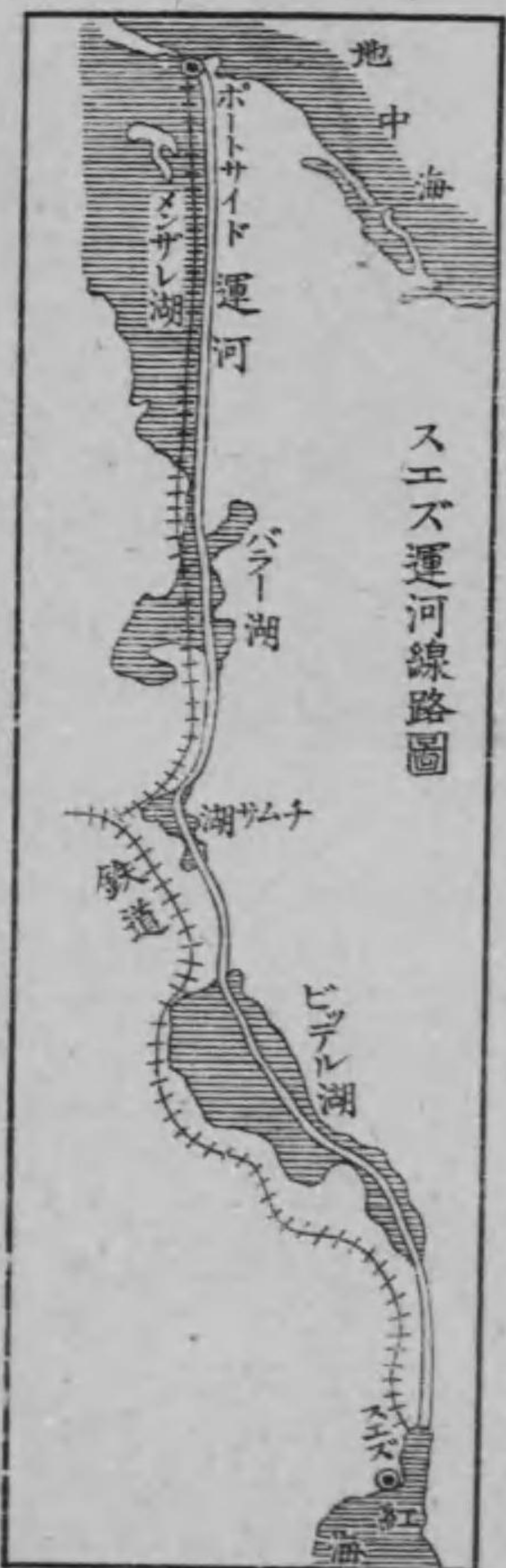
圖七十五回線



○アレキサンダーヤは地中海に臨める本洲第一の商業地にして人口三十三萬二千餘を有し紀元前三十三年アレキサンダー大王の建設にかゝるを以て名高し港は東西の兩港に分る。

○スエズ運河は紅海沿岸のスエズより地中海岸のポートサイドに至るまで長さ四千里佛蘭西人レセップスが起工して以來十年

圖八十五百第



の歲月と二億圓の巨資を投じて千八百六十九年(明治二年)完成す。歐亞の交通に喜望峯の迂回をさげ世界の交通上一新紀元を開きたり圖に示せる如く運河は四ツの湖を利用して開鑿せられこれを通過するに十四時間を要す(亞細亞の部及高等讀本卷二スエズ運河参照)。

○ポートサイドは人口約五萬我が郵船會社歐洲航路の寄港地なり附近より多く珊瑚を産す。

二、アビシニヤ

アビシニヤはエジプトの東南にある獨立國にして山脈國內に亘り地勢甚だ高峻なり面積三萬三千方里人口一千萬人にして基督教國なり首府をアジスアベバといふ人口三萬五千産物は牛羊などの牧畜類多く麥珈琲木綿等の農産物をも出す。

三、本洲西北部の諸國

地中海に臨みてアルゼリヤチュニストリポリモロッコ等の諸國あり。

○アルゼリヤは土地肥え農産物豊にして殊に葡萄アルファ草(製紙原料)などを産す面積三萬方里人口五百萬餘佛領中重要の地なり。

○チュニスはアルゼリヤの東部にあり住民は亞刺比亞人土耳其人多く總數二百

萬に達し、面積八千方里あり、佛蘭西の保護地なり、首府をチユニスといひ、人口廿二萬を有す。

○トッポリは面積六萬方里餘なれども、大部分は所謂不毛の地にして、人民の居住する部分は海岸地方に限る、人口一百万、産物は穀類、煙草、綿等を出す、首府をトリポリといひ、人口三萬、明治四十五年伊土戦争によりて伊太利の領地となれり。

○モロッコはアルゼリヤの西に隣れる國にして、明治四十四年佛蘭西の保護地となれる状況なり、面積三萬七千方里、人口五百萬餘、亞弗利加に於ては重要な地にして、山羊の皮モロッコ皮を重なる産物とす。其の外小麦、大麦、羊毛等の産物も多し、鑛物は多く埋藏せらるゝといふ、首府をフェズと云ひ、タンジエールはこの國第一の貿易港にして、ジブラルタル海峡に面す、本國は地中海の咽喉に當り、軍事上甚だ重要な地なれば、英、獨、佛、西の間に長くモロッコ問題として、外交上の紛擾を重ねし地なり。

四、リベリヤ

リベリヤは、本洲北部の西南に位し、黒人の建てたる唯一の獨立國にして、面積一萬

方里、人口二百萬立憲共和國なり。首府をモンローピヤといひ、人口僅に八千餘。○この國は千八百二十二年亞米利加合衆國に於て解放せられたる奴隸を以て組織せられたる國なり、黒人の建てたる歐洲風の共和國にして、大統領、副大統領あり、産物は珈琲、椰子油、象牙等を主とす。

五、白耳義領コンゴ

白耳義領コンゴは、コンゴ河流域の殆ど全部を占め、面積約十五萬方里、住民は大部分黒人の一種バンツ族にして、實に二千萬の多きに達し、歐羅巴人は僅に三千人に過ぎず、この國は將來亞弗利加の發達と共に、實に見込ある地方にして、産物は護謨

象牙(圖参照)椰子樹など多し。

この國産の護謨は、アラビヤ産のものと異なり、護謨管靴を作る、但し樹脂より製するは同様なり。

交通より見てもコンゴ河を利用して、盛んに産物の輸送に従事し、河口のボマの如

第五百九十九圖
コンゴ河の流域の象牙



きは船舶の輻湊西部亞弗利加に於て冠たり、白領となりてより、列國の協約により、永世局外中立地となれり。

六、南亞弗利加聯邦

南亞弗利加聯邦、ザンベジ河以南のナタール、オレンジ、ケープ殖民地、トランスバール

圖十六百第

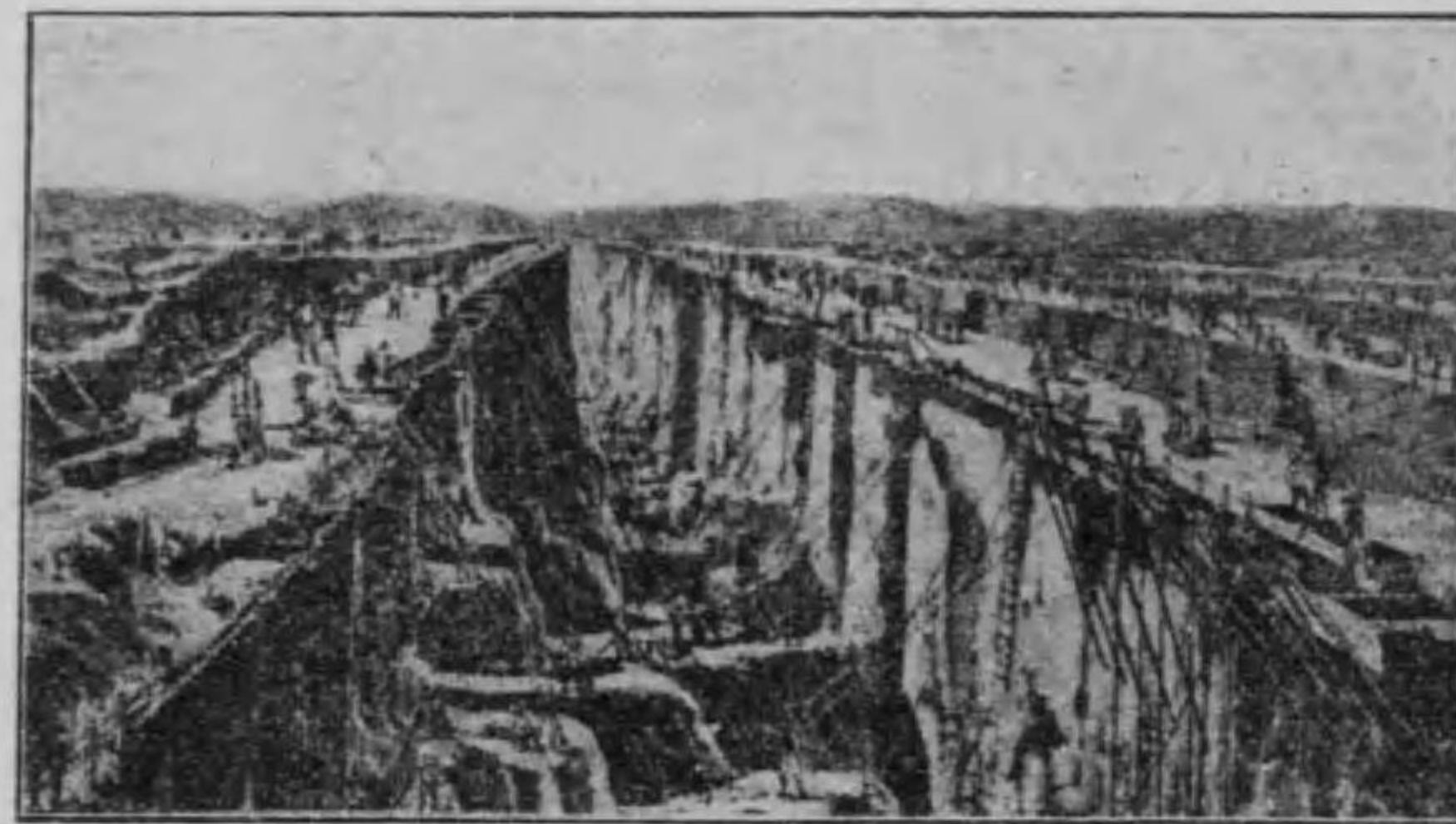
產鑛の邦聯加利弗亞南



の四國は千九百十年明治四十三年、英國議會の同意を得て、一大聯邦國を作れり、その首府をトランスバールのプレトリアに置き、議會を南部ケープタウンに招集することゝなれり、面積八萬方里、人口五百五十萬餘、この國の重なる産物は羊毛、駝鳥、金剛石、金等なり。

駝鳥の飼養は、ケープ殖民地に多くして、一年一千八百萬圓に及び、駝鳥の毛はこの國重要輸出品なり、多く歐羅巴

圖一十六百第

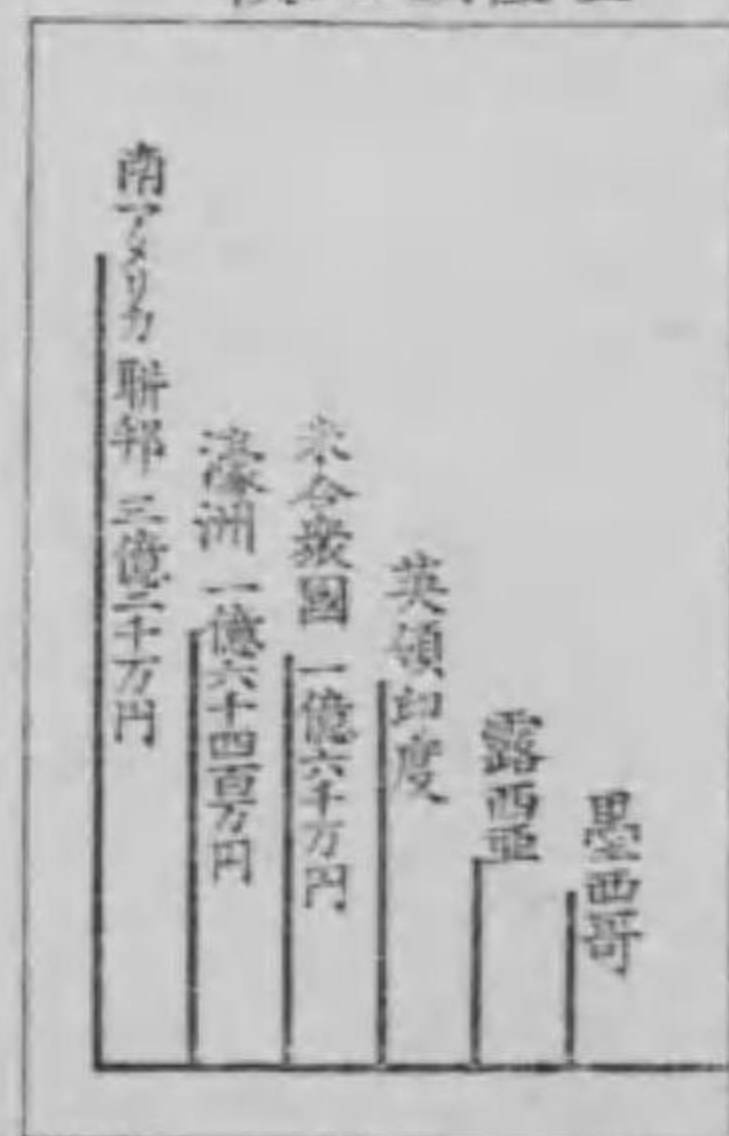


キンバリーに於ける金剛石の採取

の大都會に輸送せらる。

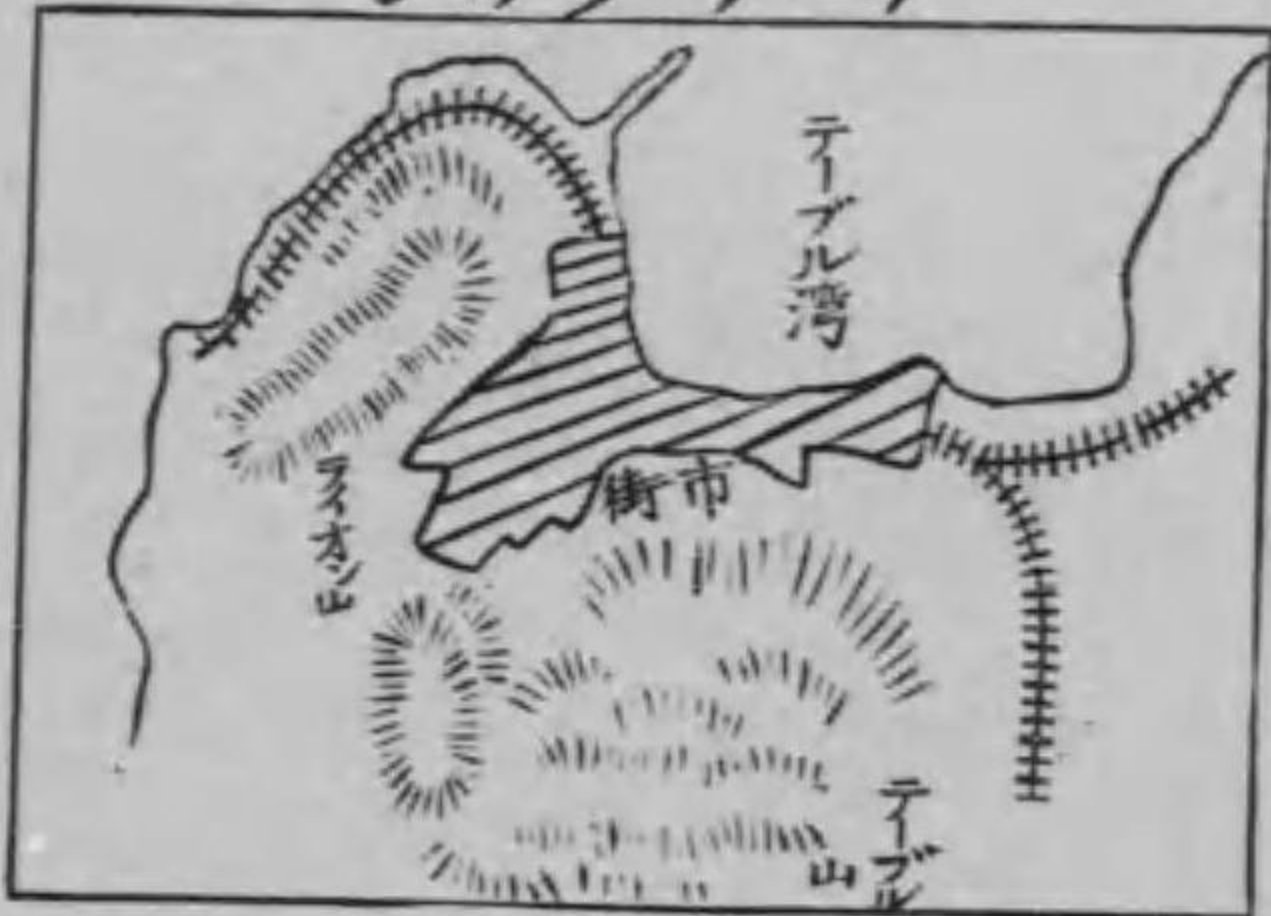
金剛石は、千八百六十七年に和蘭商人によりてこの地に産出多きことを發見せられてより、以來この採掘に従事するもの非常に多く、其鑛脈地域は東徑二十四度より同二十六度、南緯二十八度より同三十度に達する方形の大地域なり。殊にキンバリー附近は金剛石産地の中心地として名高く、一ヶ年九千萬圓以上の多額に上り、世界全産額の實に十分の九を占む（上圖を見て其盛なること知るべし）

圖二十六百第 較比額産金



金もまた世界産額の首位を占め、一ヶ年三億二千萬圓の巨額に達し、北米合衆國濠太利を遙に凌ぐ、産地はトランスバールの地に多く就中ヨハネスブルグを最とす。

圖三十六百第
ンウタプーケ



オンヘッド及テール山にして、奇勝を以て名高し、この地に日本商人一人あり、茨城縣の人にして古谷駒平といふ、日本人の代表者にして日本品を商ひ頗る信

○ケープタウンは、デール湾に臨み、最も南方にある都會にして、人口十七萬、南阿に於ける重要の都會なり、市街は和蘭人の創建にかゝるを以て、和蘭風にして、圖書館、大學校等あり、縦貫鐵道南部起點にして、聯邦議會の開かるゝ地なり。

○プレトリアは南阿聯邦の首府、人口四萬許、交通便利の地なり。

○教科書挿畫は、ケープタウンの北方テール湾より見たる圖、前面はテール湾、脊後の山はライ

用を博し盛名あり。

七、注意事項

- 1、諸河の下流に急端瀑布多きは、本洲の地勢より來ることを明確に推究せしむべし。
- 2、從而運輸の便を缺くを以て、之に人力を加へ鐵道を架し、その缺を補ひ、今や益々其の歩を進めつゝあることに注意せしむべし。
- 3、氣候については、雨量の多寡によりて森林、その他耕地、沙漠の區別生せしことを知らしめ、且つ四圍の地勢より、一般に大陸的なることにも注意せしむべし。
- 4、産物については、諸種の方面に於て、將來有望なることを知らしめ、殊に金、金剛石の産出状況は、他洲と比較して、理會を充分ならしむべし。
- 5、住民は大部は黑人に屬するものなれども、歐羅巴人の配下にあることを知らしめ、且つ面積に比して稀小なることに注意せしむべし。
- 6、交通は未だ既知の大陸に比較すれば發達せざる様なれども、歐人の人智の利用と、本洲開拓に對する奮進猛突は、懸て舊來の亞弗利加を脱して至便の地たらし

むるに至るべきを注意せしむべし。
7、沿革については、探検家の事蹟を知らしめ、且つ本洲開化の次第を明瞭に知らしむべし。

8、各國誌については、歴史上の關係深きもの及近時外交上の關係淺からざるもの、又は各國の特徴に注意せしむべし。

9、尙本洲に於ける歐洲の勢力範圍は圖によりて具體的に理會せしむべし。

10、最後に一括して復習をなすべし。

第三節 亞弗利加洲總括

第一、要旨

亞弗利加洲につき既授の概要を復習して次の括論に達せしめ本洲の特徴を確實に把持せしむるにあり。

第二、區分 凡そ一時間

第三、教辨物

世界全圖、亞弗利加洲地圖

第四、教授材料

○亞弗利加は亞細亞に次ぐ大陸なり、しかも今より十五六年前までは闇黒大陸の名を得たり、これ抑々如何の理由に歸すべきか。

1、これを位置上より見れば、大部は熱帶圈内にあり、これを地勢に見れば、頗る單調にして高低なく、低地なく、至るところ中位の高臺のみ、海岸を見れば、これもまた單調にして、海岸線の發達は六大洲中の最後にあり、これその一原因と見ざるを得ず。

2、これを交通の上に見れば、地勢上よりして内部との交通、水陸共に不便に、しかも土人の智力甚だ低く、これを開拓するの能力を有せざりしことも、その一因なり。

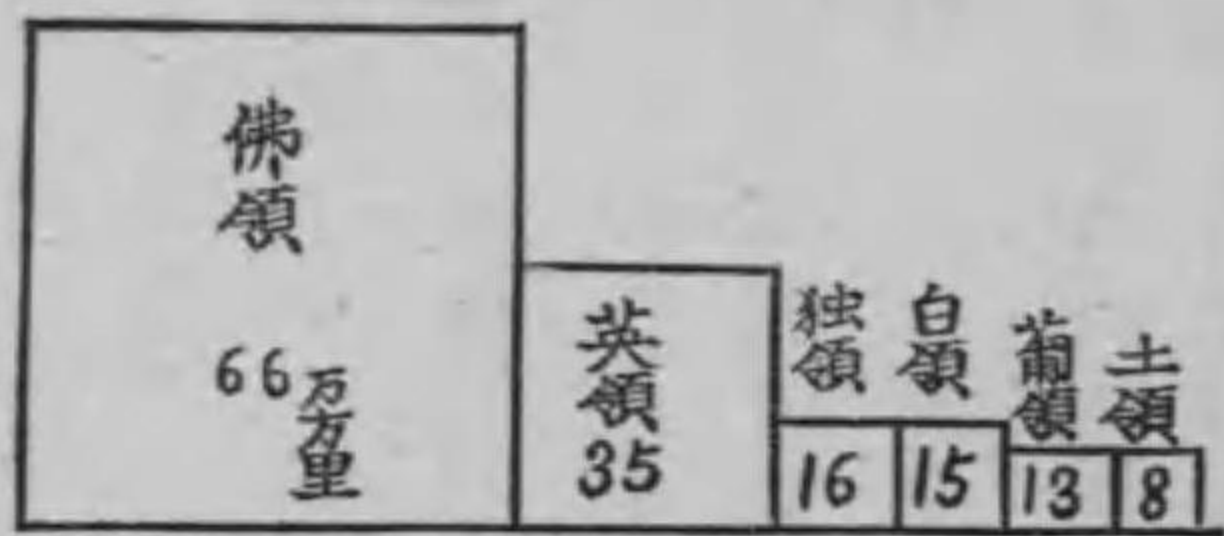
3、これを氣候上より見れば、沿岸の地には濕熱の爲に、不健康地多く、住居に堪へざるところ尠なからず、之に加ふるに中央よりや、北部にあたりて、地不毛のサハラの大沙漠横はり、人力の如何ともする能はず、少しく南すれば中部に大森林鬱蒼として、人智の開拓を妨ぐ、これまたその一因と見ざるを得ず。

4、本洲の産物は、動物に於ては亞細亞に優りて巨大なる上に、何れも、獐、猛、なる動物多く、棲息し、人間の活動を不自由ならしむ、これまた開化を妨げし一因と見るを得べし。

○然るにその後歐羅巴の諸國はこれを分割して遂に闇黒の幕を取り拂へり、その重なる國は英、佛、獨、伊、白の五國なり、何故にこの大陸は近々三十四五年の間にかくの如く分割されしか、其の理由をあぐれば、

- 1、歐洲各國が人口過剰、爲にその移殖を計りしも一因なり、又自國製品の販路擴張をつとめたるもその一因とすべし。
- 2、然れども本大陸が豫想以外に産物の數多なることは、忘却すべからざる一事なり。南河の金剛石及金、東部亞弗利加の果物、中部亞弗利加の護謨、象牙、西部の金及穀物、北部の穀物綿等は、本洲地理の探檢せられて益々明なると共に、歐人の目を引きしところなりとす。
- 3、北部地方は地中海に面し、その海上權獲得の上に頗る關係深きを以て、これまた彼等の垂涎せしその一なり。

圖四十六百第



亞弗利加洲に於ける歐洲諸國の領土

如斯理由のもとに、今や本洲は全く分割しつくされたる形にして、我が國の爲には一物をも餘さず、彼等は自然の壓迫を打破し、鐵道を架設し、水路を開き、衛生の設備を完全にし、不健康の地を化して、健康地とし、荒野を開きて耕地となし、無智の蠻民を教育して文化を進めつゝあり、故に漸次亞弗利加も舊觀を脱して、歐米の文化を融合するは蓋し近き將來にあるべし。歐洲列國の本洲に於ける領土の面積は上圖の如し。

第五章 北亞米利加洲

第一節 總論

第一、要旨

北亞米利加洲の位置、面積、地勢、氣候、産物、住民、交通沿革等の大要を授け、以て本洲の

特徴及び其の開化の次第を知らしめ、各國誌に及ばんとす。

第二、區分 凡三時間

第一時、位置、面積、地勢

第二時、氣候、産業、住民

第三時、交通、沿革及全體の概括

第三、教辨物

地球儀、地勢圖、本洲横断面圖、五大湖圖、ナイヤガラ瀑布及五大湖面の高さの圖、農産分布圖、エスキモー人圖、北米交通圖、其他

第四、教授材料

一、位置、面積、

北亞米利加洲は、西半球の北部にありて(地球儀使用)北は北氷洋に臨み、南はパナマ地峽を以て、南亞米利加洲に連り、東は大西洋、西は大平洋に面し、西北はベーリング海峡を隔てて、亞細亞に對し、地形、略々三角形をなす。

○本洲の位置は、海洋より見れば、大西洋、大平洋の間にあり、大陸を主とすれば、亞細

亞と歐羅巴との間にあり。

面積約六十萬方里、亞細亞、亞弗利加につき世界第三の大洲なり。

二、地勢

第百六十五圖 地勢圖



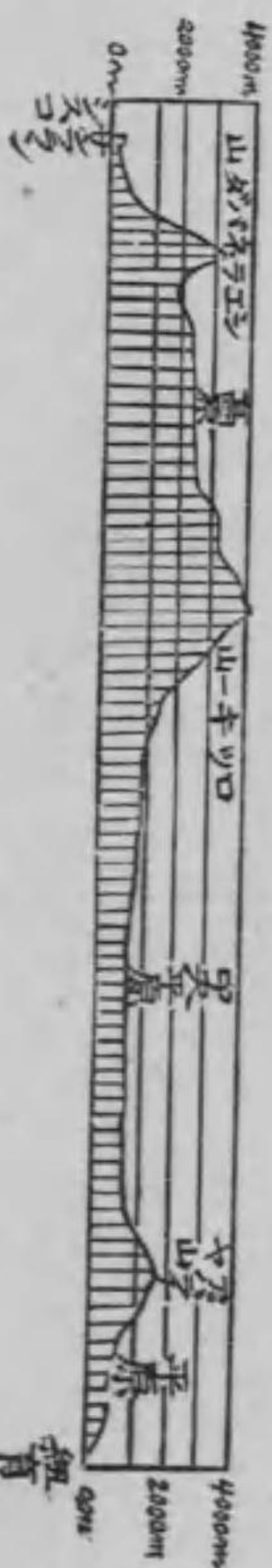
地勢はこれを三部に大別することを得、其の一は大平洋高地、其の二は大西洋高地、其の三はこの兩高地間に横はる中央平原これなり。而して、西部大平洋高地は、ロッキーマウンテン南北に走り、其の西方に此に並走して、カスケード、シエラネバダ、シエラマドレ等の山脈ありて、其の間に一帯の高地を挟む。

ロッキーマウンテンは、一面岩山を以て作られ、高山多く頂上には四時白雪絶えず、山容雄大なり。傾斜は兩側に急にして、東側に緩なり。脈中に火山の噴出するもの數多ありて、南亞米利加まで連続す。重なる

るものは本洲第一の高山マツキンレー(凡そ二萬尺)ローガン山(一萬九千六百尺)等にして何れも本洲の西北方にあり。

(西東)圖面新る至に青紐リよ港桑

圖六十六百第



東部、大西洋高地を形成せるものは、北にラブラドル高地、南

にアブラチヤ山系ありて、山脈と稱すれども西部の如く高峻ならず。脈中の最高と雖も六千七百二十尺に過ぎず。且つこの山脈は傾斜緩にして、何れの方面よりも交通を妨ぐることなく、山脈の東側の大西洋岸には、稍々廣き一帯の平野あり。此の東西兩高地の間は、本洲を縦貫する中央大平原にして、湖沼、河川甚だ多く、中にもスベリオル、ミシガン、ヒューロン、エリー、オンタリオの五湖は最も名ありて、北米の五大湖と稱せらる。
○スベリオル湖、面積凡そ五千三百三十方里、世界第一の淡水湖。

- ミシガン湖、面積凡そ四千一百方里、
- ヒューロン湖、面積凡そ三千八百方里、
- エリー湖、面積凡そ一千八百方里、
- オンタリオ湖、面積凡そ一千一百方里、

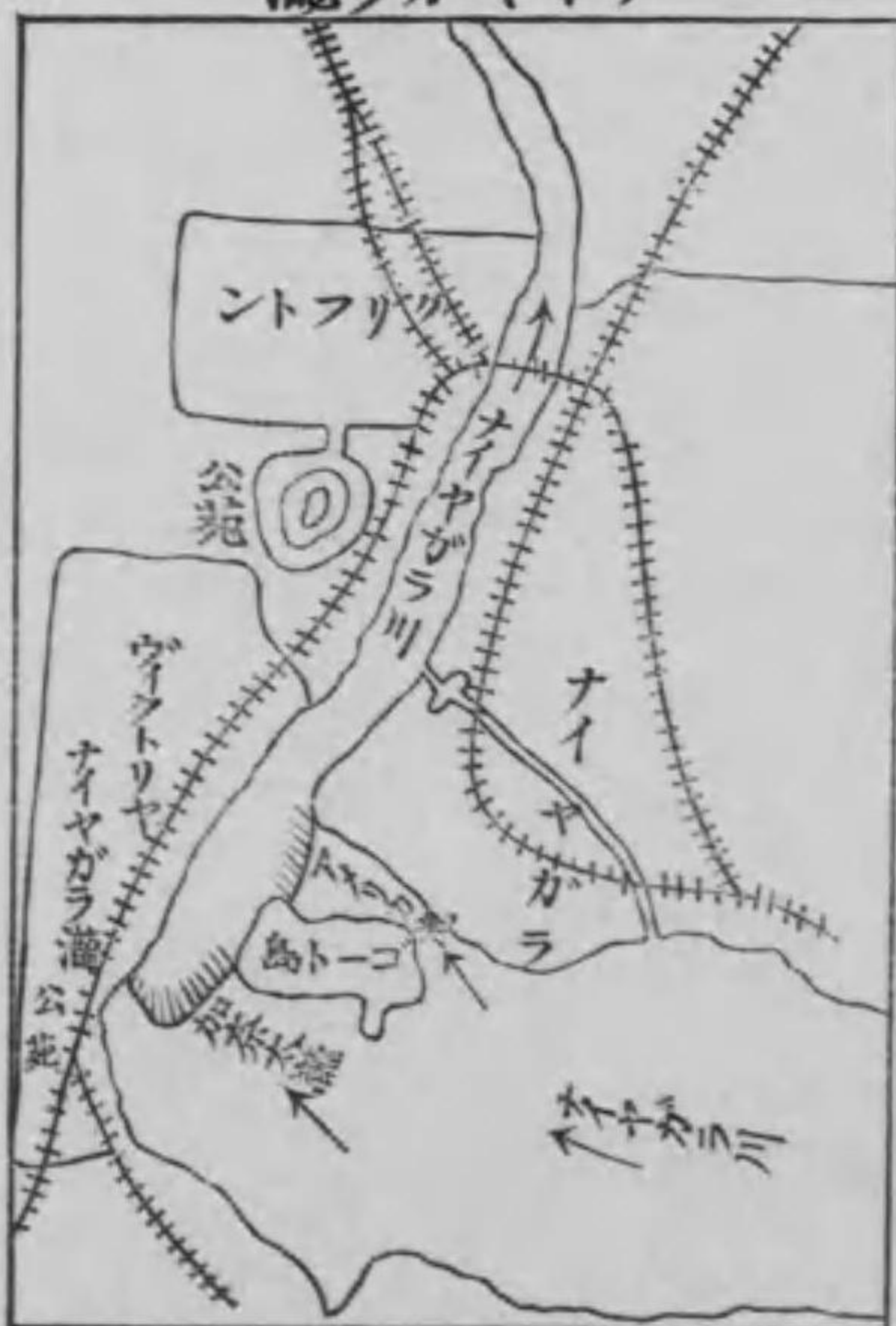
北アメリカの五大湖

圖七十六百第



圖八十六百第

瀧ラガヤイナ



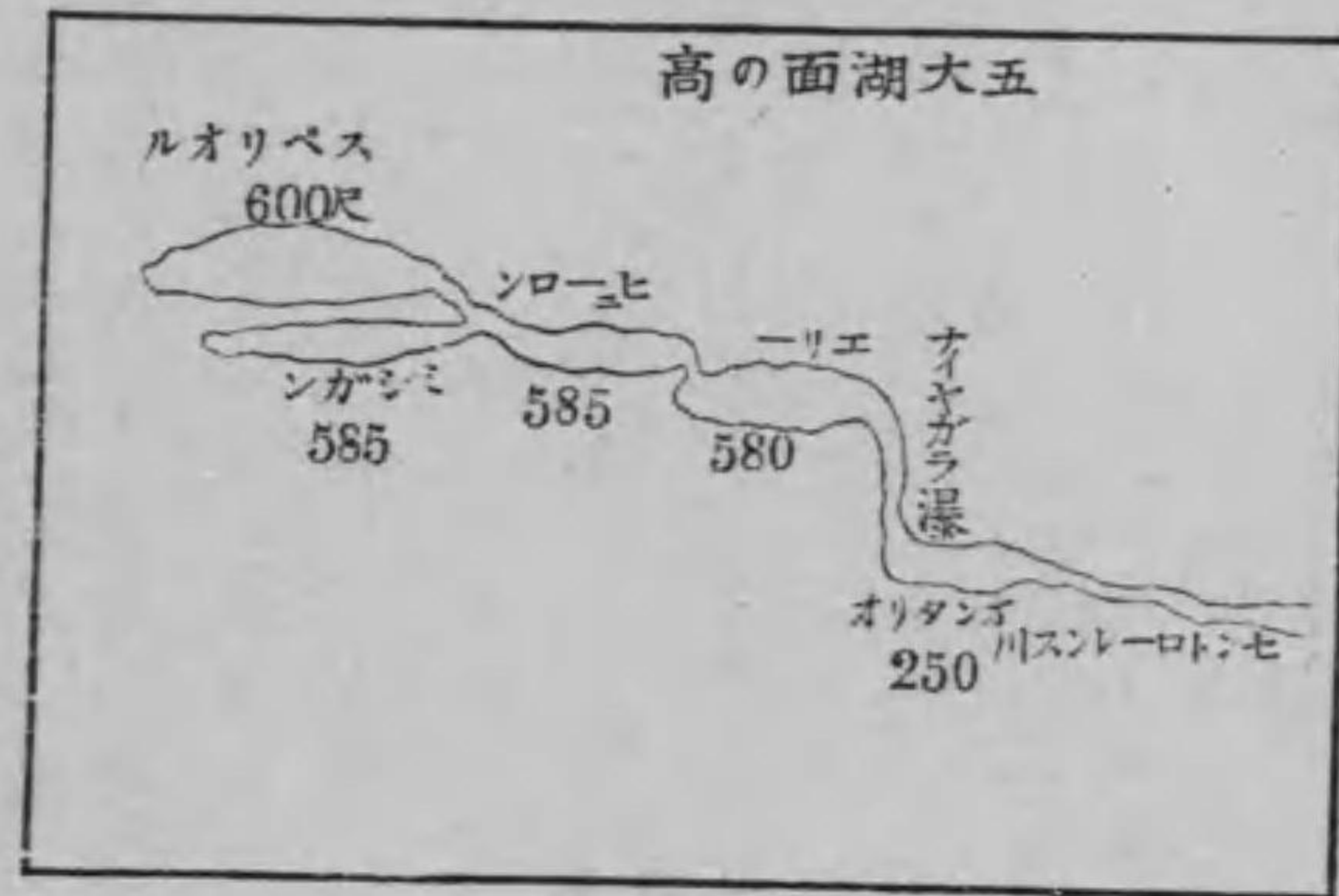
是等の水相連り、遂にセントローレンス河となりて、東北に流れ同名の灣に入る。セントローレンス河は、長さ八百六十里、舟楫の便甚だ大なり。エリー、オンタリオ兩湖の間には名高きナイヤガテ大瀑布あり。この瀑布は、エリ

湖の水、オンタリオ湖に注がんとするところ、に當りて、一小島横はるが爲に、水は二つに別れ、從つて瀑も二つとなること、圖に示せるが如し。而して合衆國側の瀧は

亞米利加瀧といひ、加奈陀側の瀧は加奈陀瀧といふ。亞米利加瀧は幅三町高百八十尺、加奈陀瀧は幅八町高百七十八尺、世界有名の瀑布なり。

○海拔六百尺のスペリオル湖の水は、ミシガン湖、海拔五百八十五尺の水を集めてヒュロン湖に入り、更に海拔五百八十五尺のメリ湖に入る。メリ湖とオンタリオ湖の高さの差は三百三十尺あるを以て、エリー湖の水がオンタリオ湖に注ぐ所に、ナイアガラ瀑布を見ると上圖に示す如し。

圖九十六百第



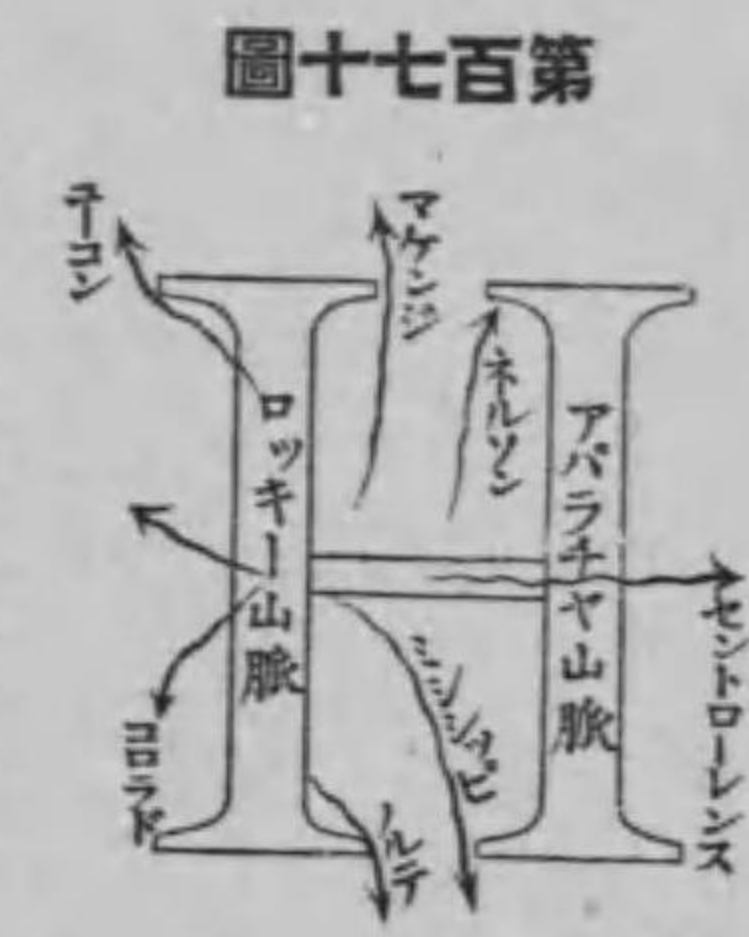
上の大なる方は加奈陀瀧なり。瀑布の壯大なるは圖に就きても想像するを得べく、水泡飛沫濛々として頗る壯觀を呈し、落下する水聲は百雷の一時に轟くが如く、其の響五十哩に達すといふ。されば幾多の文人墨客が其の壯觀を寫さんとして得ず、遂に筆を抛ち稿を裂きしも宜なりといふべし。觀客一年約五千萬人の多數に上るといふ。

○近時水力の利用盛にして、米國専門家の計算によるに、この瀧の水力電氣に依りて與ふる力は四百萬馬力と見積られ、これを價格に見積れば、實に五千萬圓に達すといふ。

ミシシッピ河は、源をスベリオル湖の西方に發し、ロツキー山脈中より出づるミズリー河及びアバラチャ山系の水を集め來るオハイオ河及びレッド河を合せ南流してメキシコ灣に入る。長さ一千七百里餘、世界第一の長流にして、流域に凡二十萬方里の北亞米利加合衆國の豐饒なる大平野をなす。

北方ハドソン灣に入るものに、ネルソン河あり。中央北部平原を霑す。以上の河の外、大西洋に入るものに、コロラド、コロンビアの二河あり、北氷洋に入る

ものに、マケンジー河、アラスカにユーコン河あり、南方墨西哥灣に入るものに、ノルテー河あり、今本洲の山脈と河流との關係を見れば上圖の如し。



圖十七百第

めとして、北氷洋群島等の島嶼多けれども、寒氣厳しく住民甚だ稀にして、世界第一の大島たるグリーンランドの如きも、唯南部の海岸に、小数の住民あるに過ぎず。其の他東に世界三大漁場の一として名高きニューファウンドランド島あり。又本洲の西北隅太平洋と北氷洋との間に挟まれる所をアラスカ半島と名づけ、亞細亞との海峡をベーリング海峡といひ、海峡の南にアレウト諸島あり。又太平洋の南方に當りて、下カリホルニヤ半島長く突出せるあり。

○グリーンランド島は、丁抹領にして、面積十三萬方里、世界第一の大島なれども、北

極圈内にありて、寒氣強き故に住民甚だ少なく、一萬一千の住民の大部分は、エスキモー人にして、北緯七十度以南に僅に白人の影を見るのみなり。

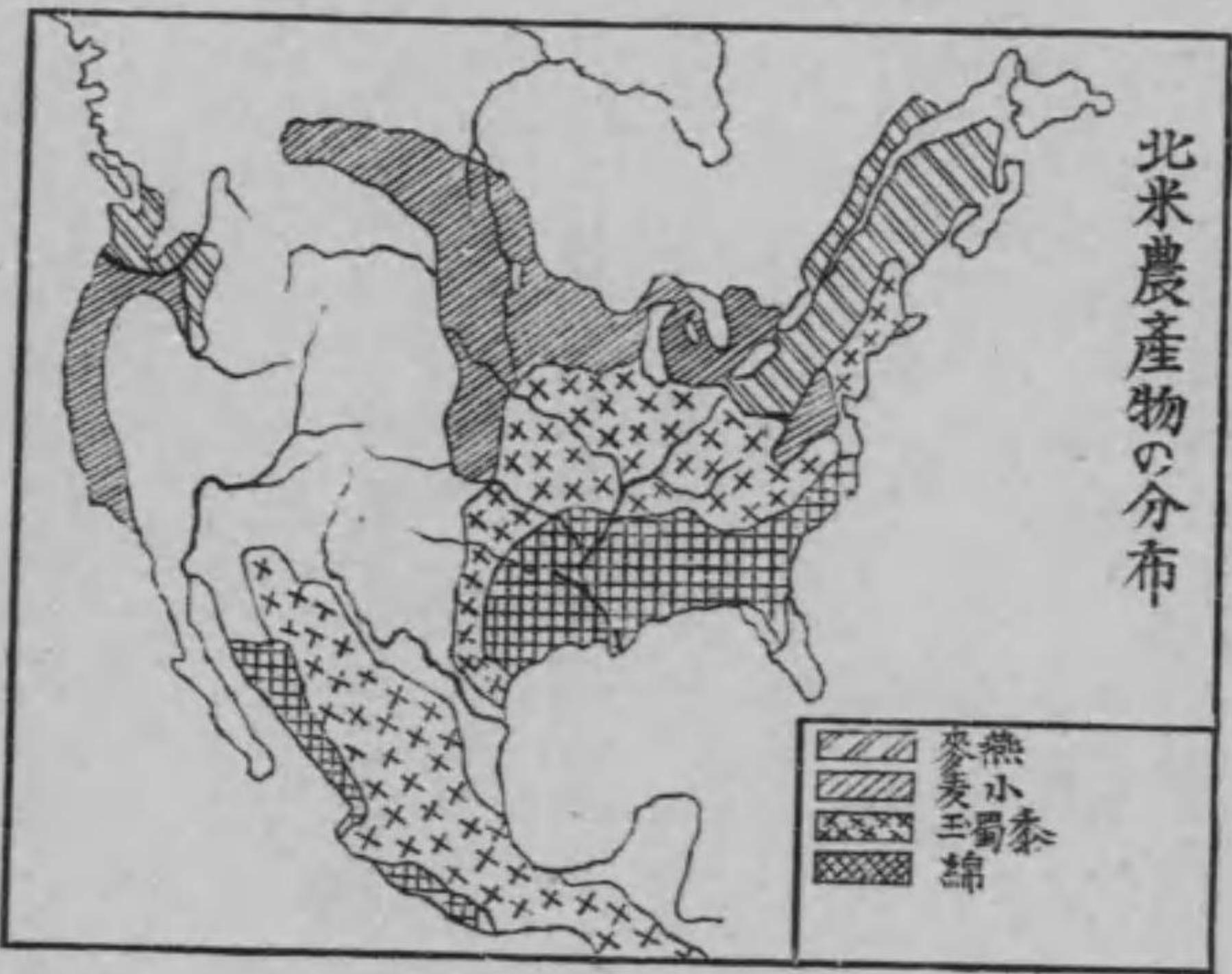
本洲の海岸線は、其の延長凡そ一萬二千里にして、面積の割合よりする時は、歐羅巴に次ぎて、世界第二位なり。

三、氣候

氣候は面積廣大なるを以て所々一樣ならざれども、一般に、西岸は、東岸より、溫暖なり。これ西岸は暖流の影響を受けて黒潮の末派なるカリホルニヤ暖流沿岸を洗ふによるに反し、東岸は墨西哥灣流南より東北に向つて沿岸を流るれども、北より來るラブラドル寒流がその内側を陸に近く南流するを以て、灣流の影響よりも反つて寒流の影響大なるが故なり。

内地は、寒暑の差甚だしく、一般に大陸性にして、殊に冬季寒冷なり蓋し北より來る寒風を遮る山脈を缺くを以てなり。又西部の高地には海岸に山脈併走し海洋より來る濕風を遮斷するを以て、雨少なく沙漠をなせるところあり、即ちロッキーマウン脈とカスケード、シエラネバタ山脈との間なる高原、大盆地これなり。

北米農産物の分布



なり。鑛物に至つては、各大洲中最も豊富にして、金、銀、銅を始めとして、有用鑛物なる石炭、石油、鐵の採掘甚だ盛なり。

四、産業

西海岸の山地及び東北部の高地には森林多くして良材を出す。又野生の獸としてアメリカ獅子、ビエーマ、野牛の類も少なからず。中部の平原地方は、土地大いに開け、地味豊沃なるが故に、農業、牧畜盛に行はれ、本洲原産の玉蜀黍、煙草を始めとして、他の大陸より移されし小麦、綿、甘蔗、馬鈴薯等を産すること多し。又東西兩岸の北部は水産物に富む。殊に東のニューファウンドランド附近、西のアレウト群島、加奈陀海岸は名高き水産地

圖一十七百第

五、住民

本洲の人口は凡そ一億一千五百萬に及び、世界人口の約十五分の一に當る。多くはもと歐羅巴より移住せしもの、子孫にして、其の數八千九百萬に上り、英人の子孫はその多數を占む。其の他は亞弗利加より移されし黑人にして、七百五十萬に及び、先住の亞米利加土人はこれに次げとも漸次減少の傾あり。北方寒地には、エスキモー人住す。西部海岸地方には東洋諸國より移住せし日本人、支那人も少なからず。

○教科書插畫の亞米利加土人は、一名銅色人種の名あれども、其の皮膚は元來銅色ならずして、寧ろ黄色なり。されども顔面に銅色の繪具を塗りて、之を飾る習慣あるが故にこの名を得たり。身長高く鼻も高く、頭廣く大なり。彼等の多くは天幕の生活をなす。圖はその様なり。天幕の下方にある黒圓は出入口を示し、鳥の羽の帽子を戴けるは酋長、酋長の右側の二人は女、左側の二人は男子にして鎗を有す。子供を負へるは皮製の負袋オシロに入れて脊負へるなり。

圖二十七百第



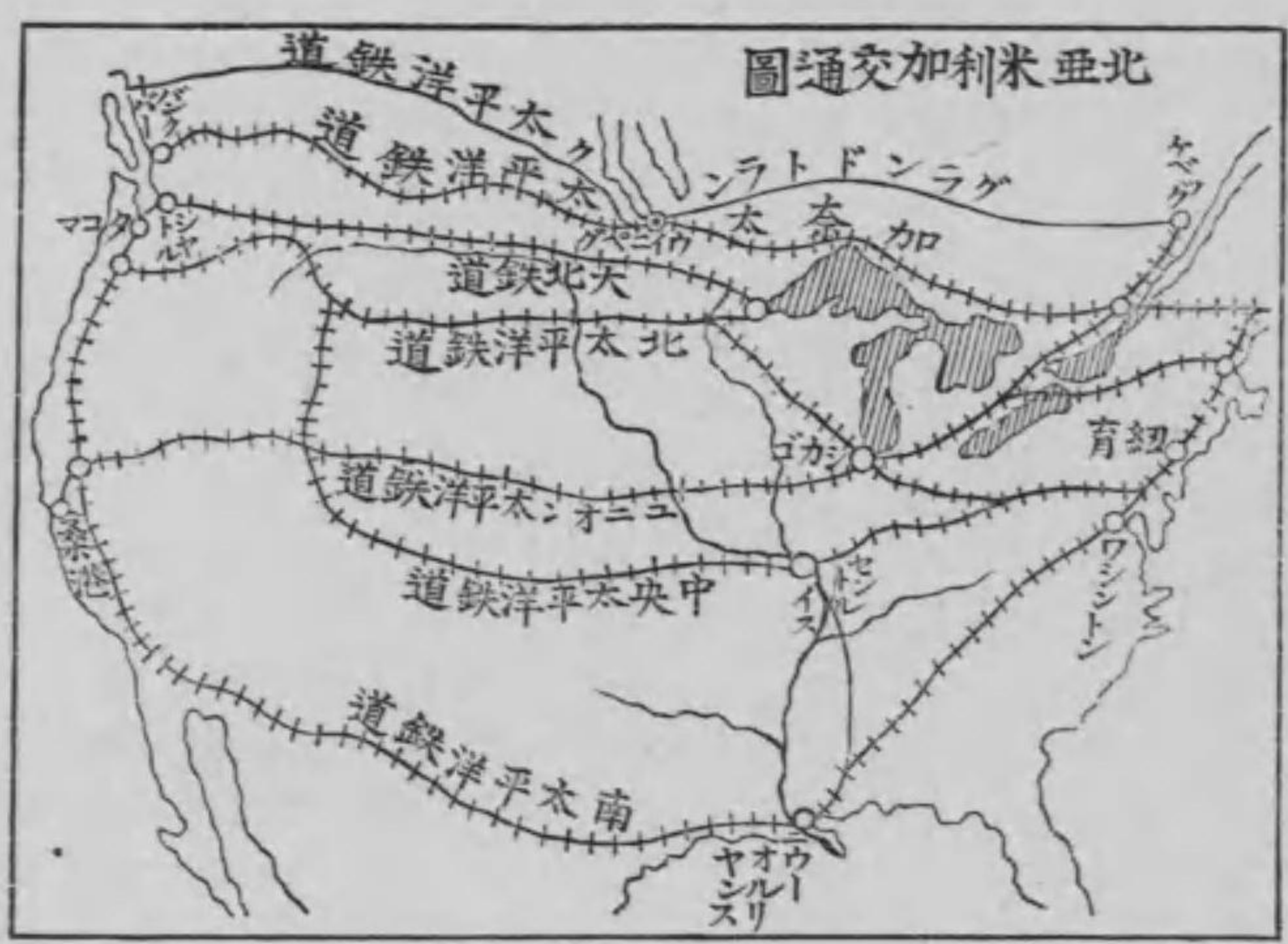
俗風の種人一モキスエ

○エスキモト人は顔面の幅廣く、額骨秀で、鼻低く皮膚は黄色又は褐色を帯び、頭髮は直毛、其の身長歐人に比すれば低く、我が國人と大差なし。故に我が國人は曾つて歐人にエスキモト人と同族なりと誤られたることあり。住所は冬は圖に示せる如く石又は雪の小屋の中に住み、夏は皮製の天幕の中に住す。衣服は獸皮又は鳥皮或は海獸の腸にて作る。櫓は流木又は海獸の骨にて作り、犬又は馴鹿に引かしむ。職業は主として漁獵なり。

六、交通

本洲の東部は水陸共に交通の便に富み、海路歐羅巴との航海は最も頻繁なり。鐵道の發達は世界稀に見るところにして、其の狀況は東部に於て殊に發達せるを見

圖三十七百第



るべく、西岸地方とは大陸を横斷する七條の大鐵道(上圖参照)によりて相通じ、又太平洋沿岸には、シャトル、タコマ、サンフランシスコ(桑港)等の要津ありて大平洋航路と相連絡す。鐵道の延長計廿五萬哩に及び、世界鐵道哩數の過半を占む。要するに、本洲は歐羅巴につぎ、海陸の交通は至便なりといふを得べし。

○圖に見えたる横斷鐵道は、既設線六條と、未設線一條なるが、この外に墨西哥に既設線一條あるを以て既設は七條となる。若しこれに未設線グランドトランク、大平洋鐵道を加ふれば八條となる。

七、沿岸

本洲は今より四百年前コロンブスが其の一部を發見せし以來歐羅巴諸國の人々次第に入り來りて多くの殖民地を開きたりしが是等の殖民地が其の後概ね本國より分離して數多の共和國を形成するに至れり。而して其の重なるものは北亞米利加合衆國及び墨西哥となす。

○北亞米利加合衆國は西曆千七百八十三年英國より分離し、墨西哥は同千八百二十一年西班牙より分離し、中央亞米利加諸國は同千八百二十年より同千八百三十年までの間に西班牙より分離して獨立したるものなり。

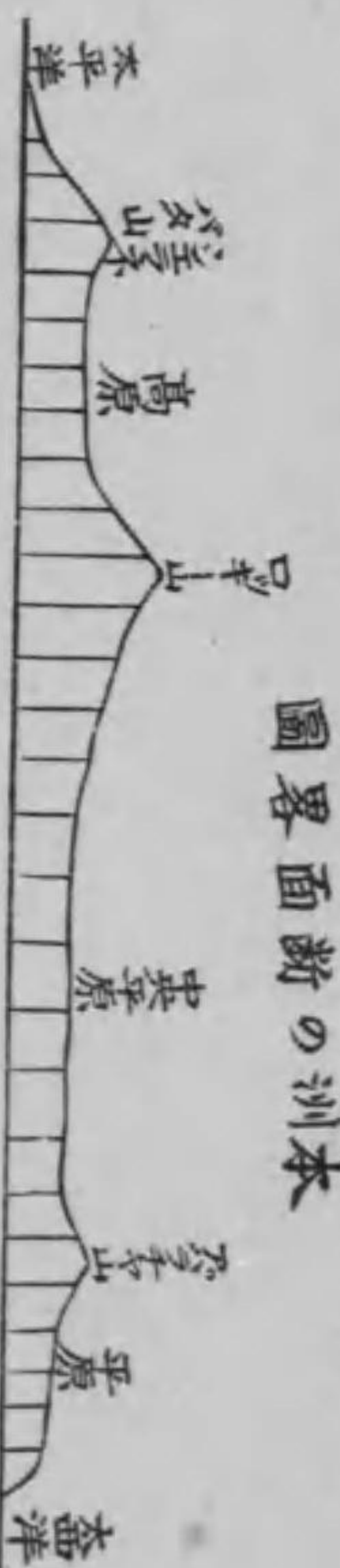
八、注意事項

- 1、本洲の西半球にあることを知らしむる爲には、地球儀を利用して東半球と對して、其の位置を明瞭に知らしむべし。
- 2、又本洲が陸より見る位置と、水より見る位置と對照して知らしむべし。
- 3、本洲を授くるには地勢に注意して、三大別になれることを知らしめ且つ断面圖を觀察せしめ、若くは略圖を描かしむることなどは甚だ必要なることとなり、兒童に畫かしむる圖は次の圖の如き略圖にて可なり。

4、氣候は海流の關係と山脈の位置とが大いに影響するところあるを注意せしむべし。

5、産業は農業といひ、牧畜鑛産といひ、豊富なること他洲に冠たることを知らしめ、且つ合衆國、教授の伏線、たらしむるや、教授すべし。

圖四十七百第



圖畧面新の三北

- 6、往民については、新開地なるが故に土人よりも移住民の多きこと、及びその勢力あることを知らしめ、従つて本洲が他洲に比して、人口の密度尠なきは右の事情よりすることを充分に知らしむべし。
- 7、交通は歐人天賦の活力と、人智の利用とによりて、本洲開拓の爲に盡力せし結果は、歐洲に比して遜色なき狀況に達せしことを具體的に説明すべし。
- 8、沿革については、彼等の多くは共和國にして、新開國たることに注意せしめ、且つ本國殖民政策の失敗によりて、獨立せることを知らしむべし。

9、最後に本洲總論全體を一括して、その概要を把持せしむることに努むべし。

第二節 加奈陀

第一、要旨

加奈陀の位置、面積、人口、産業、都邑の大要を授け、以て同國の現況を知らしめ、我が國と關係せる點を知らしむ。

第二、區分 凡そ一時間

第三、教辨物

地勢圖、都會圖、其他

第四、教授材料

一、位置、面積、人口

加奈陀は殆ど本洲の北半を占め、面積凡そ六十二萬方里にして、我が國の十四倍に當り、人口凡そ七百萬、我が國の十分の二、主として英吉利人、佛西人多く、他に南にインヂアン人、北にエスキモー人、西岸に日本人住す。東岸のニューファウンドラン

ド島と共に英吉利西に屬す。英國に於ては加奈陀領土と稱して自治を許し、總督を任命して之を治めしむ。

二、地勢、産業

地勢は本洲の地勢と同じく東部高地、西部山地、中央平原の三分に分る。北部は氣候寒くして西比利亞と同じく凍原帶をなし、産物に乏しけれども、其の以南の地は亞比利亞と同じく毛皮獸棲息し、毛皮の産額甚だ多し。更に其の南方地方には農業、牧畜よく行はれ、麥類はウイニベグ地方を中心地として、盛に栽培せられ、重に麥粉として海外に輸出せらる。其の産額年一億五千萬圓の巨額に達す。牧畜は牛、羊を主なるものとし、これまたウイニベグより西方に盛なり。ロッキー山地とラブラドル高原は松樅の

第百七十五圖 地勢と産物分佈圖



森林に富み、製材業、盛なるがバルブ(紙の原料)として輸出せらるゝもの大なり。又ノバスコーチャ半島の鱈、ニューファウンドランド島附近の鱈、太平洋岸フレザー河の鮭は、加奈陀の水産主要物にて年四千五百萬圓以上に達す。殊にニューファウンドランド近海は所謂世界三大漁場の一として名高し。鑛物も頗る盛にして、アラスカ境の金、ハドソン灣附近の白銅、其の他を併せて年額一億四千萬圓に及ぶ。我が國との貿易は、次第に盛況に向ひ、我が國よりは、茶、米、羽、二重を輸出し、殊に茶は其の首位を占め、多く中部以西の地に需用せらる、其の東部は印度茶の華客先なれば二者競争状況なり。我國へ石油、麥粉、鉛等を輸出すれども其額少なし。

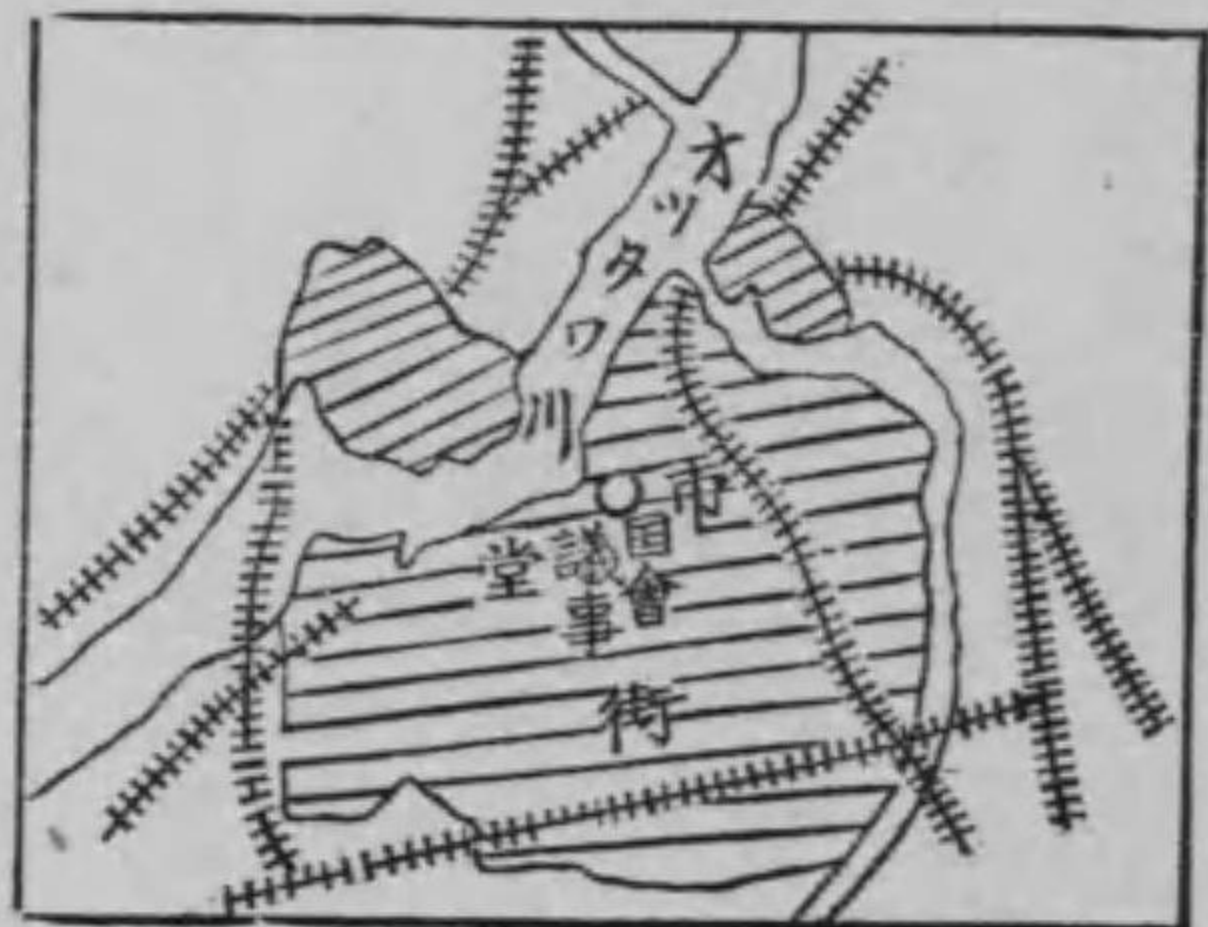
三、都邑

○オッタワは加奈陀の首府にして、セントローレンス河の支流オッタワ河に臨み、人口八萬六千餘、オッタワ河に懸れる瀑布を利用して製材業頗る盛なり、而してラブラドル地方木材の集散地をなす。我が國總領事館あり、國會議堂は壯大にして市の北部あり。

○モントリオールは、セントローレンス河中の島上にあり。人口四十六萬。加奈

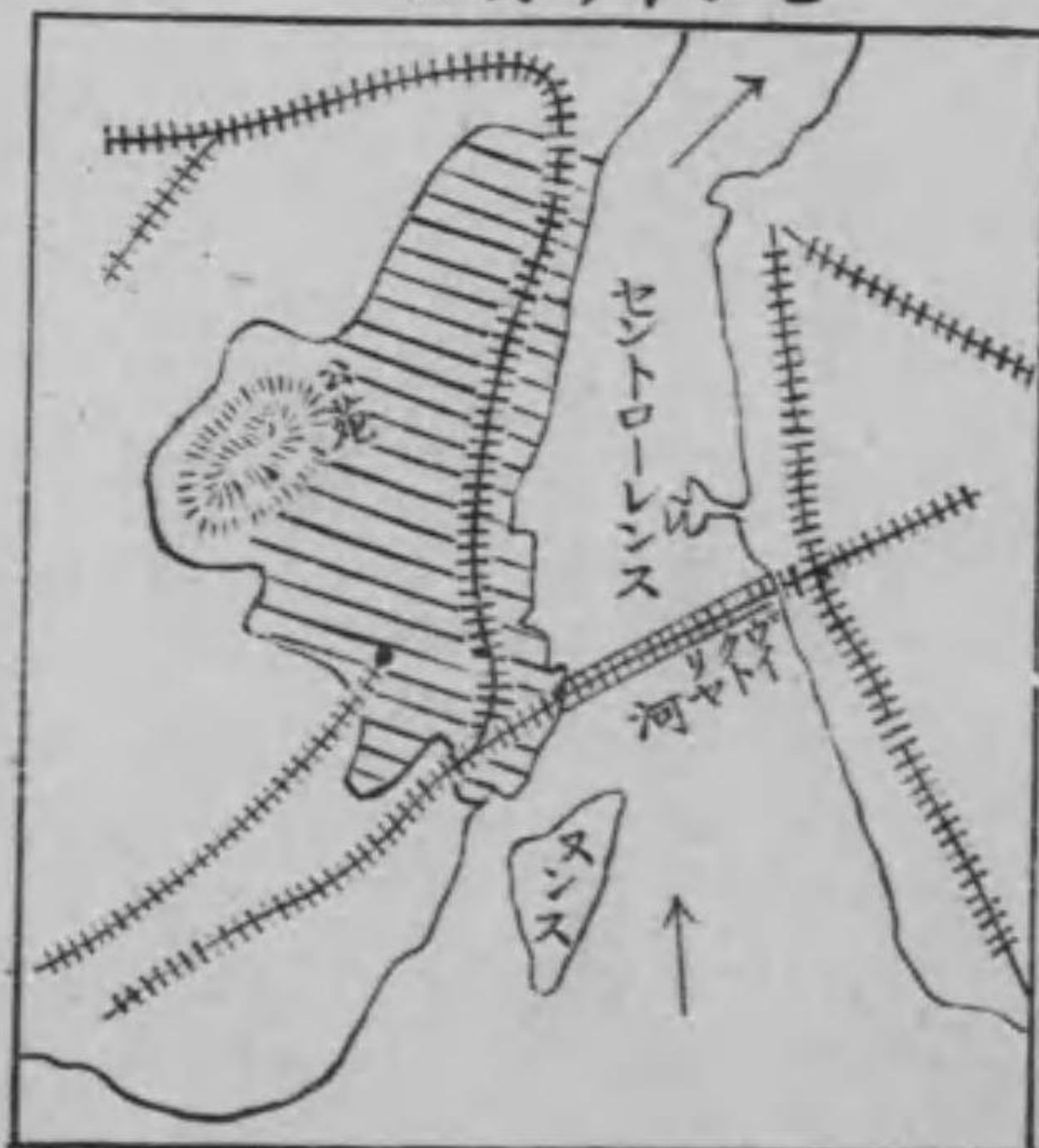
オッタワ

圖六十七百第



圖七十七百第

ルオリトンモ



陀、第一の都會なり。セントローレンス河廻行の極限地にして、大西洋航行汽船の發着所なれば商業甚だ盛にして、又製粉、製紙業旺盛なり。

○ハリファクスはノバスコーチャ半島の東岸にありて、大西洋岸の不凍港なり。材木の輸出及海産物の集散地にして、英吉利艦隊の根據地なり。太平洋岸のバンクラーパーと共に横斷鐵道の兩端をなす。

○バンクーバーはバンクーバー島の對岸ブラルド灣の南にありて東洋航路の重要な港にして、新開地なれども加奈陀太平洋鐵道の敷設せられし以來俄に繁榮に趣けり。東亞に對する交通の要點なれば附近に本邦人の住するもの甚だ多く、彼等の多數はフレザト河の鱒、鮭の漁業に従事す、横濱を去る四千三百海里我が領事館あり。

四、注意事項

- 1、加奈陀を授くるには、西、比、利、亞と似たる點多ければ、之と比較、對照して授くべし。
- 2、地勢及び氣候は北亞米利加洲總論と連絡することを忘るべからず。
- 3、産物は地勢に關係し、多く本國の中部以南にあること、水産業は東西兩海岸に多く殊にニューファウンドランド島附近は世界三大漁場として有名なることを知らしめ其理由を推究せしむべし。
- 4、加奈陀は英領なれども、總督の下に全く獨立の經營をなし、濠洲、南阿聯邦と共に自治の殖民地なることを知らしむべし。

第三節 亞米利加合衆國

第一、要旨

亞米利加合衆國の位置、面積、人口、地勢、産業、都邑、沿革等の大要を授けて、其國勢の如何を知らしめ、且つ本國が我が國と關係淺からざる點に注意せしむるにあり。

第二、區分 凡そ二時間

- 第一時、位置、面積、人口、地勢、産業
- 第二時、都邑、沿革及概括

第三、教辨物

地勢圖、産物比較圖、都邑圖、版圖膨脹圖、其他

第四、教授材料

一、位置、面積、人口

亞米利加合衆國は、東大西洋岸より西太平洋岸に亘れる北亞米利洲の中部一帯の地及びアラスカ半島、布哇を含み、面積凡そ六十萬方里、我が國の約十五倍大なるが、

人口は凡そ八千七百萬にして我より少しく多きのみ。更に本國は緯度上より見れば西經六十七度より百二十五度に亘れるを以て四個の標準時を用ひざるべからざる狀況なり。

○四個の標準時

東部標準時 西經七十五度

中央標準時 西經九十度

山地標準時 西經百〇五度

大平洋標準時 西經百二十度

人口の密度大ならず故に外國より移住者甚だ多く我が國人のこの國に在留する者十五萬三千餘人に及べり。而して其の過半は農業に従事し大平洋沿岸諸洲に多く殊にカリホルニヤ洲附近及桑港に最も多し爲に度々國際關係に紛紜を惹起することあり。

一、地勢産業

地勢は本州總論の地勢と全く同様にして、また加奈陀と大同なること圖に依りて

知るを得べし。この國の生命ともいふべき地方は北亞米利加洲大平原の一部なる中部平原にして南部は溫暖北部は稍々寒冷なれども地一般に磷酸鹽を含み甚だ肥沃にして農業、牧畜の盛なること世界何れの國もこれに及ぶものなし。ミシシッピ河の支流レフト河の流域の如きは輪轉耕作法によらず且つ肥料をも施さずして三十五年間これを使用するも毫もその産出力を減せずといふ。以て其の豊沃なること推知し得らるべし。

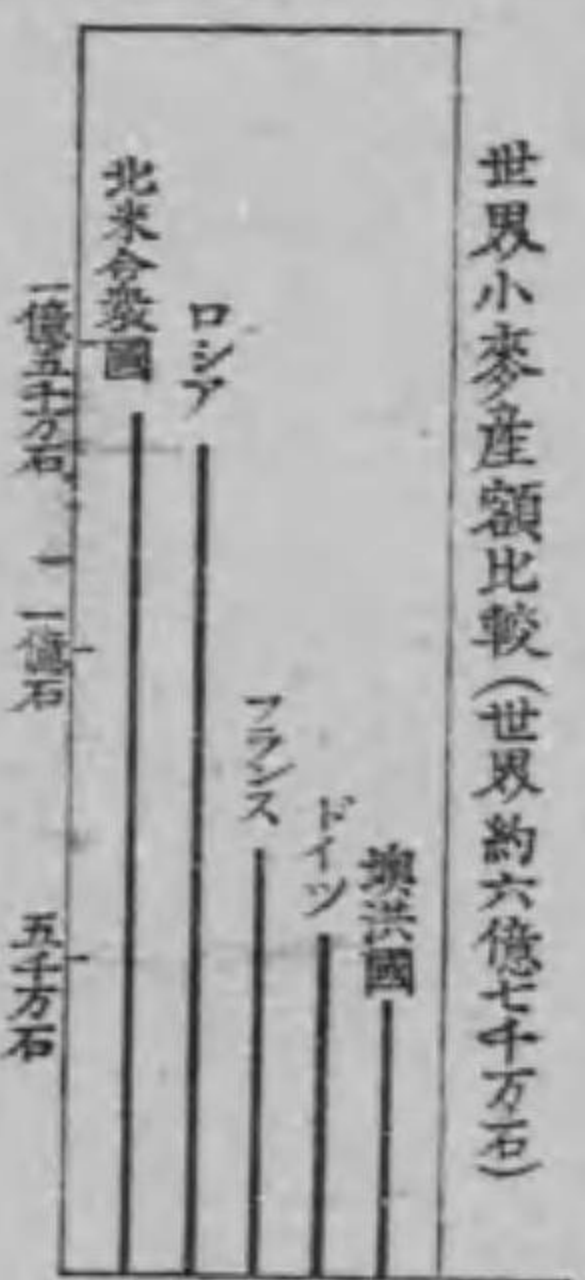
地勢圖 第八十七圖



第五章 北亞米利加洲

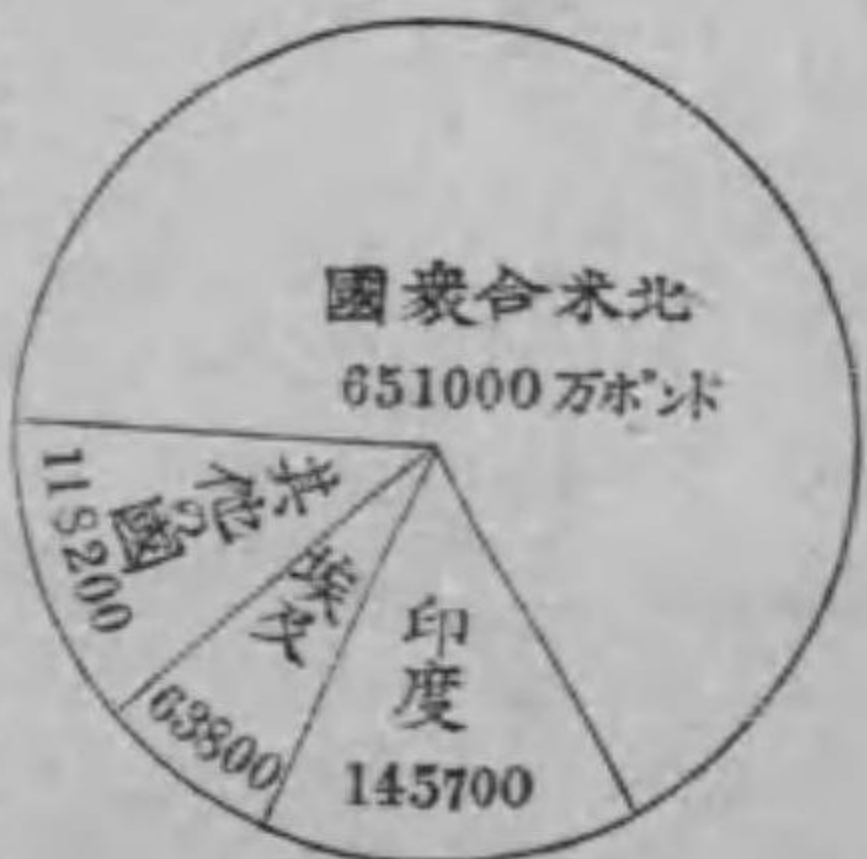
本國は世界に有名なる小麦、綿、煙草の重なる供給地にして小麦の産額の如きは世界産額の五分の一を占め年一億四千餘萬石の巨額に達す(第百七十九圖參照)。綿も亦其産額世界第一に

圖九十七百第



して、年六十五億一千萬磅の多數に上り、實に世界産額の三分の二を占む。(上圖、小

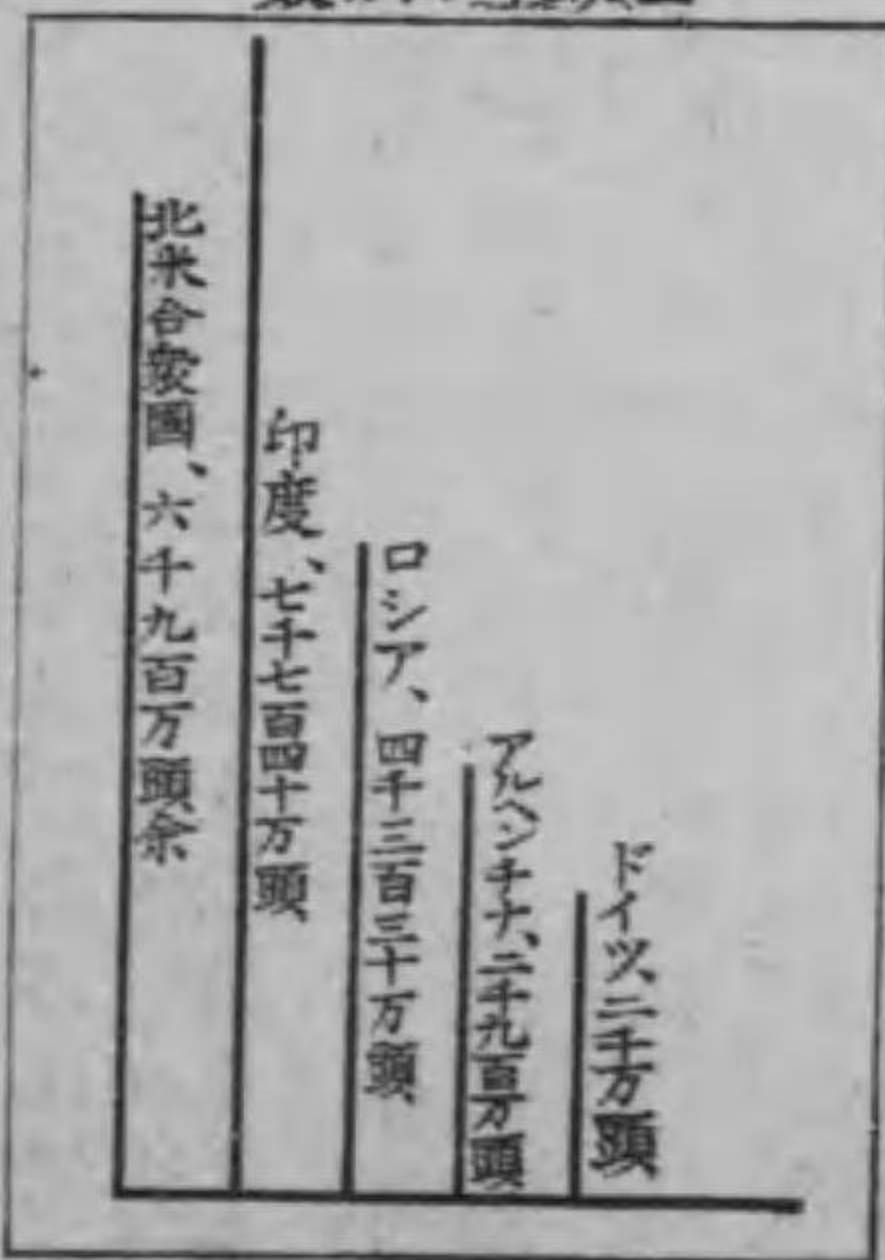
圖十八百第
額産花棉取世



圖一十八百第
額産の草煙取世



圖二十八百第
数頭の牛取世



麥、綿の産地は總論の分布圖参照、煙草は年九億四千九百萬磅に上り、これ亦世界第

圖三十八百第
出產の炭石取世



湖地方の南部及びアラバチヤ山系の南部なる
アレガニー山脈附近より多く産出す。(産額獨
逸の部参照)

○石炭も各地方に産すれども就中ペンシルバニ
ヤ州に多く年額四億二百萬磅餘、英吉利、獨逸之
に次ぐ(上圖参照)

○石油はペンシルバニヤ州及びオハイオ、カンサス、カリホルニアの諸州に多く其
の産額世界第一にして、世界の六割を占め露西亞之に次ぐ。(亞細亞の高加索の

部參照)

○金の産額は一年一億六千萬圓にして、世界第三位に居り(南阿聯邦の部參照)産地はコロラド、カリホルニヤ地方を主とす。

銀はコロラド、モンタナ州などを主産地とし其の産額世界第二位なり。(墨西哥の部參照)

○銅はミシガン半島に多く其の産額五十萬噸、世界銅産額の過半を占め世界第一なり、我國は第二位にあり(左圖參照)

圖四十八第 圖較比類産銅



以上を以て見ても如何に本國が産物に豊富なるかを知るを得べく、此等の富源は資本、原料、動力の多きを來し、延いて工業の發達に影響し其の盛なること、今や歐洲先進國を凌がんとする狀況なり。工業中製鐵、紡績、製粉、製紙業、石油、精製業等は殊に盛にして其の製造價格は二百三十億圓の多きに上る。而して其原料の大部

分は本國內に仰ぐは、この國工業の特色なりとす。

産物の多きと工業の盛大とは外國貿易の旺盛を促し、其の額七十億圓に達し、英國に次ぎて世界第三位なり。輸出品の重なるものは綿、麥類、肉類、鐵材、鐵製品、石油、銅にして輸入品の重なるものは砂糖、藥品、皮類、珈琲、絹等を主要なるものとす。取引先は英、獨、加、奈、陀を始として佛蘭西、伯刺西爾等の諸國これに次ぐ。

我が國との貿易は頗る盛にして、其額約二億圓に達し、我が國輸出入額の五分の一に當り綿、鐵材及び鐵製品、石油、麥粉などを我が國に輸出し生糸、茶、羽二重、花筵、陶磁器などを我が國より輸入す。故に本國は我が國の好華客先なりといふべし。

この國より日本に輸出高凡そ五千萬圓、

日本よりこの國に輸入高凡そ一億五千萬圓、

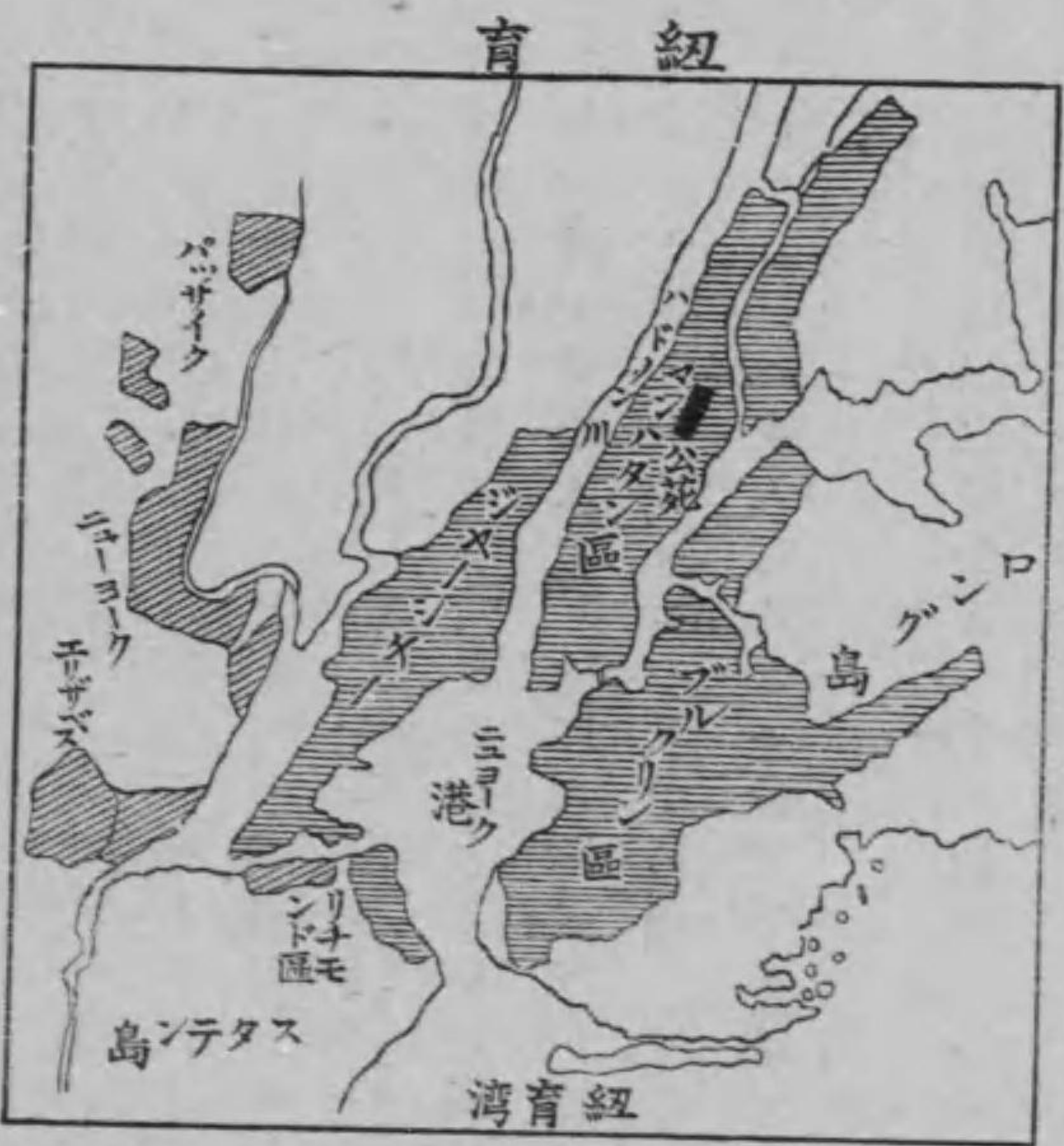
三、都邑

大西洋岸の平野は獨立當時より夙に開けたるところにして繁盛なる都會多く、其の最も大なるものを紐育とす。

○紐育はハドソン河に臨み、市街は三區に分れ人口凡そ四百八十一萬、倫敦に次ぎ

世界第二の都會にして、貿易は本國輸出入の過半を取扱ひ小麥、石油、綿を輸出する

圖五十八百第

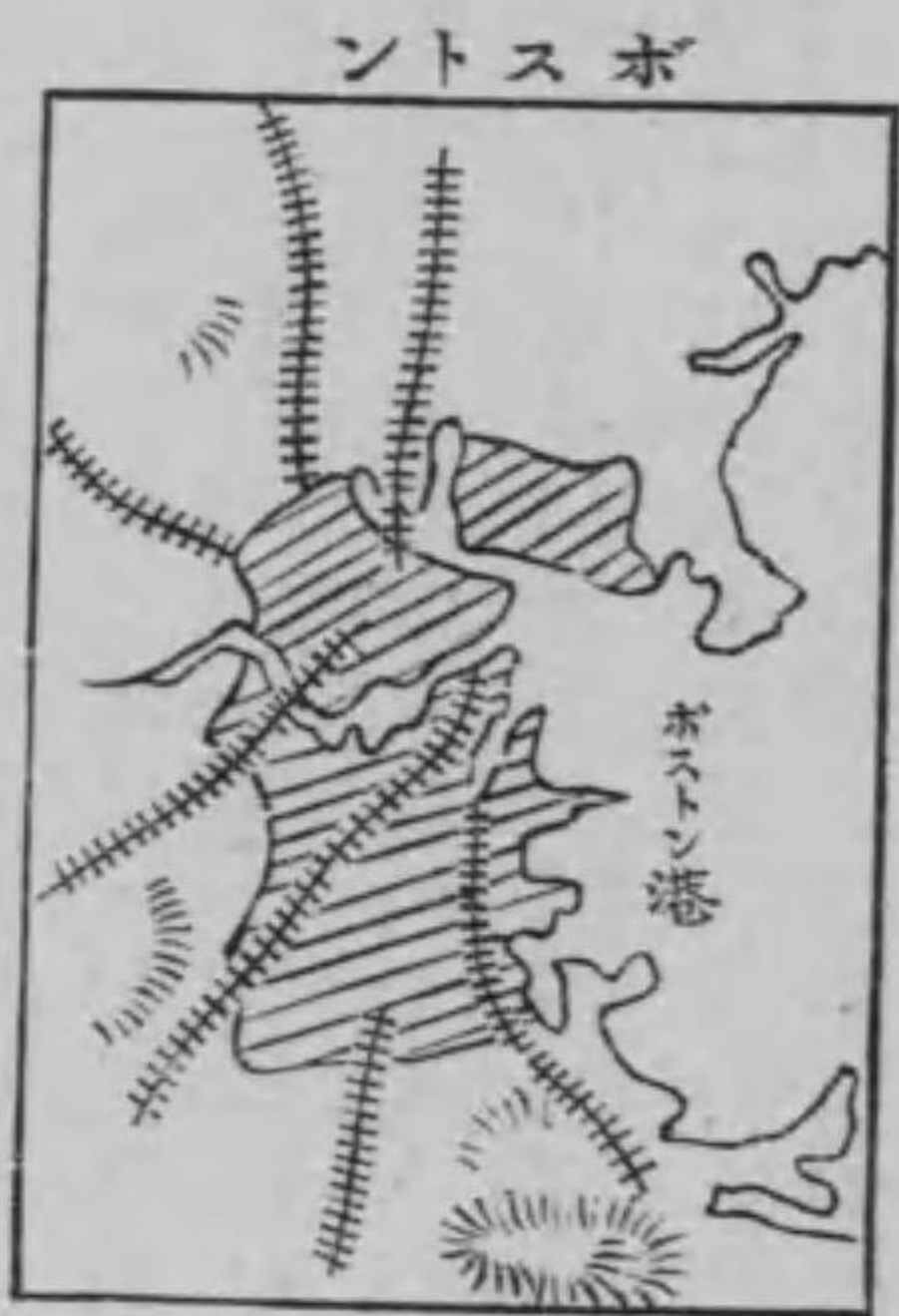


的に膨脹し、教科書、挿畫は即ちその狀況の一部分を示す。我が國總領事館あり。

こと頗る大にして、我が國にも盛に輸出す。この市は世界交通經濟の大中心地として舊大陸の倫敦に對抗す。人口に於ては倫敦に及ばざれども面積に於ては世界第一にして五十四方に及ぶ。しかして地價の高きことも世界第一にして、中央繁華なる部分に於ては、一坪十五萬圓乃至三十萬圓に達す。故に家屋は、地上と地下に、垂直

如斯事情のもとに普通の家屋も十階以上にして、一家屋内に三千五百人の居住者あるは珍しからず。又地中に五十尺乃至百尺も掘り下ぐることも珍しからず。目下最高の家屋はイリタブル保險會社にして、六十五階高さ九百尺あり。我が國の總領事館はウォール町の六十番地の第十九階の裏手の數室を占有するに過ぎず。以て家賃の高きを知るべし。

圖六十八百第



學生と六百餘の教授とを有す。

ボストンは紐育の東北にありて、マサチエセット灣に臨み、東海岸第二の貿易港にして、人口六十七萬餘、羊毛の取引に於ては倫敦に次いで盛なり。又學藝の盛なる點に於ては紐育を凌ぎ、この國最古に千六百三十六年建設したるハーバート大學はこの地にありて、今や六千餘の

が故に名高く、市街も美麗にして温泉の設あり。殊に日露媾和條約の締結地として世界にその名を知らる。

○フイラデルフィヤは、紐育の西南四十五里のところにあり、人口百五十萬、この國第三の都會にして、鐵器木綿毛織物の工業甚だ盛なり。石油の輸出に於ては世界第一と稱せらる。市内の建物中米人の唯一記念とせる獨立閣は名高し。
○華盛頓はこの國の首府にして、人口三十三萬餘、市内には大統領の官邸(ホワイトハウス)、圖書館、國會議事堂等の建物多く、彼の華盛頓紀念碑もこの地にあり。我が國よりは大使館を置けり。
○シカゴは、ミシガン湖に臨み、人口二百二十萬、この國第二の都會なり。運河を以

圖七十八百第
ントンシワ

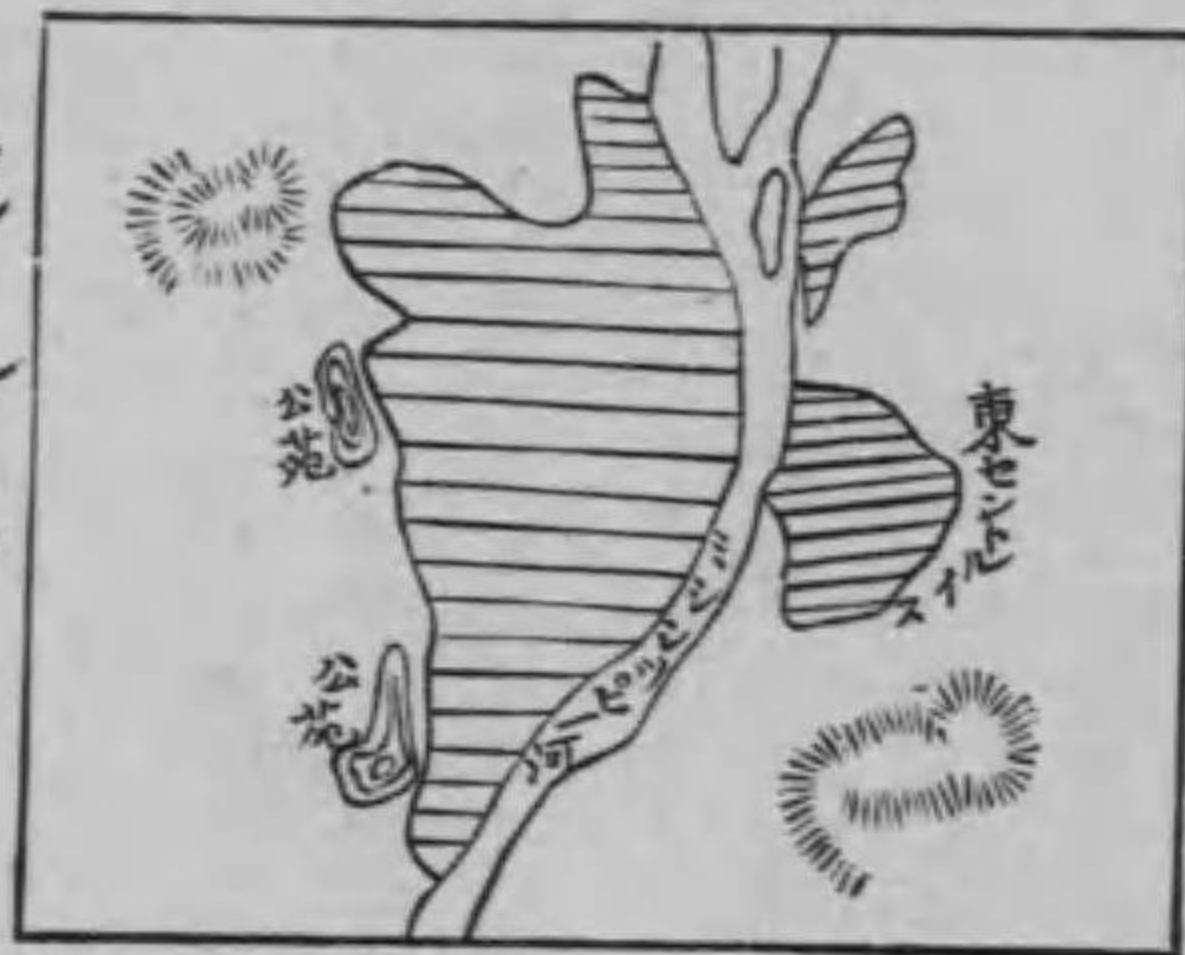


圖八十八百第
ゴカシ



て湖水をミシシッピ河に通じ、鐵道幹線の集中するもの二十六條の多きに及び、水陸交通の一大中心地をなす。穀物の大市場として名高く、又肉類及罐詰をも多く出す。
○セントルイスは、ミシシッピ河の中流ミズリー河と本流との會合點にあり、人口六十九萬餘、内地の重なる市場にして、豚の罐詰、製粉業、煙草、木材穀物の取引多し。

圖九十八百第



セントルイス

圖十九百第

洲舟三と、スシヤリルオーウニ



メキシコ湾

湾 ヲシキメ

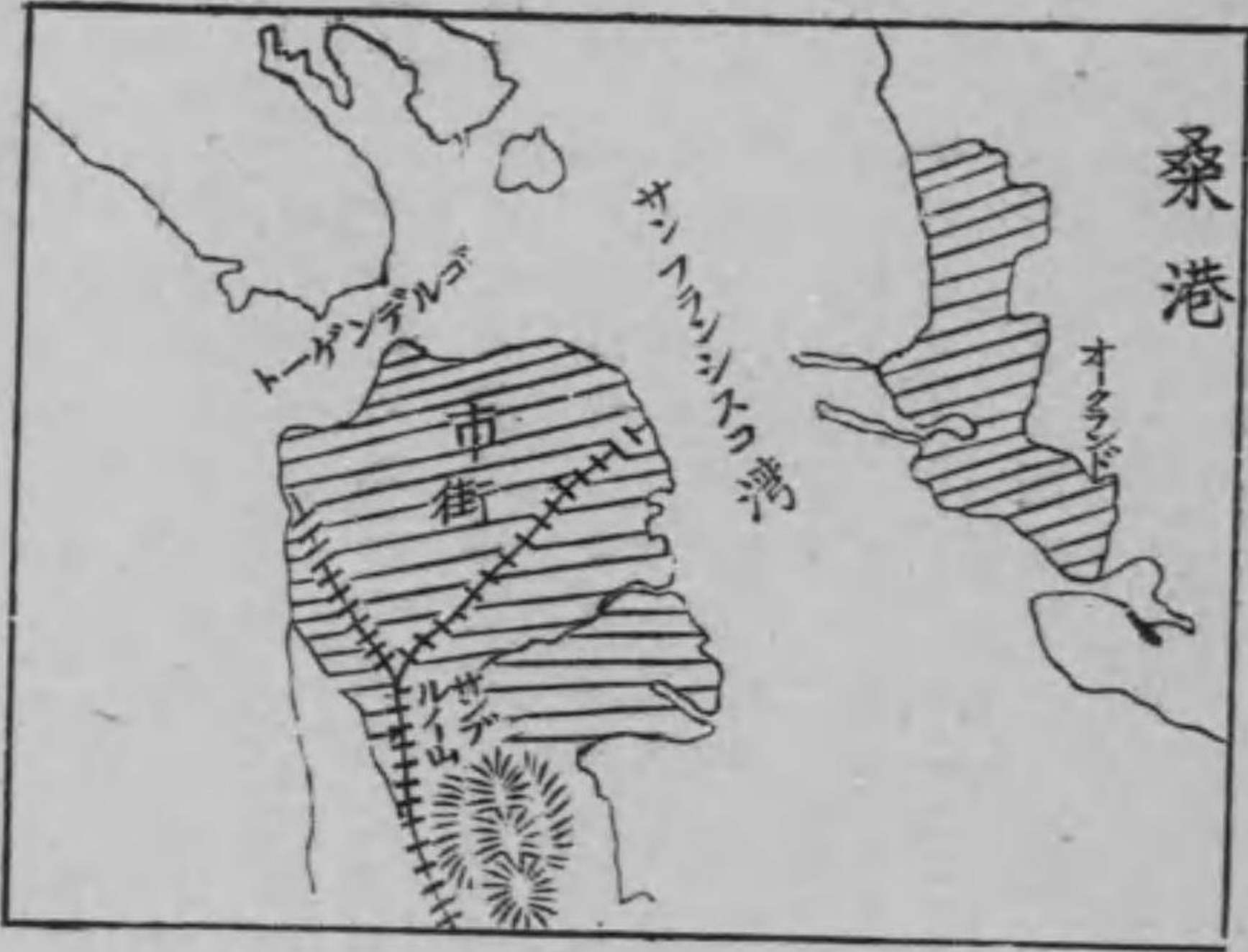
○ニユー・オルリヤンヌは、ミシシッピ河を遡ること四十五里の上流三角洲上にあ
り、綿の輸出盛なること世界第一と稱せられ、又西印度諸島、南亞米利加洲諸國と
の貿易の一大中心地となす。人口三十四萬餘、

○教科書挿畫はこの市の綿の輸出を示す。右の方ズツク袋に入れたるものは綿
花にして、此等は馬車によりて埠頭まで運搬せられ、埠頭に於て起重機を用ひて
大汽船に積み込む狀況なり。

大平洋岸は比較的新開地なるを以て、大都會少なければ、カリホルニヤ洲に於け
る金鑛の發見は、この地方の繁榮を來し、今や繁華なる都會を見るに至る。

○サンフランシスコ(桑港)は六十餘年前までは一寒村なりしも、位置の良好なると、
氣候溫和なると、背後に鑛産地を控ふるによりて、非常の發達をなし、今や人口
四十萬の多きに及び、東洋貿易の中心地をなす。我が國總領事館もこの地に
置かれ、日米貿易の大部を取扱ふ。故に東洋汽船會社の航路に當り我が移民の
上陸地となれり。本邦人の在留するもの一萬人の多きに達す。我が横濱を去
る四千五百海里のところにあリ。

圖一十九百第



○ア・シヤトル線 香港：上海：門司：神戸：横濱：ビクトリア：シヤトル。
ラ・スカは面積九萬八千方里、其の三分の一は北極圏内に入れり。人口僅に六

第五章 北亞米利加洲

圖二十九百第



桑港線 香港：上海：長崎：神戸：
横濱：ホノルル：桑港
○シヤトルは、南方のタコマと共に西海
岸に於ける重要なる開港場にして、大

北鐵道の一端に位し、日本郵船會社の
航路に當り、我が國の領事館あり。

強國となり、殊に近年米國が哇布を合せフィリピン諸島を領有するに及びて、その領土益々我が國に接近し、愈々密接なる關係を有するに至れり。若し夫れ地理上より多大の關係あるに至つては既に詳述せしところ此等は即貿易の關係、移民の狀況等にして教授の際一層注意すべきことなり。

五、注意事項

- 1、位置、面積、地勢、氣候は總論の部と連絡して授くることに注意すべし。
- 2、本國を教授するに當りては、産業に最も注意し、この國の富強に、赴きし、次第を、知らしむべし。
- 3、我が國との關係は、歴史的、地理的に緣因淺からざるものあれば、特に注意して授くべし。
- 4、都邑を授くる時は、略圖及寫眞等を用ひて具體的に教授すべし。
- 5、沿岸教授の際この國の發展擴張の次第を知らしめ且つ國旗の由來を、注意して、その狀況を、知らしむべし。
- 6、第二時間の終りに本國全體を一括すべし。

第四節 墨西哥、中央亞米利加諸國、西印度諸島

第一、要旨

墨西哥、中央亞米利加諸國及び西印度諸島の位置、面積、人口、地勢、産業、都邑の概要を授けて此等諸國の狀況を知らしめ、我が國と關係せる點を注意せしむるにあり

第二、區分 凡二時間

- 第一時、墨西哥の位置、面積、人口、地勢、産業、都邑
- 第二時、中央亞米利加諸國及西印度諸島

第三、教辨物

墨西哥地勢圖、同天產分布圖、中央亞米利加諸國區分圖、產額比較圖、市街圖及物產圖、其他

第四、教授材料

甲 墨西哥

一、位置、面積、人口

墨西哥は亞米利加合衆國の西南に接し、東は墨西哥灣に臨み、西は大平洋に面し、南は中央亞米利加に境す。面積は凡そ十三萬方里、我が國の約三倍に當る。この國は千五百二十一年西班牙のコルテスが土人を征服せしより以來、六世紀の間西班牙の領する所なりしが、千八百二十四年本國に叛きて獨立し共和國を形成せり。この歴史上の關係よりして、住民中白人は西班牙人多く、其他土人(インヂアン)及びこの二者の雜種(メスチゾ)より成り總數一千四百萬に及ぶ。本邦人の在留する者二千餘人あり、西班牙人の子孫は小數なれども各種の方面に最も勢力を有す。

二、地勢、産業

地勢は合衆國の西部高地の連續にして、西方に、西シエラマドレ、東方に、東シエラマドレの兩山脈南北に走り、其の間はアナワク高原をなす。故に全國は大體一大高原と見るべく、北部より南部に至るに従ひて高く、南部に於て七千七百尺以上に達す。此等の山脈中には火山も多く有名なる墨西哥富士の名を得たるボボカテペトル山は高さ五千四百五十二米あり。土地の幅狭小なればこの國には大河と稱

圖 四 十 九 百 第



第五章 北亞米利加洲

圖 五 十 九 百 第
圖 布 分 産 天



しく、不健康の地多けれども、内地の高原は土地高きが故に概ね温和にして、住民の多くは

べきものなく、西海岸に狭き平野あるのみ。

○教科書挿畫は、アナワク高原の有様を示す。先方に見ゆる富士山形の山は即ちボボカテペトル(墨西哥富士)にして高原は乾燥せるを以て龍舌蘭、仙人掌等の植物生育せり。

圖中の柱狀をなせるは仙人掌、蘭形は龍舌蘭なり。

この所に住せり。生業は鑛業及び農業を主とし、鑛産物中重なるものは金銀、瑪瑙にして、中にも銀の産出は甚だ多く、世界の首位を占め、其の産額年七千八百萬圓に達し、墨西哥銀の名世に高し。而してその産地は圖に示せるが如し。農業は低地に行はれ、主産物は米、甘蔗、珈琲等なり。この國の特産物とも云ふべきは仙人掌、龍舌蘭等にして、主として高原地方寡雨の部分に生せり。

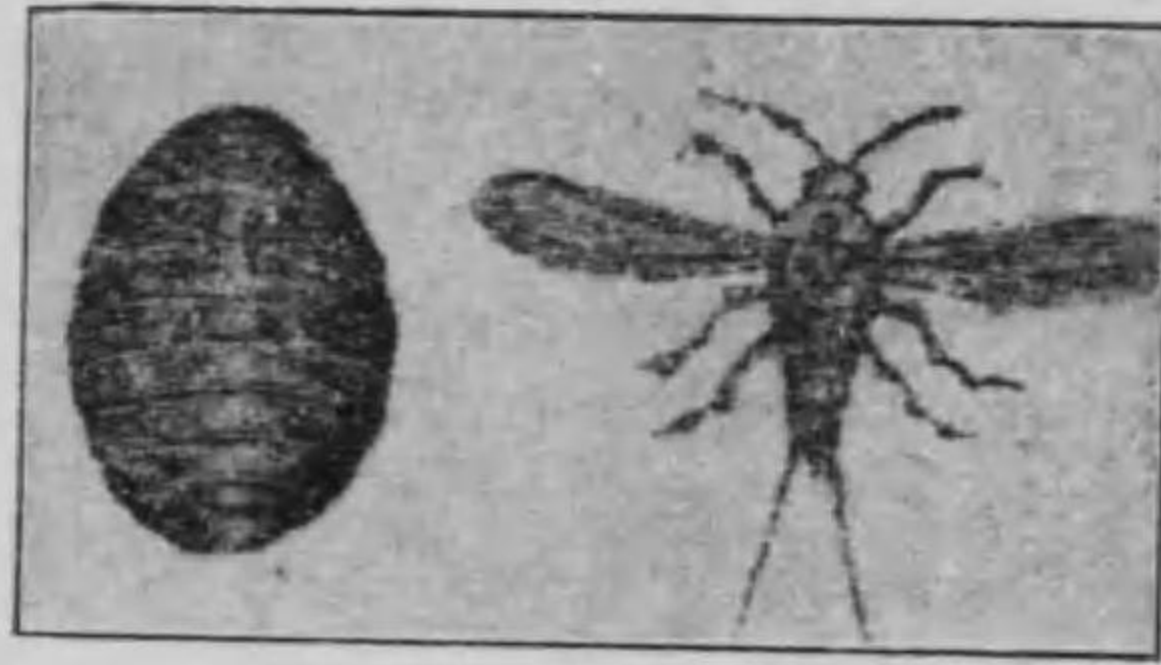
圖六十九百第 額産銀國各

西班牙	四百萬圓
ボリビエ	二百萬圓
濠洲	一千五百萬圓
加拿大	二千五百萬圓
北米合衆國	五千六百萬圓
メキシコ	七千八百萬圓

○仙人掌は乃サボテンにして、此に寄生するコチニールの雌虫は美麗なる紅色の色素を含むが故に洋紅の原料とす。

○龍舌蘭は多肉質の葉を有し、其の葉肉よりは液を吸集し、一種の酒即ちブルクを製す(百九十八圖參照)土人の日常の飲料として缺くべからざるものなり。其の葉の纖維はヘネケン麻と稱し、麻に代用す。銀に次いでこの國に於ける重要輸出品なり。

圖七十九百第



仙人掌の寄生虫ニチロル (左に雌虫は洋紅の原料とる)

圖八十九百第

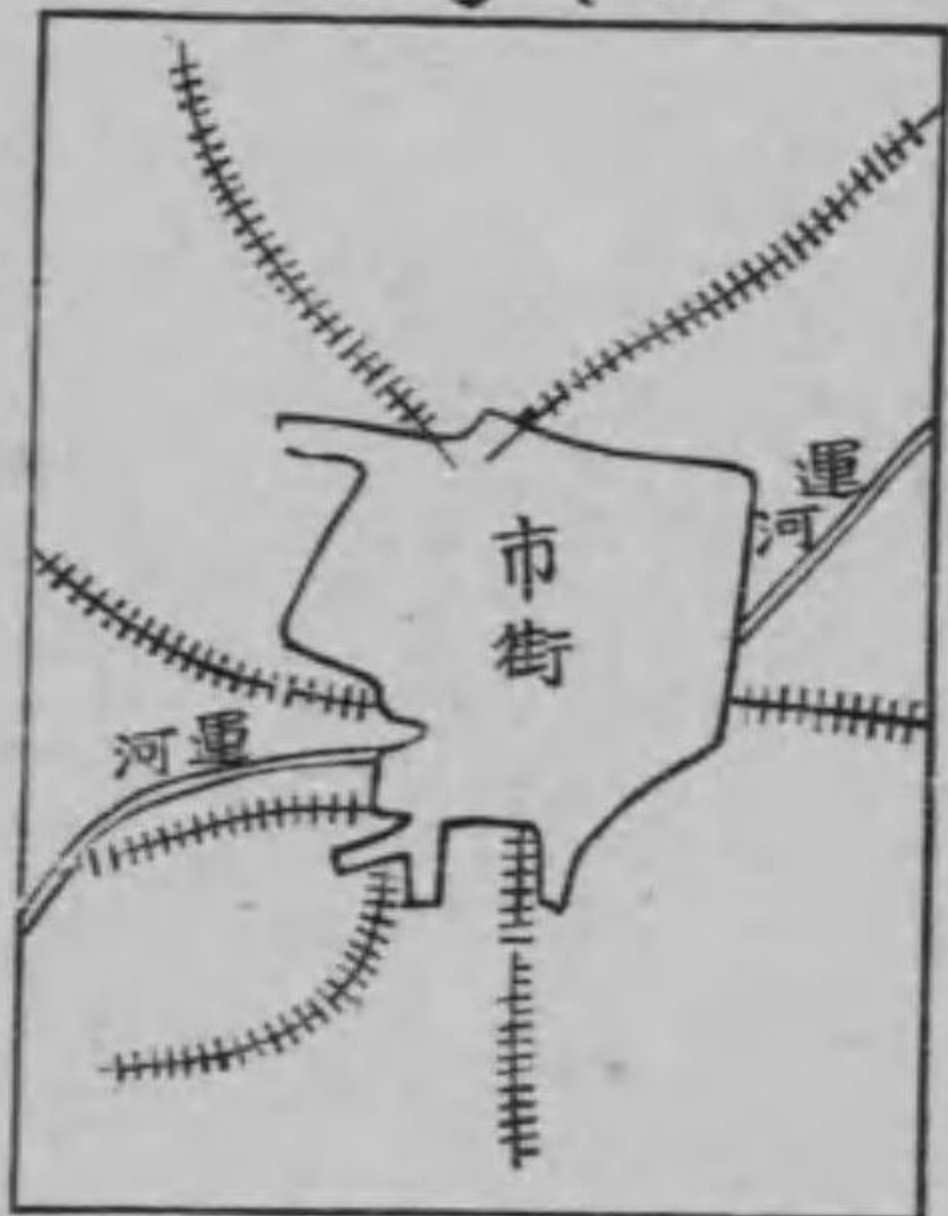


土人龍舌蘭の葉を採取する

三、都邑

○墨西哥はこの國の首府にして、海面上七千尺の高原にあるを以て地熱帯に屬すれども氣候溫和なり。南方に雪を戴けるポボカテペトルの高峯を臨み、風景佳なり。人口四十七萬、鐵道によりて墨西哥灣岸のベラクルズ、太平洋岸のアカプルコに通じ、交通便利にして我が國の公使館總領事館あり。圖の運河は市の排水を便にし、衛生上大功あり。又運輸の便を助くることも大なり。

圖九十九百第
コシキメ



○アカブルコは大平洋岸の良港なれども陸上の交通不便なれば未だ繁盛に至らず。伊達政宗の使節として支倉六右衛門が羅馬に使用する時に最初上陸せし地なり。

○ベラクルズは墨西哥灣岸にありて、この國第一の開港場なり、輸出品の大部はこの港にて取引せらる。

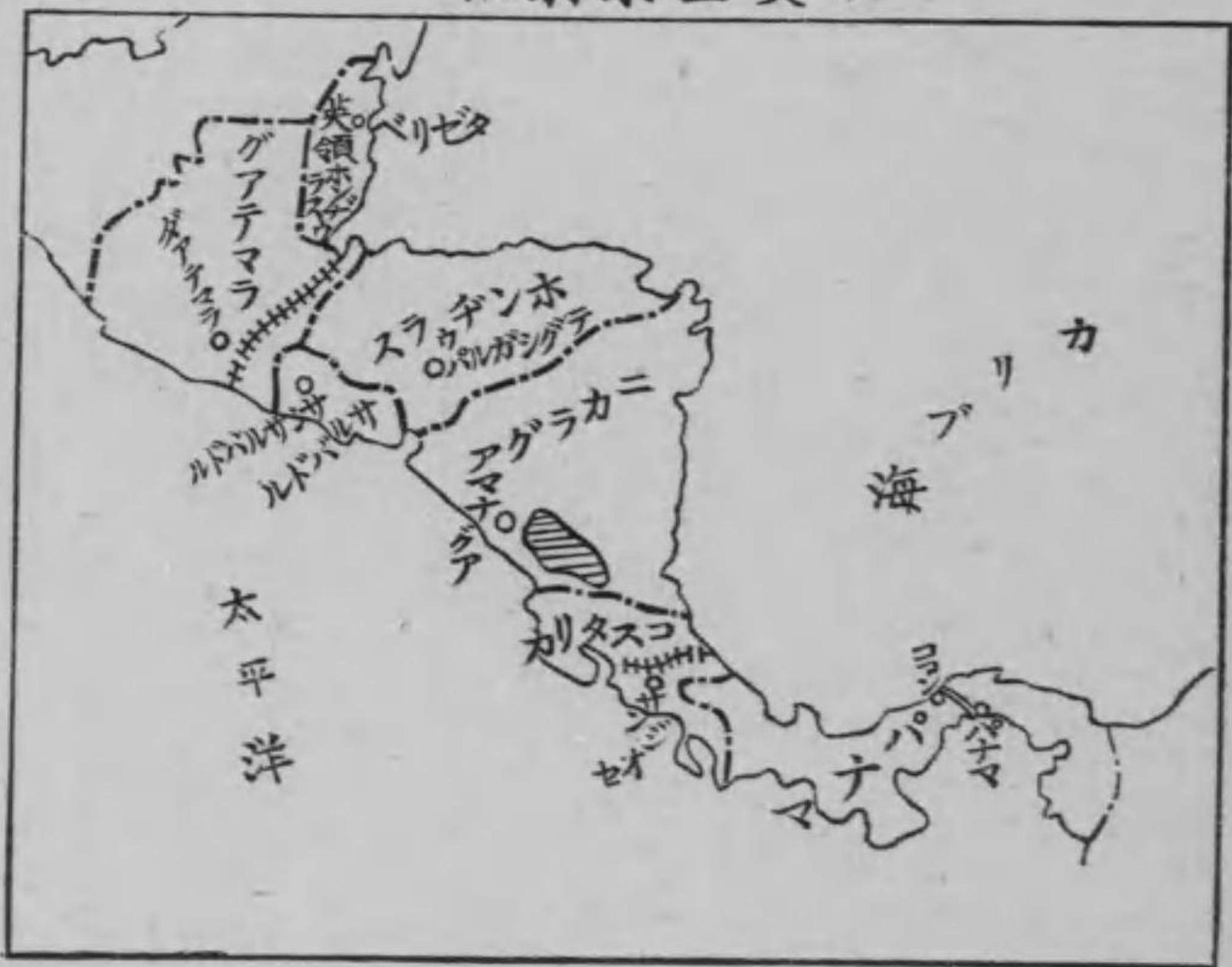
○テワンテペク地峽と鐵道、この國の東南部に地峽あり。テワンテペク地峽といふ。これを利用して東西兩岸を連絡するテワンテペク鐵道を敷設せり。鐵道は大平洋岸のサラナクルズより、墨西哥灣岸のメヒコ港まで、二百三十哩あり。パナマ運河の開通までは、東西兩洋交通上の要地として世に知らる。

乙、中央亞米利加諸國

中央亞米利加諸國は墨西哥の東西に連れる細長き地方にして、面積凡そ墨西哥の四分の一に當る。此等の諸國は曾つては西班牙の領地なりしが、今は全く其の羈

圖百二第

加利米亞中央



絆を脱して、六小共和國と英吉利の領地とに分る。

英領ホンチウラス。面積凡そ一千三百方里、人口四萬餘、首府ベリゼ。

○グアテマラ。面積凡そ八千方里、人口百九十萬餘、首府グアテマラ。

○ホンチウラス。面積凡そ八千方里、人口五十萬餘、首府テグシガルバ。

○サルバドル。面積凡そ一千二百方里、人口百十萬餘。首府サンサルバドル。

- ニカラガア。面積凡そ八千方里、人口六十萬餘、首府マナグア。
- コスタリカ。面積凡そ三千方里、人口三十五萬餘、首府サンジョセ。
- パナマ。面積凡そ五千方里、人口四十萬餘、首府バナマ。
- パナマ共和國はバナマ運河開鑿につきて、コロンビヤより分離せる國にして有名なるバナマ地峽のあとこなり、此の地峽を横斷する運河は、スエズ運河開鑿者として世に名を博せし佛蘭西人レセツプ氏によりて計劃せられ、千八百八十一年工事に着手せしが、資本不足の爲に合衆國が其の權利を繼承することとなり、千九百六年凡そ八億圓の資金を投じ、三萬の工夫を役して、今將に工事中なり。大正二年を以て完成する豫定なりといふ。

第百一圖 バナマ運河



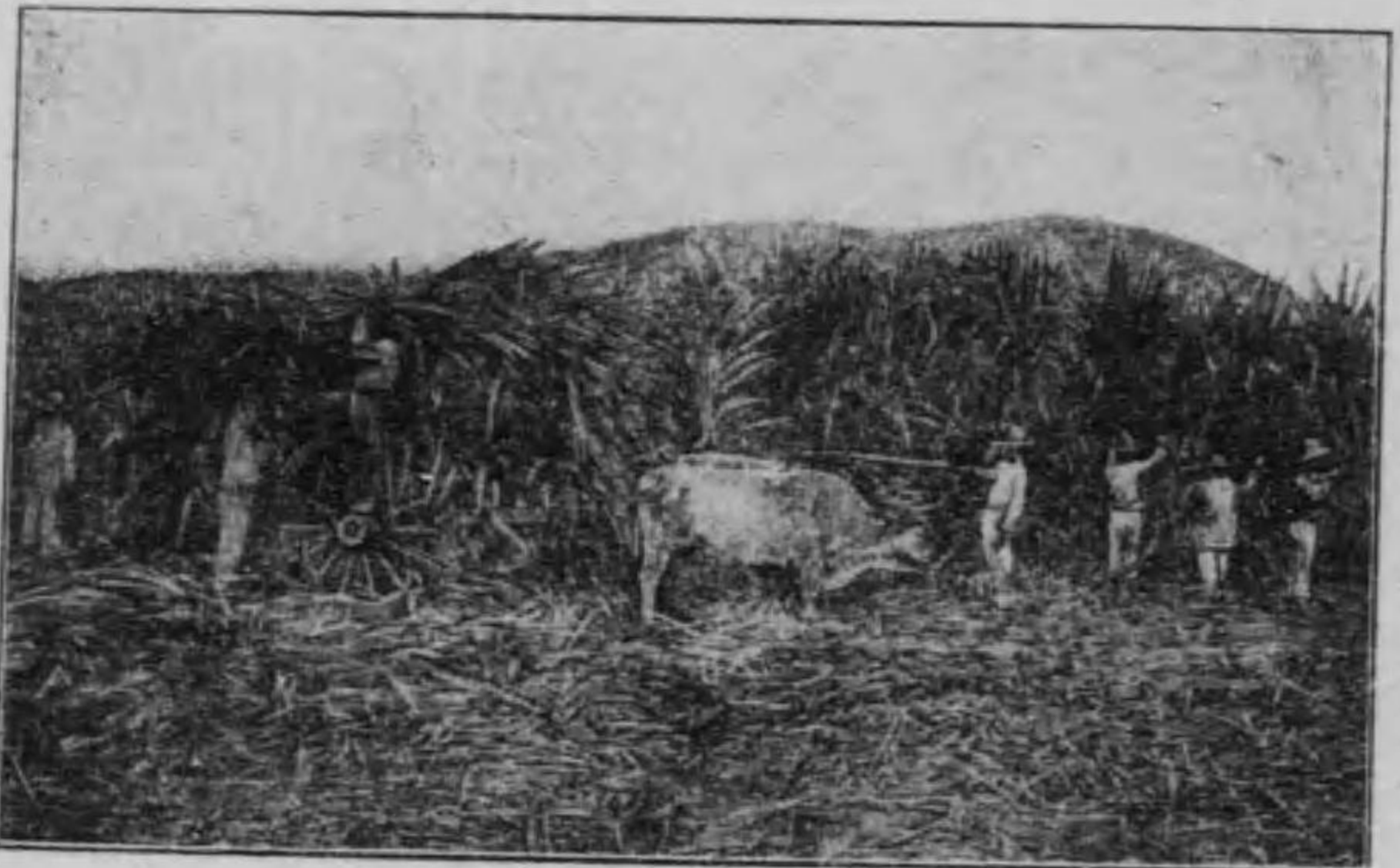
バナマまで、延長約二十里、開通の曉は、南米、迂廻の不便を避け、凡そ八日の航程を

○ 運河は大西洋岸のコロンより、太平洋岸の

節約し得べく、世界海運上に一新紀元を劃するに至るべし。この運河を通過するに十二時間を要する豫定なりといふ。

丙、西印度諸島

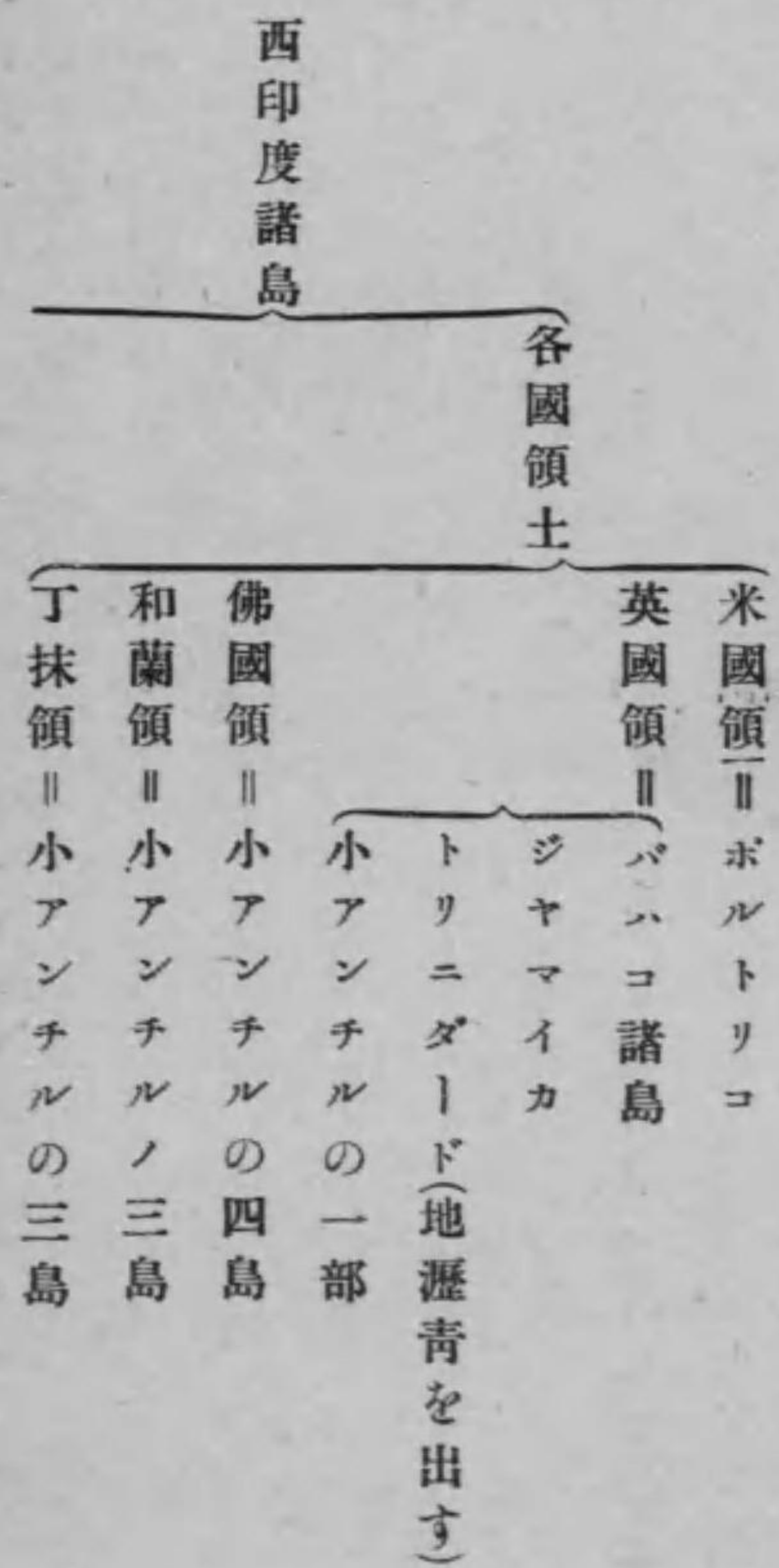
第百二圖 キューバ島の甘蔗採掘



西印度諸島は墨西哥灣の口より東南に連りて、飛石の如く羅列せる一千餘の島嶼より成れども、人民の住するものは、其中五十に過ぎず。面積一萬五千方里餘、人口三百五十萬、大陸との間にカリブ海を抱き、島は一體に美林を以て覆はる。蓋し低緯度の地にありて雨量に富むを以てなり。此等の諸島は多くは歐米諸國の領有するところとなり、獨立せるものは僅に二三に過ぎず。

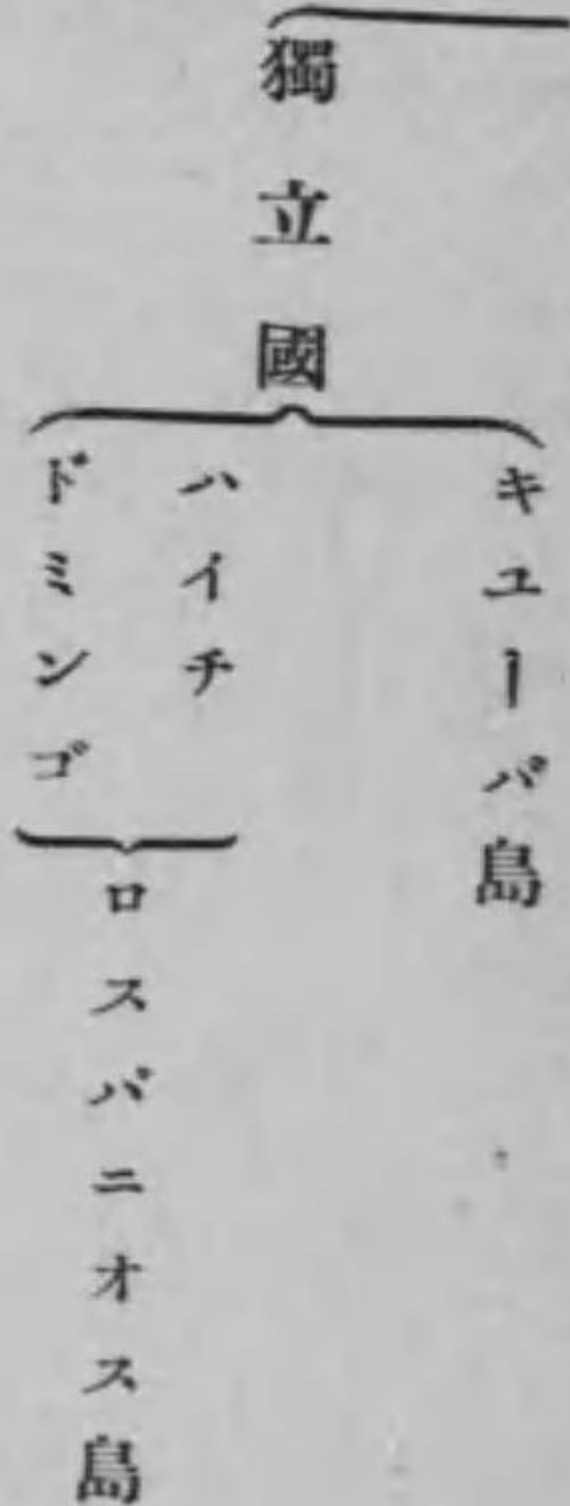
○ キューバ島は諸島中の最大なるものにして、發見以來西班牙の領地なりしが、千八百九十

八年獨立の反旗を翻し、この戰に於ける西班牙軍の慘酷は、亞米利加合衆國の輿論を沸騰せしめ、遂に米西戰爭となり、千九百二年、米國の保護によりて獨立共和國となれり。この島は土地割合によく開けて、多く砂糖、煙草を産す。砂糖は所謂甘蔗糖にして、産額世界第一なり(亞細亞のジャバ島の部参照)首府をハバナといひ、西印度諸島第一の都會にして、人口三十萬餘、砂糖、卷煙草の製造盛なり。西印度諸島に於ける各國領有の關係を示せば左の如し。



四、注意事項

- 1、墨、西、哥、を、授、く、る、に、は、地、勢、と、産、物、地、勢、と、都、會、と、の、關、係、に、注、意、し、て、授、く、べ、し。
- 2、中、央、亞、米、利、加、に、つ、い、て、は、パ、ナ、マ、運、河、に、注、意、し、て、授、け、同、運、河、開、通、後、に、於、け、る、東、西、兩、洋、交、通、の、如、何、及、び、我、が、國、の、通、商、其、の、他、に、影、響、す、る、點、に、つ、き、注、意、す、べ、し。
- 3、西、印、度、諸、島、に、つ、い、て、は、キ、ユ、ー、バ、島、を、注、意、し、て、授、く、べ、し。
- 4、第、二、時、の、終、り、に、全、體、を、一、括、し、て、復、習、す、べ、し。



第五節 北亞米利加洲の總括

第一、要旨

北亞米利加洲の總論及び洲内各國の大要を復習して既習事項につき特に注意

すべき點を指摘して記憶を充分ならしめ、且つ次の括論に達せんとす。

第二、區分 凡そ一時間

第三、教辦物

世界全國、北亞米利加洲地圖

第四、教授材料

- 1、北亞米利加洲は亞細亞、歐羅巴、亞弗利加の舊大陸の間にありて新大陸の稱あり。
- 2、これを面積の上より見れば亞細亞、亞弗利加の次に位して世界第三位にあり。而して人口は亞細亞、歐羅巴に及ばず、これ新開地たるが故なり。
- 3、本洲の地勢は明に三部に分たれ、比較的單純なり。海岸線の發達は歐羅巴につき世界の大港として完備せる良港は東亞兩岸共に尠からず。
- 4、本洲が發見以來日尙淺きに拘はらず、其の發達進歩は先進國たる亞細亞、歐羅巴を凌がんとするに至れる所以は何に歸因するか、これ全く本洲は廣大なる平原を有し、農産豊富に且つ鑛産の饒多なること其の主因なるべし。
- 5、殊に亞米利加合衆國は實力内に充滿し、國威外に振ひ、西歐東亞の間に介在して、

世界經濟の實權を握らんとする現況なり。これまた天産豊富なるに歸因すべきか。

7、本洲に獨立せる國家を見れば、南米諸國と共に、何れも立憲共和國なることは、他洲に比して異なるどころなり、これ實に新大陸の特徴なり。蓋し本洲の諸國は最初歐羅巴諸國の人民移住したるものが、後に本國の羈絆を脱して國を建設したるものなる、其の國を建つるや、悉く亞米利加合衆國の援助を得たると、従つて彼に範を取りたるとに依るなり。

8、更に本洲は新開地たるに拘はらず、交通頗る發達し、世界鐵道の二分の一を有し、歐羅巴の西部と共に鐵道網の二大中心をなす。これまた經濟の發達に依るものと見るを得べし。

第六章 南亞米利加洲

第一節 南亞米利加洲總論

第一、要旨

南亞米利加洲の位置、面積、地勢、氣候、產物、住民、沿革の大要を授け、南亞米利加洲の特徴を知らしむ。

第二、區分

凡そ二時間
第一時、位置、面積、地勢

第二時、氣候、產物、住民、沿革

第三、教辨物

地勢圖、本洲縱斷面圖、產物比較圖、南米初期の殖民圖、物產圖、其の他

第四、教授材料

一、位置、面積

南亞米利加洲は北亞米利加洲の南に連りて共に西半球にあり、若し地球を南北に分つ時は、濠洲、亞弗利加の一部と共に、大部分南半球に入る。(地球儀使用)故に四季の變化は濠洲と同じく北半球と相反す。面積百二十萬方里北亞米利加洲より稍狭しと雖、尙歐羅巴に二倍す。

二、地勢

地勢は北亞米利加洲と同じく、西部山地、中央大平原、東部高地の三部に分る。而してその西部山地には、アンデス山脈、大平洋岸に沿ひて南北に走り、その延長四千五百哩に及び世界最長の山脈なり、この山脈は平均の高さ一萬二千五百尺、四時白雪を戴きて雲表に聳え、藍色の氷河頂上より四垂するありて、恰も氷結せる無數のナイヤガラ、瀑布の如し。

火山脈もまた之に沿ひて走り、アコンカグア、チンボラゾ、コトバクシ等の高き火山(何れも二萬尺以上)其の中にあり。

圖三百二第



東部にも西部山地の如く、高峻ならざれども、北方にバリメ山脈、南方にブラジル山脈あり、何れも山脈とは稱すれども、其の高さ一千米乃至一千五百米位にして、山勢寧ろ高原といふを至當とす。この兩高地の間は即ち中央大平原にして北にはオリノコ河の流域即ちリヤノス、その南はアマゾン河の流域即ちセルバス、その南はラブラタ流の流域にしてパンバスといふ、断面圖を見て地形の大體を知るべし。

○リヤノスは草深く樹木少なく、たゞ所々椰子樹疎生するに過ぎず、氣候炎熱にして、降雨一年中一季節に止まり、其の際牧草繁茂す。故に多く牛を飼養す圖につきて見るべし面積二萬五千方里。

○セルバスは圖に見る如く、樹木相競ふて枝葉を擴げ、下部には灌木枝を縦横に延し、上部には椰子、マングローブ等高さ二百尺に及ぶものありて、實に森の上の森林の狀をなせり。面積三十七萬方里我が國の八倍餘に當る。

○パンバスは一面の草原にして、其の面積四萬方里餘に亘り、雨季には牛、羊の一大牧場となるも、寡雨季には此等の牧草枯死して一面荒野と化す。

以上の平野を貫流する河のうち、アマゾン河は最も有名にして源を西部山地に

圖 四 百 二 第



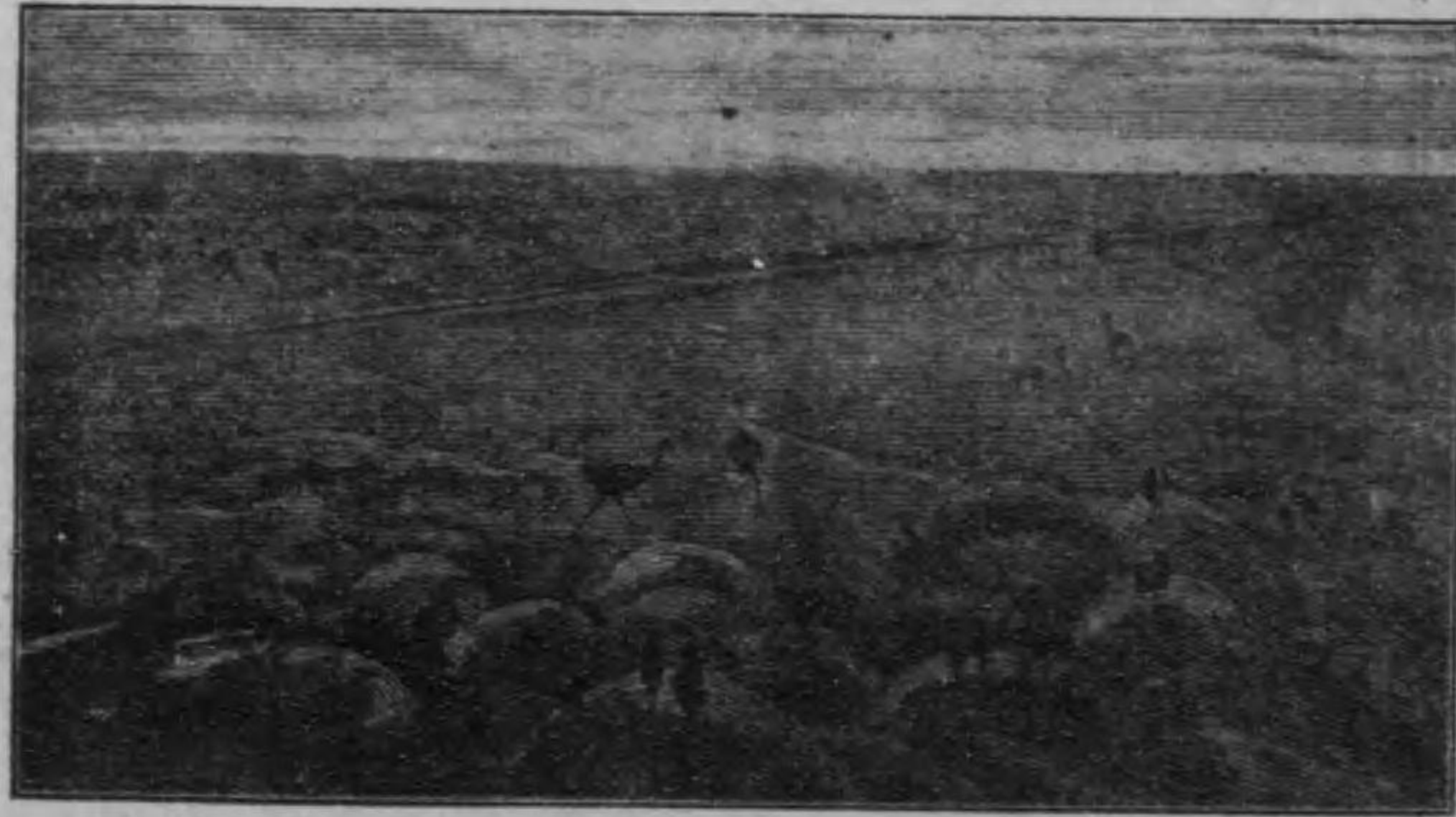
リヤノス

圖 五 百 二 第



セルバス

スパンバ 圖 六 百 二 第



東部にも西部山地の如く高峻ならざれども、北方にパリス山脈、南方にブラシル山脈あり、何れも山脈とは稱すれども、其の高さ一千米乃至一千五百米位にして、山勢寡る高原といふを至當とす。この兩高地の間は即ち中央大平原にして北にはオリノコ河の流域即ちリヤノス、その南はアマゾン河の流域即ちセルバスの南はアラタタ流の流域にしてパンバスといふ、断面圖を見て地形の大體を知るべし。

○リヤノスは草深く樹木少く、たゞ所々椰子樹疎生するに過ぎず、氣候炎熱にして、降雨一年中一季節に止まり、其の際牧草繁茂す。故に多く牛を飼養す、圖につきて見るべし面積二萬五千方里。

○セルバスは圖に見る如く、樹木相競ふて枝葉を擴げ、下部には灌木枝を縦横に延し、上部には椰子、マングローブ等高さ二百尺に及ぶものありて、實に森の上の森林の狀をなせり。面積三十七萬方里我が國の八倍餘に當る。

○パンバスは一面の草原にして、其の面積四萬方里餘に亘り、雨季には牛、羊の一大牧場となるも、寡雨季には此等の牧草枯死して一面荒野と化す。

以上の平野を貫流する河のうち、アマゾン河は最も有名にして源を西部山地に

圖 四 百 二 第



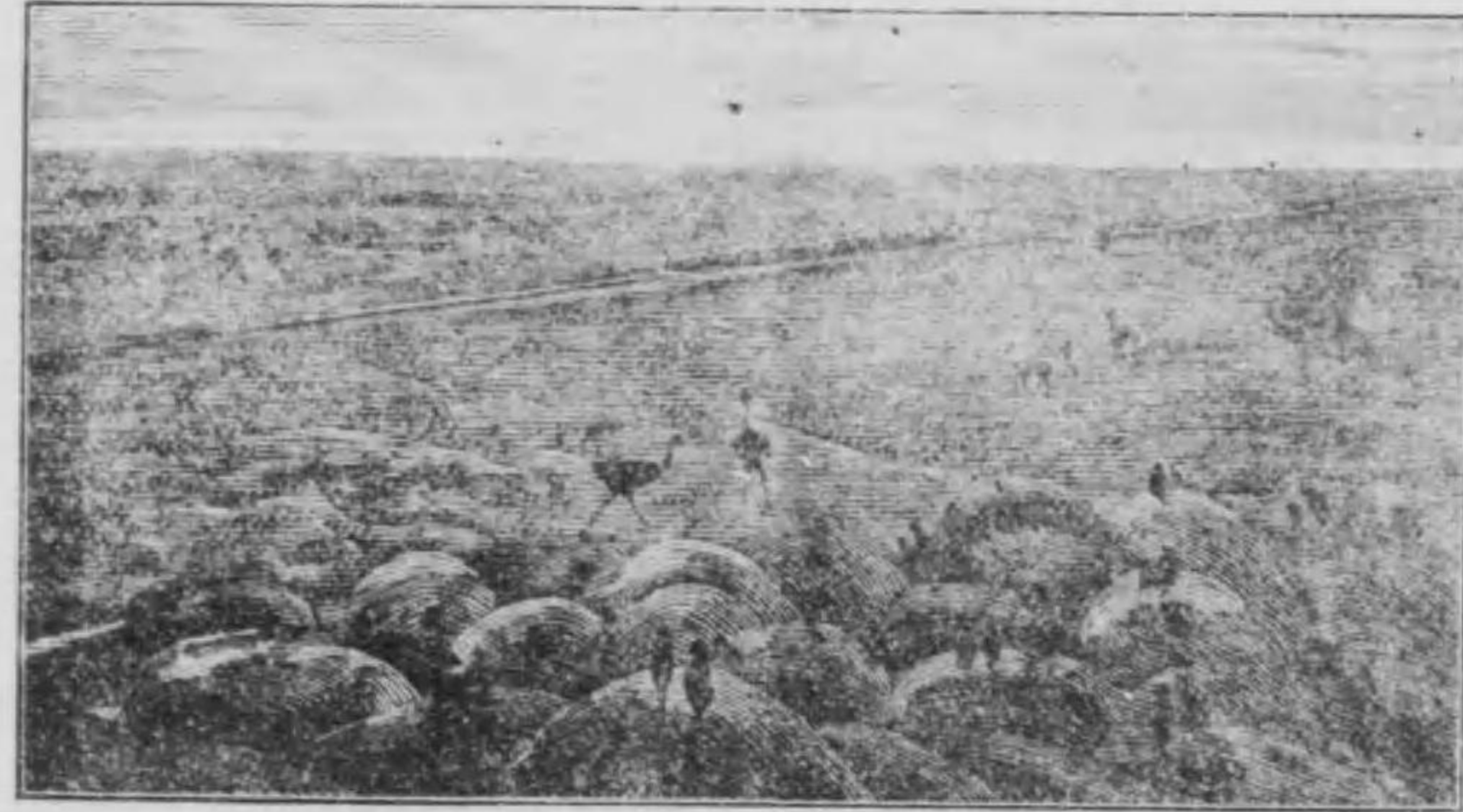
リヤノス

圖 五 百 二 第



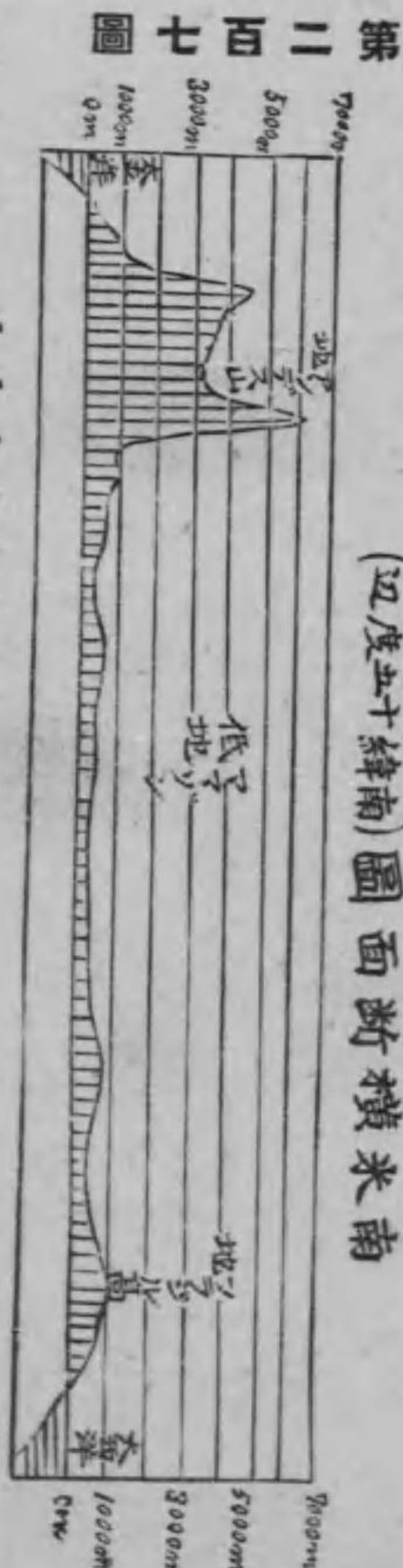
セルバス

スパンバ 圖 六 百 二 第



發し、水量の多きこと世界第一にして長さ、一千四百里、世界第三の長流なり。河幅廣く、多くの場所に於て四十哩に及び、水の深さは、河口より以上二千哩の間、七十尺乃至二百

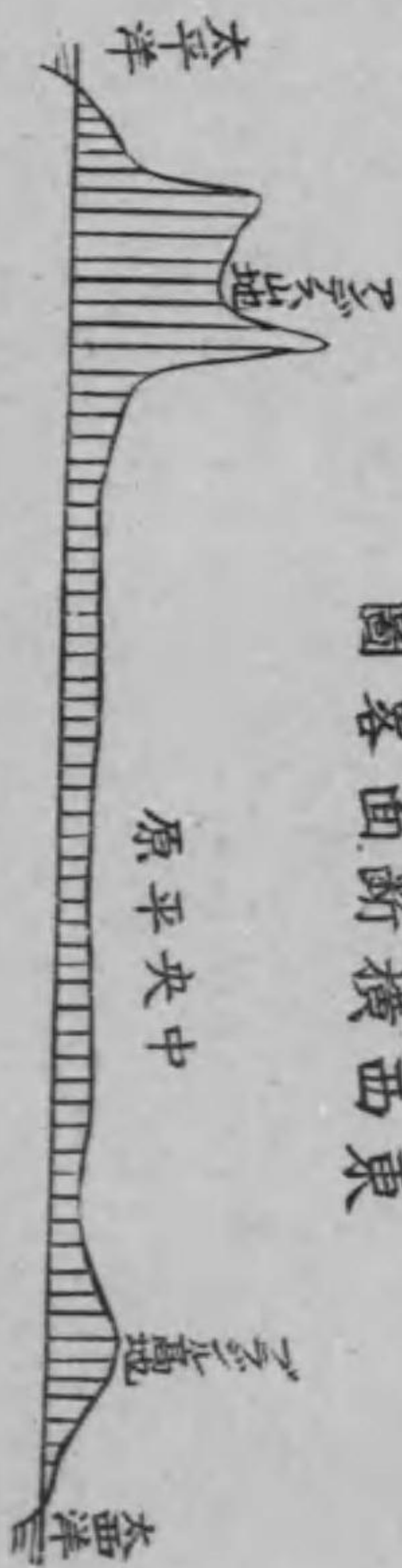
(四度五十緯南)圖面新積米南



の二に當り、南米の地中海と稱せらる。實に世界の大河といふを得べし。

又本洲には大湖と稱すべきものなく、たゞ西部山地にチチカカ湖あり、海面上約一

圖八百二第 圖 畧面新積由東



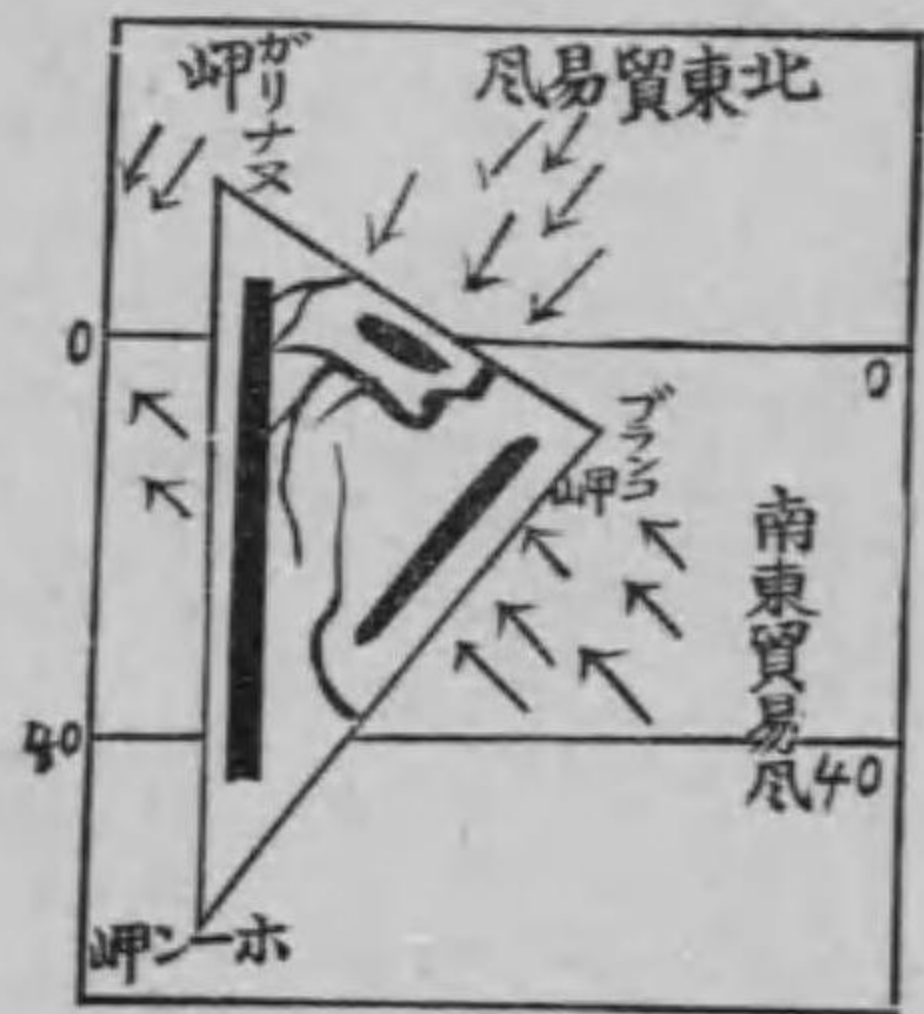
萬二千尺の所にあり、淡水湖にして、面積五百二十方里、湖中にチチカカ島あり、イン

あり海面上約一

カ、種族發祥の地として有名なり。
○教科書挿畫は、アマゾン河畔の森林を示せるもの、河水洋洋として流るゝ、態大海の相あり。左方の樹木中最も高きはマングローブにして、棕櫚の葉に似て鬱蒼として繁茂せるは椰子樹なり。熱帯地方の河岸の様想像せらる。
○ラブラタ河は、バラニヤ及びウルグアイ兩河の合成せる、三角江にして水利に富み、川幅廣し、上流のバラグアイ川をとれば長さ一千二百里に及ぶ。

三、氣候、産業

圖九百二第



本洲は大部分熱帯中にあるを以て、一般に氣温高く、又雨多くして植物よく生育し、殊にアマゾン河の流域は貿易風の關係により雨量最も多く、従つて前に述べたるが如き大森林地を形成せり。
○上圖の如く大西洋より吹き來る南東及び北東貿易風は、多量の水蒸氣を含有して、來り冷却して、アンデス山脈の東側に雨を降らす、これアマ

ゾン河の水量の多き所以にして、又流域に大森林を見る次第なり。然るにアンデス山系の西側に於ては、風向の關係上、雨少なく、所々に沙漠を形成せり。

本洲に於て、植物としての有名なる産物は、珈琲、規那、カカオ、護謨等なり。しかして珈琲は北部及び東部に、規那は西北部アンデス山地に、カカオは北部に、護謨は中部なる赤道の南北二十五度に至る地方に多く産す。

○規那は茜草科の常緑木にして、木の皮よりキネーといふ薬品を製出す、我が國の宮崎縣に之を移植して少しく産す。



實果のオカカ

○カカオは梧桐科の植物にして、二間乃至三間の高さ有す、果實は長さ六寸乃至八寸、直径二寸五分乃至三寸なるが、これを碎きて粉末とし、或はこれに砂糖と少量の香料とを入れて混和し、型に入れ、固めて、チョコレートを作る、滋養分に富む。

動物は羊、リヤマ、アルバカ等の牧畜所々に行はれ、殊に南部の羊、中部山地のリヤマ、

圖十百二第

而して中部より南部にかけてはアルバカ多く飼養せらる。

○リヤマ(駱馬)は、毛長く、尾短し、性温順にして山間の荷物運搬に必要な動物なり、毛は織物の原料とし、乳は飲用肉は食用とす。

○アルバカ(羊駝)は、羊に似て首長く、耳も亦長く、且つ尖る。毛は黒く細長くして光澤あり、アルバカ織として服地に多く使用せらる。

○アルバカ(羊駝)は、羊に似て首長く、耳も亦長く、且つ尖る。毛は黒く細長くして光澤あり、アルバカ織として服地に多く使用せらる。

○アルバカ(羊駝)は、羊に似て首長く、耳も亦長く、且つ尖る。毛は黒く細長くして光澤あり、アルバカ織として服地に多く使用せらる。

○硝石の産する所は雨量少なき智利地方にして、銀は西部山地に多し。

四、住民

住民は、重に西班牙、葡萄牙より移住せし白人の子孫多数を占め、其の總數の三分の一に當る。其の他土人、黑人及び雜種亦少なからず、西班牙、葡萄牙人の子孫多きは、南米初期の殖民が主として此等の國民によつて

圖一十百二第 南米初期の殖民



す、西班牙、葡萄牙人の子孫多きは、南米初期の殖民が主として此等の國民によつて

爲されしによるものにして、葡人は東部に、西人は西部に多く住す。(上圖參照)
土人は即ちインヂアン人にして總人口の六分の一に當り、この人種中最も有名なるものは、南米原住の土人、即ちインカ種族なるが、この種族は曾つてアンデス山中のチチカカ湖を中心として、インカ帝國を建設し、高等の文明を有したることありき。

黒人は所謂ネグロにして總數の七分の一を占む、其の他は雜種なり。

此等の人種を合すれば、其の數約四千五百萬餘に達し、面積に比すれば、六大洲中、大洋洲を除き、世界第五位なり。(高地二卷人種人口の部參照)

五、沿革

本洲は、今より八九十年前までは大抵西、葡兩國の領地なりしが、其の後殆ど全部の地は獨立して十ヶの共和國を建て、外に三殖民地、一領土を見るに至れり、このうち我が條約國は五ヶ國なり。是等の諸國は概ね開化の程度高からず、未開の地も亦甚だ多く、其開拓は歐米文明諸國の大いに注目するところなり。

○條約國、コロンビヤ、ベルチリ、アルゼンチン、ブラジル。

○十獨立國、この外のベネヅエラ、エクアドル、ボリビヤ、バラグアイ、ウルグアイ

○三殖民地、英領ギアナ、蘭領ギアナ、佛領ギアナ

○一領土、英國領のフォークランド及び南ジョルヂヤ群島

○以上の中伯刺西爾南、及智利に我が公使館を置けり。

第二節 南亞米利加洲諸國

第一、要旨

南亞米利加洲諸國の大要を授けて、其の状態を知らしめ、且つ我が國と關係せる點に注意せしむ。

第二、區分 凡そ二時間

第一時、哥倫比亞、ベネヅエラ、ギアナ、伯刺西爾、バラグアイ、ウルグアイ

第二時、亞爾然丁、智利、ボリビヤ、秘露、エクアドル

第三、教辨物

南米區分圖、各國重要市街圖、其他寫真珈琲、バラグアイ茶、其他。

第四、教授材料

甲、哥倫比亞

哥倫比亞は、本洲の西北部を占め、北はパナマ共和國に連り、面積七萬三千方里、人口四百三十萬餘、北部は低地、南は高地にして、産物は珈琲、綿、バナナ、帽を出す、首府をボゴタといひ、國の殆ど中央に位し、海面上八千六百尺の高地に在り、世界高都會の一に數へられ、四季を通じて氣候春の如く、風光亦明媚なり、人口十二萬餘。

乙、ベネズエラ

ベネズエラは哥倫比亞の東にあり、面積七萬方里、人口三百七十萬を有し、中部オリノコ河流域即ちリヤノスは、天然の良牧地にして多く牛を飼養す。この國の産物は牛の外、ココア、珈琲なり、首府をカラカスといひ、人口七萬二千、これまた三千尺の高所にありて氣候溫和なり。

丙、ギアナ

ギアナはベネズエラの東南に接する地方にして、英吉利、和蘭、佛蘭西の三國之を分領せり、然れども氣候あしく、海岸低地は住居に適せず、山地の一部のみ利用せらる。

○英領、一萬五千方里、人口三十萬餘、

○和領、七千五百方里、人口九萬餘、

○佛領、五千八百方里、人口三萬九千餘、

丁、伯刺西爾

一、位置、面積、人口

伯刺西爾は、本洲の東部の大半を占め、最も廣き國にして、其の面積五十四萬方里、我が國の十二倍餘に當る。故に南米諸國のうちチリ、エクアドルの外悉く境を接す。人口は二千一百萬、密度少なく僅に我が國の三分の一に及ばず。

二、地勢、産業、都邑

國の西北部はアマゾン河の流域にして、セルバス森林多く、其の開拓充分ならず。従つて住民甚だ稀なり、タイン、ヂアン、が點々散在して狩獵に従ふのみ、この流域の産物は護謨にして、世界第一の産額なり。東南部は即ちブラジル高原にして、其の間を貫流するサンフランシスコ河此を露す、地肥沃にして土地大いに開け、珈琲、綿、砂糖、煙草等を出す、綿は大西洋岸の中部、砂糖は中部ベルナンブゴ附近を中心と

し、殊に珈琲は其の産額世界第一にして年三億圓に達す。サンフランシスコ河の流域及びその南部海岸地方に多く、就中サンパウロは其の中心地として著はる。

圖二十百二第 世界珈琲の産額



○教科書挿畫は、珈琲採取の状況にして、リオデジャネロ附近の珈琲畑なり、この採集に従事するものは伊太利人最も多く、我が國人もこれに従事するもの多し、本邦人の在留するもの約八百名あり。

我が國に輸出する珈琲の八割はこの地よりす、外國貿易は十三億圓以上に達し、重なる輸出品は珈琲、護謨にして輸入品は食料品、綿布、石炭等なり。護謨の輸出のみにて一年一億九千萬圓、珈琲は二億三千萬圓に及び、共にこの國の富源なり。

○リオデジャネロは首府にして大西洋岸にあり。濠洲のポルトジャクソン港と共に世界有名の良港なり、人口九十萬餘、珈琲の輸出甚だ盛にして我が公使館、總領事館あり。

圖三十百二第 オリデジャネロ



圖四十百二第



○サンパウロは珈琲の産地として名高く、又南回歸線上にありて氣候良好なり。人口三十萬餘あり。

戊、パラグアイ

パラグアイは、伯刺西爾の西南部にありて海に瀕せず。面積一萬六千方里、人口七十二萬、パラグアイ茶を特産とす。この茶はマテより製し、歐米諸國に輸出せらる

首府をアスンシオンといひ人口五萬二千風景良好なり。

エ、ウルグアイ

ウルグアイも、伯刺西爾の西南にありて、面積一萬三千方里、人口百萬餘これまた小國なり、首府をモンテビデオといひ、人口三十萬餘、大西洋岸の良港と稱せらる。上圖に示すが如くこの國は地球の中心を透して、我が國の正反對の地にあり。四季の變化晝夜の區別全く我が國と相反す。

圖五百二第



本日反對の地の地を示す

庚、亞爾然丁 一、位置、面積、人口、地勢、產業

亞爾然丁は、大西洋岸の南部斜面の地を占め、アンデス山脈を境として智利と相背けり。面積十九萬方里、人口六百八十萬餘を有す。地勢は北部はラブラタ河の流域に屬し、地味肥沃、中部は雨少なくて、農業牧畜の盛なること本洲第一に位す。産物としては小麦、羊毛、玉蜀黍、凍肉等の輸出甚だ多く、就中羊の頭數は濠洲に次ぎ、世界第二にして、國產として、政府も獎勵するを以て、今

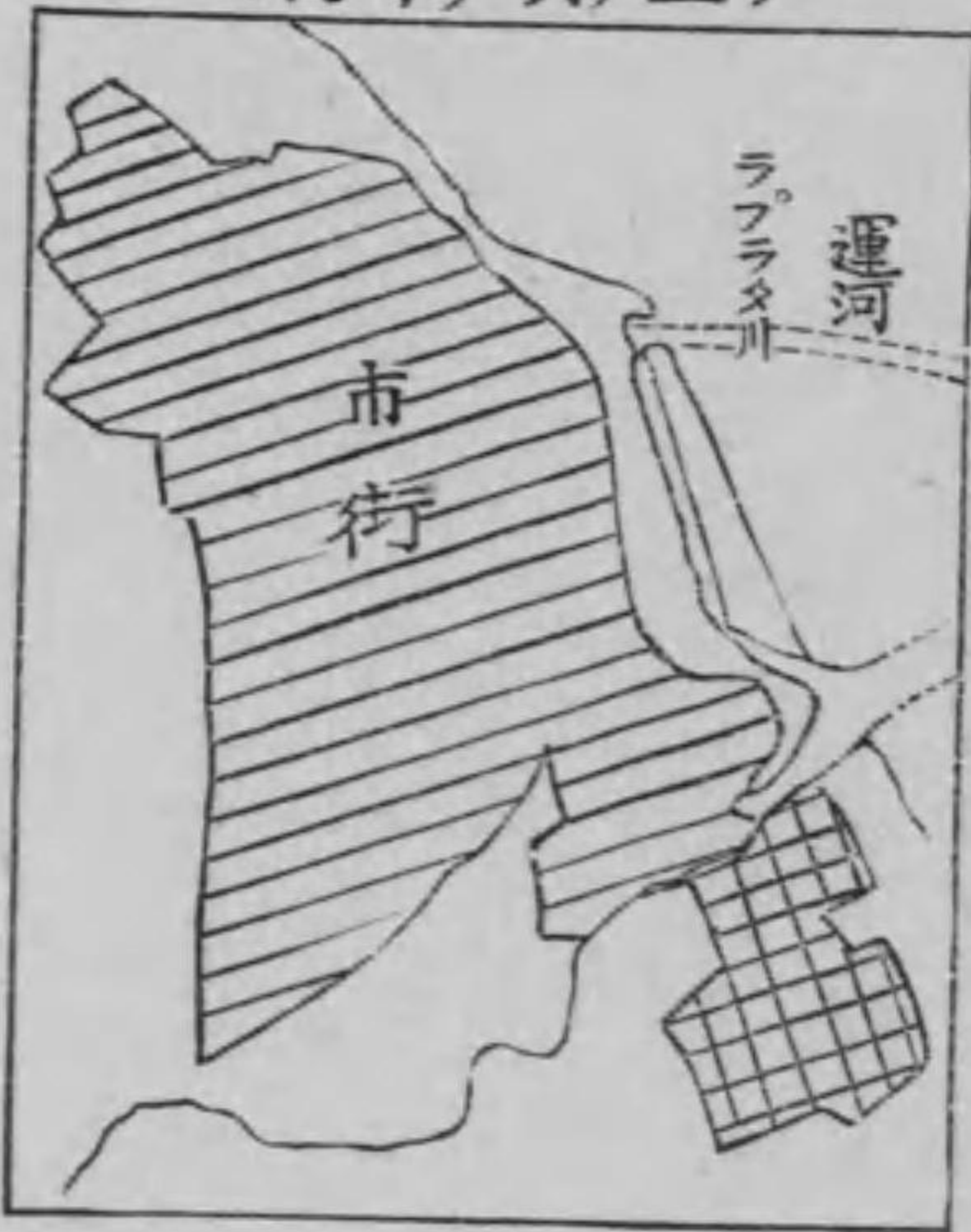
や濠洲を凌がんとするまでの現況なり(濠洲の部參照)。

一、都邑

○教科書挿畫は羊毛の市場を示す、その堆積せる羊毛を見て盛なるを知るべし。

都邑としてあぐべきものは、首府ブエノスアイレスを除く外、他に有名なるものなし。ブエノスアイレスはラブラ

圖六百二第 スレイアスノエブ



即ち首府は亞爾然丁の全體といふも可なり。

タ河の三角江右岸に臨み、この國貿易の大中心地にして、人口百二十萬餘、南米第一の都會なり、市街の設備完全を極め、南米巴里の名あり、車馬の駱駝人家の稠密、他に比なし、故に亞爾然丁より首府を控除すれば、南米の大共和國も遂に一のバンバスを餘すに過ぎず。

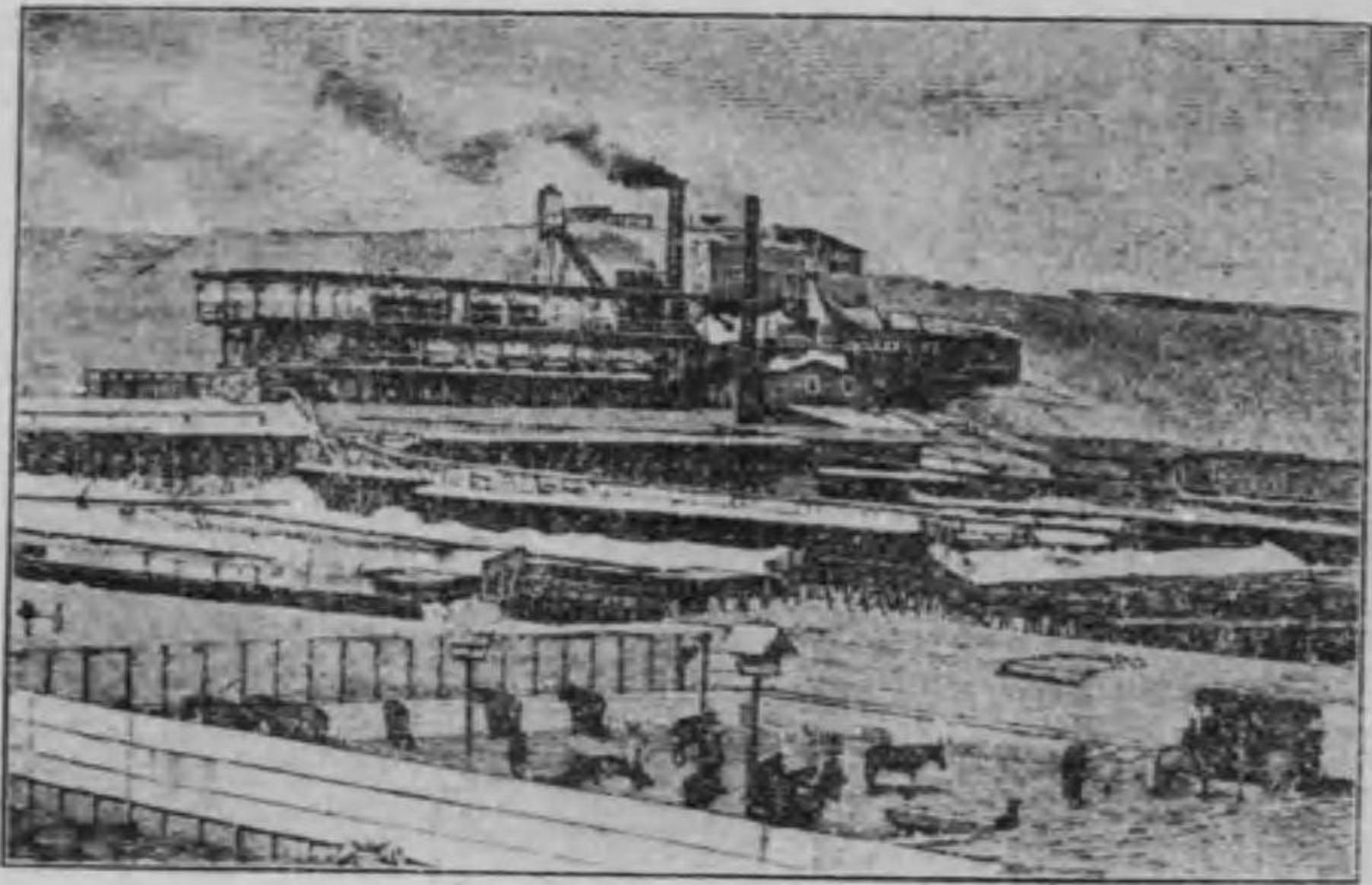
本洲の横斷鐵道はこの地に起り、アンデス山脈を横切りて、大平洋岸智利國バルパライソに達す。

○横斷鐵道は、ブエノスアイレスより有名なるアンデス隧道長さ三千四百五十碼約一里を通過してバルパライソに至る、この鐵道開通以來我が國より亞爾然丁に至るには、南米迅廻を避け、僅にバルパライソ(南米航路の終點)より三十二時間にて達することを得るなり。

辛、智利

智利は大平洋に面せる細長き國にして、緯度約三十八度に亘り、長さ一千百里に及び、世界最長の陸國なり、面積五萬方里、人口三百三十萬餘あり、地勢を見るに、山地と沙漠と、中部とに別る、山地よりは銅材木を出し、中部には小麥などの農産物あり、沙漠よりは有名なる智利硝石を出す。硝石はこの國第一の富源にして、世界各國へ輸出し、特にボリビヤの國境附近は其の産地として名高く、イキケはその輸出港なり。我が國にもこの港より窒素肥料として盛に輸出せらる、其他硝石は硝酸製造にも使用す。

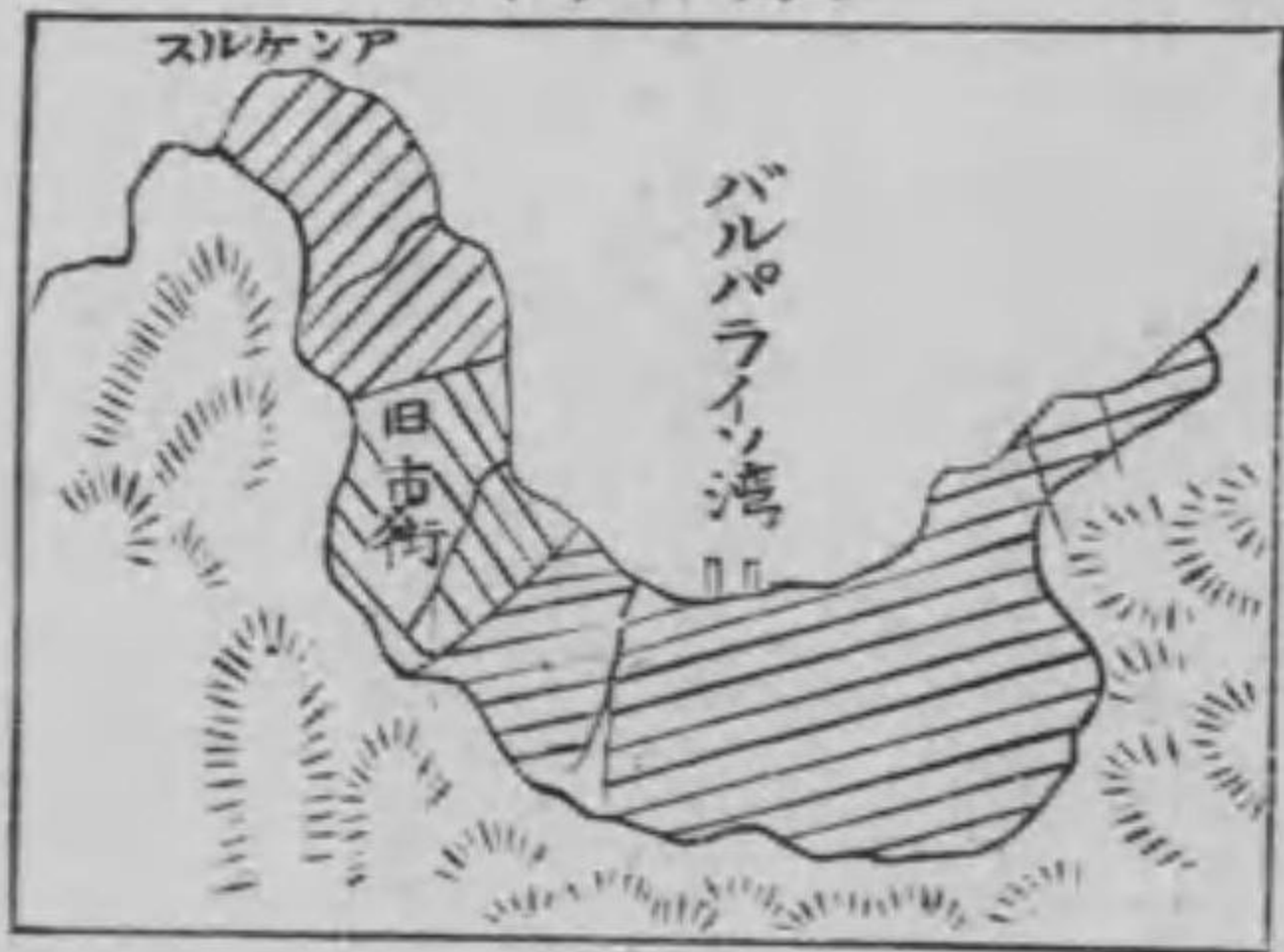
圖七十百二第



チリに於ける硝石精製所

圖八十百二第

ソイラパルバ



○首府をサンチャゴといふ、人口三十三萬、南米大平洋岸第一の都にして、大學及び我が國の公使館あり。

○バルパライソは大平洋岸第一の貿易港にして、軍港をかね、横斷鐵道の西端に當り、人口凡そ十六萬、首府よりも却つて

世に知らる。我が國は近來智利とは關係密接となれるを以て、東洋汽船會社は

政府の保護のもとに、南米航路を開始し、この地を以てその終點とす

○南米航路：香港：神戸：横濱：ホノルル：マンザニオ：サリナクルズ：カラ
オ：イキケ：バルバライン

壬、ポリビヤ

ポリビヤは、伯刺西爾の西方内地に位し、一の海岸線なし、面積十萬方里、人口二百萬、首府をスクレといふ、されどもラバズを以て事實上の首府とす、蓋し中央政府及國會、外交團等この地にあればなり、市街一萬二千尺の高所にある都なり。

癸、秘露

秘露は大西洋に臨み、智利の北にあり、面積十二萬方里、人口四百萬、住民には土人即ちインカ人の子孫多數を占め、西班牙人の子孫之に次げり、産物は砂糖、綿、銀、銅、鳥糞層などにして、そのうち銀銅は殊に名高し。

○首府をリマといひ、人口十六萬餘、南米最古の大學西曆千五百年建設あり、この市の附近には日本人二千餘住す、首府の咽喉をなすものは、カリヤオ港にして、この國第一の貿易港なり。(第二百二十圖参照)

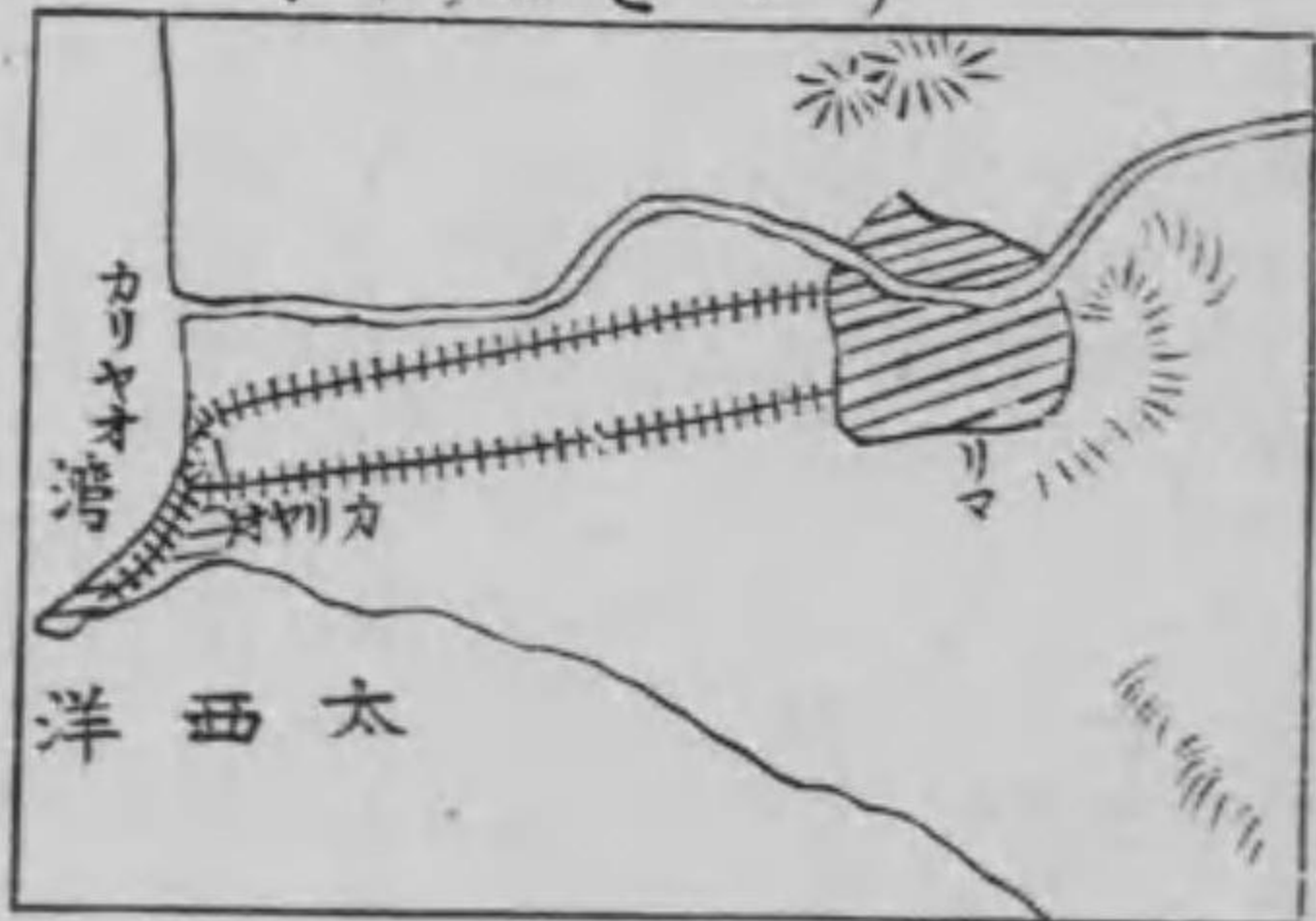
第九百二十第



りな風牙班西は街市 市マリ

圖 十二百二第

オヤリカとマリ



子 エクアドル

エクアドルは、秘露の北方哥倫比亞との間にあり、赤道はこの國の北部を横斷し、國名エクアドル、赤道の意義もこれに由來す。

面積二萬方里、人口三百四十

萬産物は規那、甘蔗、バナマ帽などなり、○首府をキトといふ。人口十萬餘、この地は海拔九千三百四十尺の高地にあるを以て、赤道附近にあれども、氣候四時春の如

く、周圍にはチンボラソなどの火山聳え風景佳なり。

丑、注意事項

- 1、位置を教授する際には地球儀を利用して教授すべし。
- 2、地勢を授くるには大要三大別になることを北米と對比して教授すべし。
- 3、地は大部熱帯に屬するを以て、氣温高く又雨多くして植物よく生育すること、從つて森林中には高木巨樹繁茂するさま既習の大陸と比較して知らしむべし。
- 4、南米は亞弗利加と共に開化の程度高からず、從つて未開不毛の地多く其の開拓は亞弗利加と共に文明諸國の注目するところたるを注意せしむべし。
- 5、各國地誌を授くるには其の範圍區分を明にして、其の特徴を知らしむることに注意すべし。
- 6、又我が國との關係深き點は特に注意して授け、南米移民は我が政府も獎勵するところ、南米も歓迎する現況なることを知らしむべし。
- 7、最後に全體を一括して復習すべし。

第三節 南亞米利加洲總括

第一、要旨

南亞米利加洲全體を復習して本洲に對する觀念を明にし、且つ次の括論に達せしめ、其の記憶を確實にせしむ。

第二、區分 凡そ一時間

第三、教辨物

世界全圖、南亞米利加洲地圖、其他

第四、教授材料

本洲は北米と共に新大陸の一部を形成し、然して濠洲、亞弗利加と共に北米に比し文化遙に劣れり。これ何に歸因するか。

- 1、位置上より見て北米に比して歐羅巴文明諸國と相離ること遠きは其の一因なり。
- 2、地勢上より見る時は北米と同じく三部に分ると雖海岸線の延長七千里其の

發達甚だ少なく、屬島も多からず、たゞ東南にフオー克蘭ド諸島、南端にフェエ
島稍々大なるあるのみ、従つて北米の如く良港を有せざるは其の二因なり。

3、且つ本洲の自然力餘りに偉大にして人力の之れに壓倒せらるゝは其の三なり、
換言せば地味の豊沃平野の廣大なる點に於ては、北米に遜色なしと雖、餘りに自
然力大なるが爲に、人口稀薄にして、之が開拓を充分ならしむるを得ず。セルバ
ス大森林地の如きはその良例と見るを得べし。

4、氣候は北米に比して一般に良好ならず、即ち本洲の北部を赤道通過して熱帯に
屬し、降雨多く濕潤なり、溫帯に屬する部は南部亞爾然丁智利の一部に過ぎず、し
かして西部山地は雨少なく、又物産豊富ならず、これまた本洲が文化開明の遅々
たる所以なるか。

5、天産物を見るに金、銀、銅の産額なきにあらざれども、これとて北米の比にあらず、
殊に有用礦物たる鐵、石炭の産額乏しきは其の五因なり。

6、本洲を開きたる人種は羅甸人種に屬するものにして、北米の開拓者チユートン
人種に及ばず、これ其の六因と見るを得べきか。

抑南米に覇を稱する五ヶ國中、伯刺西爾を除く外は西班牙人系の國にして、葡萄牙
系の伯國との間に國際關係の圓滿ならざるところあり、爲に智利、亞爾然丁の間
に同盟を組織して、伯刺西爾に當り互に反目疾視する狀況なり。

以上の點より考へて本洲は北米と共に新大陸なれども、北京の如く開化の程度高
からず、未開の地も亦尠なからざるは、全く右の障害のその因をなしたるものと言
ふを得べし、然れども今や其の開拓は文明諸國の大いに注目する所となり、本洲が
現況の程度を越えて、北米の如く人文上の發達を見る蓋し遠きにあらざるべし。

高等小學 地理實際的研究 上編終

高等小學地理實際的研究附

大正二年六月五日印刷
大正二年六月五日發行



發行所

著者 野口吉郎
著者 本田甚平
發行者 大倉廣
印刷者 岡功

定價金壹圓貳拾錢

東京市京橋區南橫町十八番地
廣文書店

振替東京四六八三番
電話京橋二四六三番

凸版印刷株式會社分工場印刷

東京府青山師範學校附屬小學校編纂 (五版)

尋常小各科教授細目

洋裝菊判全三冊千六百頁
第一編 金壹圓五拾錢
第二編 金壹圓
第三編 金壹圓
送料 各金拾貳錢

- ◎第一編 國語。(讀方綴方書方)
- ◎第二編 算術。地理。歴史。理科。
- ◎第三編 修身。圖書。裁縫。手工。

本書は青山師範學校と同附屬小學校に奉職せらるゝ實際家の合議立案に基き獨持の學殖を有せらるゝ手腕を振ひあらゆる心血を傾注して編纂せられたるものを更に鄭重周到なる幾十回の審議と實際教授の實驗に照して綿密なる校訂を経て茲に公にせられたるものなり。その内容は題目・要旨・教材・要項・時間配當・準備・教授上の注意等に分ち簡に失せず繁に流れず教材の處分痛快明瞭にしてしかも懇切を極めたり。かつ各科教授の主眼を明かにして教材相互の聯絡を圖り教科目を地方化し具體化し直觀化し細目としてなすべき限りを盡し以て新教育の美果を收めんことを期せられたり。

本書の特長

- ◎事項本位と時間本位との長短を講究し其長所を採りたる折衷主義の完備せる教授細目なり
- ◎取扱の便に資する爲め適當に分冊し任意に一學年分づゝ分合することを得るやう仕組みたるを以て教務統一上の便は絶大なり
- ◎地方的關係事項及毎事の添削を記入して細目の效力を増大ならしむる爲め全體に通じて記入欄を設めたり

東京青山師範學校附屬小學校編纂

高等小各科教授細目

洋裝菊判美本
第一編 金八拾錢
第二編 金八拾錢
送料 各冊八錢

- 第一編 國語。裁縫。圖書
- 第二編 算術。地理。歴史。理科。
- 第三編 近刊。

本書は青山師範學校と同附屬小學校に奉職せられ、獨特の手腕を有せらるゝ實際家の合議立案に基き、各専門の學科にあらゆる心血を傾注せられ滿二年間の歳月を費して編纂せられたるものを更に鄭重なる數回の審議を重ね修正を加へ是れを實際に應用して訂正を加へ且つ嚴密なる校訂を経て茲に公にせられたるもの也。

その内容は題目・要旨・教材・要項・時間配當・準備・教授上の注意に分ち所説繁簡宜しきを得、教材の處分亦た痛快明瞭にして而かも懇切を極めたり、かつ各科教授の主眼を明かにし教材相互の聯絡を圖り教科目をして地方化し具體化し直觀化し細目として成すべき限りを盡したるもの也。實に此書同校の實際案なるが故に其儘應用し得る所、一大特長也。

小倉師範學校教諭 佐藤平太郎先生著

圖案及作畫新教授法

著者が圖案及作畫の實地研究は小學及び中學師範の教職に従事せられて兒童に接するこ
と十數年に及び、其間、斯道に關する新學說新研究は殆んど是れを實地教授に應用し其
結果長所あるものは自家の研究基礎とし、小學及中學校の教科書の考案書教材は多年の
經驗に基きて縱横解説細評し、更に小學より中學に通じて教科書より一步進めて研究し
新生面ある系統的の老案書教授の方法と實際案を大成せられたるもの本書也。
本書内容の學說は一として實驗の結果に出でざるものなく、方法手段は著者獨特の新
形式に出で、教材は小中學校の教科書を參照し自己研究の新教材を加味して是れを本
體とし取扱の良法は一々精密なる五百余個の説明圖を挿み、教材の配當は兒童學習の
程度と合致せしめ、新教材は二十度刷の石版書數葉と數十の木版刷圖案を挿み其儘實
際に應用の出來得るやう仕組たり。
これ教科書より進歩して圖案及作畫を研究し新面目ある圖案及作畫教授法を造就せるも
の也。

クロース綴函入頗美本
挿書石版二十度刷數葉
木版刷説明圖六百餘
正價金壹圓八拾錢
送料金拾貳錢

宮城縣師範學校教諭 小圃立二先生 共著
宮城縣師範學校訓導 内海 靖先生 共著

實際的圖畫新教授法

本書は著者が深遠なる學識と多年の實地教授上より得たる自信を出發點とし、兒童學習
の心理と、新定畫帖の教材を道程とし、進むに新研究の方法手段を以てし、最後教授の
新方法と教授取扱の實際案を明示して歸着點とす。
而して其所説は教材の根本より方法手段の巨細に涉り、教材は新定畫帖の一課一課の主
眼より運筆・觀察の細微まで説述し取扱の良法は七百余個の精密なる説明圖を挿みて教
授の參考となし板書の材料ともなす、又一學年間は其學年教授の主眼、教材の取扱、他
教科並に前後學年の教材との連絡統一を明示して全學年に及び以て統一連絡ある實際的
の圖畫教授法を詳説せられたるものにして近來斯界に類似なき眞面白なる一大著述也。

クロース綴函入頗美本
挿書七全一冊
正價金壹圓八拾錢
送料金拾貳錢

東京高等師範學校講師 上原六四郎先生訂
長野縣女子師範學校教諭 藤岡龜三郎先生著

手工實習法

クロース綴美本
挿畫三百餘個
正價金壹圓參拾錢
送料金八錢

藤岡先生直接兒童教育に當らるゝこと多年、小學校に於ける手工科の發展改良に腐心研究して漸く自信ある教法を得るに至り、之を公表せられたるもの本書也。
その内容は多年の經驗と數學理學物理化學及び心理學教育學等の該博なる學識とを基礎とし先づ手工教育の必要と効果を簡明に論じて實習を詳説す。實習は手工實習用具として本邦特有の工具を選択し其の適切なるものを採りて解釋し、手工材料としては自然と化工物とにて成べく實用を兼ねるものを求め其特質、用途を説述し、實習の方法は兒童知識と目と手の働きを研究して意匠の方法、寸法の割り方、仕様法等を最も目晰に詳細に最も實際的に説述し豫て教授の根底たる應用の途を明示せられたるもの也。之れ本書は手工實習法の新提案にして尋常小學より高等小學に亘り基礎あり効果ある方法を提げて手工教育の理想的發達の良顧問たらんとするもの也。

七 版

小學校に於ける

實際的教授法

クロース綴美本
正價金貳圓八拾錢
送料金貳拾錢

岡山師範學校教諭 岡山附屬小學校主事 田中廣吉先生著

本書は斯界の重鎮田中廣吉先生がその十數年間の實驗と深遠にして該博なる學識とを傾注して編述せられたるもの也。
本書は兒童の理解を容易ならしめため兒童の心身及活動狀態を察して其知識收得の基本たる直觀に中心を置き基礎を教則と教授の實際を求め最近思潮の教育學教授法を研究し巧みに其理論を實際に類化せしめ之れによつて教授法の大綱を編み以て總論としその準據すべき所を明にす又教材に就ては各種教材の形式的實質的の長短を研究し之を實際に應用してその長所を採り兒童を觀察しては自學輔導主義練習主義發表主義等の中庸を抜き其教法の蘊蓄を明示して各編を編み以て教授主眼の徹底を圖らる。是れ小學教師、師範學校生徒の必讀書也。

岡山師範學校教諭
兼附屬小學校主事

田中廣吉先生著

好評嘖々第十五版

新 教
科 書

挿畫の解説及取扱法

クロース綴美本
各一冊金九十錢
送料各一冊金八錢

尋常修身、地理、歴史之部

前編

尋常讀本之部

後期

教科書の挿畫取扱の好悪は實に教科書の死活問題にして、教授者にこれが智識なく漠然教壇に臨ましか只に其價値を減損すること大なるのみならず、教科書編纂の主旨に反きその生命を涇滅せしむべし。而かも之が解説及取扱に關し有益なる參考資料なし。本書は著者が該博なる學識と多年の實地教授とに基き日夜心血を盡ぎ研究に研究を重ねられ、苟くも疑義あるものに對しては専門の大家につき真相を究め實地を踏査して誤を改め、確實なる著書によりて原據考證を明かにし想像畫は時代場所を考察し、以て本文と對照し之を慎重に考覈研究し全科の挿畫を最も精細に最も明快に解説す。又直接挿畫に表顯せざる事項にて教授上の須要なるものも收め以て挿畫の教育的主眼を明かにせらる。且つ教法は學年に應じて過不足なからしめん爲挿畫取扱上の要訣を示し、文案を以て説明困難の箇處は周密なる説明圖を挿入せられたり。

終 編

内容は高等讀本全部及び
高等地理卷の二を收む

印刷中

正價金九拾錢
送料八錢

2636
28

10.3.14

終

